marantz®

Model DV-12S2 取扱説明書

Super Audio CD/DVD Player

このたびは、マランツの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意(絵表示について)

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

警 告

電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。またキャビネットの換気口をふさがないでください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

接触禁止

- 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器のディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や、小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。
- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

分解禁止

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

安全上のご注意

注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子 ⊕ とマイナス ⊖ 端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

- オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

- 長期間使用しないとき、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

もくじ

お使いになる前に 6

こんなことができます 6
本機の特長 7
付属品の確認 7
本機で再生できるディスクについて 8

各部の名称とはたらき 12

本体正面 12
本体表示窓 12
リモコン 14
本体後面 16

接続と準備 17

付属のケーブルを使ってテレビと接続する 17
AV 機器と接続する(接続例) 18
音声ケーブルの接続のしかたを選ぶ 19
映像ケーブルの接続のしかたを選ぶ 20
リモートコントロール入出力端子の接続 22
[セットアップナビゲーター]を使って設定する 23
「FL メニュー」を使って設定する 26

基本的な使いかた 27

ディスクを再生する 27
ディスクのメニュー画面を表示する 28
再生中に音声 / 字幕を切り換える 30
ディスクを一時停止 / 停止する 31

便利な使いかた 32

見たいチャプター(場面)/ トラック(曲)に
スキップする(頭出し) 32
ディスクを早送り / 早戻しする(スキャン) 32
見たい / 聞きたい場所を探す(サーチモード) 33
画像をコマ送りで見る(コマ送り再生) 35
画像をスローで見る(スロー再生) 35
繰り返し再生する(リピート再生) 36
順番を変えて再生する(プログラム再生) 37
順不同に再生する(ランダム再生) 41
前に見たディスクのつづきを再生する
(ラストメモリー) 42
よく見る DVD の設定を記憶させる
(コンディションメモリー) 43
よく変更する初期設定の項目を記憶する
(ファンクションメモリー) 44
映像のアングルを切り換える
(マルチアングル) 45
ディスクの情報を見る 46

いろいろな設定 49

初期設定画面の操作のしかた 49
ドルビーデジタル音声を調節する 50
デジタル出力の設定をする 51
[音声 2]の設定をする 53
[映像 1]の設定をする 59
画質を調整する 63
[映像 2]の設定をする 66
[言語]の設定をする 67
視聴制限をする(パレンタルロック) 71
[一般]の設定をする 74
映像出力をオン / オフする 75
すべての設定を出荷時に戻す 75

その他 76

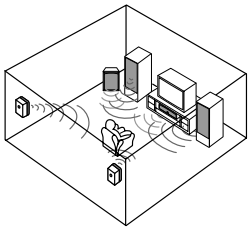
使用上の注意 76
困ったとき！？ 78
用語解説 81
保証とアフターサービス 83
仕様 84
外形図 84
初期設定画面の項目別さくいん 85
さくいん 86

お使いになる前に

こんなことができます

❖ 映画館のような迫力のあるサウンドが味わえるDVDオーディオ、ドルビー*1デジタル/DTS*2/MPEGデコーダー内蔵の高音質オーディオシステム

本機はDVDオーディオの高音質を再生可能にする192kHzサンプリング/24bitのDAC(デジタル/アナログコンバーター)を採用しています。
5.1チャンネルアナログ音声出力端子を装備し、さらにドルビーデジタルデコーダー、DTSデコーダー、およびMPEGデコーダーを内蔵しています。5.1チャンネル音声入力端子を持ったAVアンプなどと接続して映画館のような臨場感ある音声をお楽しみいただけます(**P.20**)。



❖ バーチャルサラウンド機能を搭載

2つのスピーカーだけでも5.1チャンネル音声の臨場感ある音声をお楽しみいただけます。
SRS TruSurround方式*3により、5.1チャンネルのデジタル音声データをダイレクトに処理します(**P.53**)。

❖ DNR内蔵ビデオエンコーダーを採用

本機は高画質DNR(デジタル・ビデオ・ノイズリダクション)内蔵のビデオエンコーダーを採用し、きめ細かな画質調整を行います。3種類の画質設定(テレビ(CRT)、プラズマ、プロフェッショナル)を選択することができ、さらにお好みに調整した画質を記憶することができます(**P.63**)。
また映像出力端子(2系統)、S映像出力端子(1系統)、DVD本来の高画質を引き出すコンポーネント映像出力端子(1系統)、およびD1/D2映像出力端子(1系統)を装備しています。

❖ セットアップナビゲーター付きGUI

複雑な設定を画面に表示される質問に答えていくだけで簡単に設定できるセットアップナビゲーター機能を搭載しています。お手持ちのテレビやAVアンプなどに最適な設定を簡単に行うことができます(**P.23**)。
また初期設定の種類は、簡単な設定を行う**[ベーシック]**とより詳細な設定を行う**[エキスパート]**の2種類から選択することができます(**P.74**)。

❖ DVD-RWディスク対応

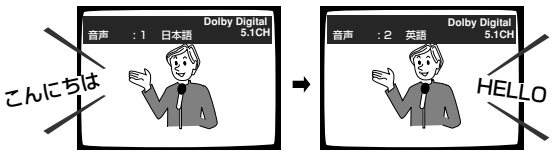
DVDレコーダーで記録されたディスクを再生することができます(**P.8**)。

❖ MP3対応

MP3ファイル形式で圧縮された音楽データが記録されたCD-ROM、CD-R、またはCD-RWディスクを再生することができます(**P.9**)。

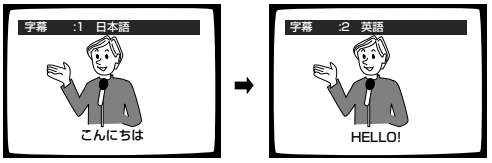
❖ お好みの音声言語が選択できます

DVDに収録された複数の音声言語から、お好きな言語を選択することができます(**P.30**)。



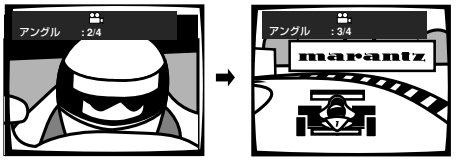
❖ お好みの字幕言語が選択できます

DVDに収録された複数の字幕言語から、お好きな字幕を選択することができます(**P.30**)。



❖ お好みのアングルが選択できます

DVDに収録された複数のアングルから、お好きなアングルを選択することができます(**P.45**)。



本機の特長

❖ **フルデジタル伝送による最高画質を実現するHDCP対応DVI-D（デジタルRGB）端子を装備**

本機は著作権保護を実現したHDCP対応デジタル映像出力端子（DVI-D）を装備しています。
DVDの画像DATAをアナログに変換することなく、直接デジタルで伝送することにより、AD/DA変換による画質劣化のないリアルな映像をお楽しみいただけます(**P.20**)。

❖ **アナログ出力を最高画質で実現する216MHz/12bit ビデオ D/A コンバーター搭載**

すべての映像信号のD/A変換処理を12bitで行うとともに、8倍のオーバーサンプリング処理を行うことのできるビデオD/Aコンバーターを使用しており、DVD本来の美しい映像を楽しめます。さらに、NSV技術*4によりDA変換時のノイズを低減しています。

❖ **プログレッシブ出力を備えた高品位映像システム**

本機は525p/625pの周波数の映像信号を出力するプログレッシブスキャン(順次走査)出力端子を装備しています。コンポーネント映像入力を持ったプログレッシブ入力対応テレビ、プロジェクターに接続すると、従来のテレビ方式であるインターレーススキャン(飛び越し走査)よりも2倍の情報量の、きめ細かな映像を再生します(**P.21, 59**)。
また、このプログレッシブ方式を利用して、DVDビデオ映画の再生に、オリジナルソースに忠実な画質を再現する「ピュアシネマ」モードを採用しています(**P.65**)。

ご注意
625p（PAL プログレッシブ）方式の映像を楽しむときは、625p（PAL プログレッシブ）に対応したテレビ、モニター、プロジェクターをご使用ください。

❖ **DVD ならではの高画質映像を引き出すD1/D2端子、およびコンポーネント映像出力端子を装備**

本機はD1/D2端子を装備しています。デジタル放送対応テレビなどに装備されているD 端子に専用ケーブル1本で接続することができます。さらにコンポーネント映像出力端子も装備しています。
DVDに記録される輝度（Y）と色差（C_B/P_B、C_R/P_R）の3つの映像信号をそれぞれダイレクトに出力することで、ＤＶＤから鮮明な映像を引き出します(**P.21**)。

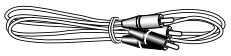
❖ **省エネルギー設計**

本機は30分間ご使用にならないと自動的にスタンバイモードになる、消費電力を抑えた設計になっています。

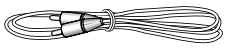
付属品の確認

箱から出したら次の付属品がそろっていることを確認してください。

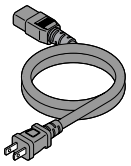
- 音声／映像ケーブル



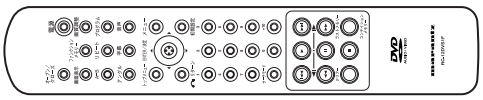
- リモート接続ケーブル



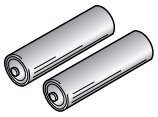
- 電源コード



- リモートコントロールユニット



- 単4形乾電池（R03P・2本）



- 保証書
- 取扱説明書（本書）

*1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルＤ記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

*2 DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。

*3 TruSurround, SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc. の商標です。TruSurround技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

*4 “NSV”はアナログデバイセズ社の登録商標です。

本機で再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクの種類

- 本機はJEITA標準、NTSCカラー方式／PAL方式に適合していますので、NTSC方式とPAL方式両方のディスクを再生することができます。
- 以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク

DVDビデオ　DVDオーディオ*1

DVD-R*2　DVD-RW*3

スーパーオーディオCD

ビデオCD

CD　CD-R*4　CD-RW*4

F-Disc(エフディスク)*5

ご注意

PAL方式で記録されているDVDディスクをお楽しみになる場合は、PAL方式に対応したテレビ、モニター、プロジェクターなどが必要です。
PAL方式で記録されているビデオCDディスクはNTSC方式に対応したテレビなどでご覧いただけます。
PAL方式で記録されているDVDディスク、ビデオCDディスクはその記録状態により再生できないことがあります。

■ 本機で再生できないディスクの種類

- リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- DVD-ROM ・DVD-RAM・フォトCD
- CD-Gなど

ご注意

本機はアダプター(CD用)を使用しないで8cmCDを再生することができます。8cmアダプター(CD用)は使用しないでください。

***1 DVDオーディオディスクの再生について**

DVDオーディオディスクに含まれるドルビーデジタルやDTSはDVDビデオ専用プレーヤーで再生していただくためのものです。本機(DVDオーディオ対応プレーヤー)では再生できないことがあります。詳しくは、ディスクに添付されている説明書を合わせてご覧下さい。

***2 DVD-Rディスクの再生について**

本機はDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-Rディスクを再生することができます。

***3 DVD-RWディスクの再生について**

- 本機はDVDビデオフォーマット、またはビデオレコーディングフォーマットで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 1回だけ録画可能な映像素材を録画した部分(コピー禁止部分)は本機で再生することはできません。この場合、画面に「COPY PROTECT PROGRAM ,UNPLAYABLE」と表示されます。
- DVDレコーダーで編集した箇所を再生すると、そのつなぎ目で一瞬画面が静止画になることがあります。
- DVDレコーダーで録画、または編集したディスクを再生すると編集位置が多少ずれることがあります。
- タイトル名は最大20文字まで表示することができます(半角英数字、および半角カタカナのみ表示することができます)。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVDビデオフォーマット記録、およびビデオレコーディングフォーマット記録については **P.81**、**P.82** も合わせてご覧ください。

***4 CD-R/CD-RWディスクの再生について**

本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、またはMP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

***5 (株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです(P.39)。**

ご注意

ディスクレーベル面に「CDロゴ」

マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。
CD規格外ディスクを使用された場合には、再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。

MP3 の再生について

- ISO9660 レベル 1 の CD-ROM ファイルシステムに従って記録してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子(**P.82**)がついた MP3 ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(**P.82**)には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー/トラックの名前は最大8文字まで表示します(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー / トラックの名前は「F_001」/「T_001」のようにMP3ナビゲーター、またはプログラムの画面に表示されます。また、本体表示窓にも半角大文字英数字以外を表示できないことがあります。
- フォルダー/総トラック数はそれぞれ 250 まで対応しています。251 以降のフォルダー / トラックを再生することはできません。
- 音質的には、記録ビットレート 128kbps を推奨します。
- MP3の音楽データが記録されたDVD-R/RWディスクは、正常に再生できないことがあります。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録した DVD-R/DVD-RW、および CD-R/CD-RW ディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- 本機ではファイナライズしていないDVD-R/DVD-RW ディスクを再生することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクでは、一部の時間情報が表示されないことがあります。
- 詳しい DVD-R/DVD-RW、および CD-R/CD-RW ディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
②))	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16 : 9 LB	記録されている映像のアスペクト比
2 / ALL	再生可能な地域番号を表わします。本機は地域番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDの操作制限について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に「ディスクによる禁止」マークを表示します。また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「プレーヤーによる禁止」マークを表示します。

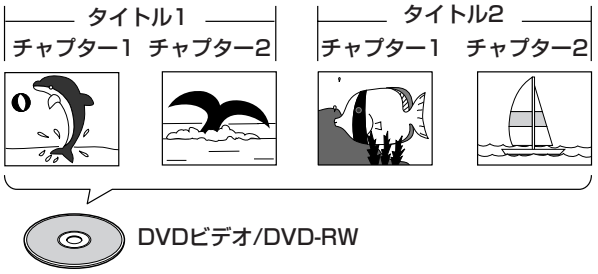
著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機には、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

ディスクの構成について

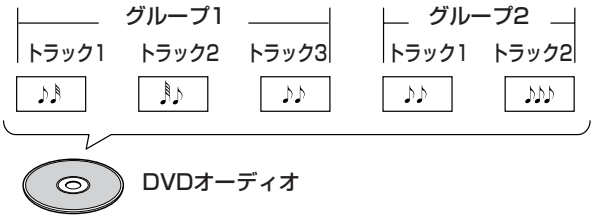
DVD VIDEO **DVD-RW**

DVDビデオ、またはDVD-RWではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、ディスクによってはメニュー画面を持つものがあります。メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう1つの映画が1つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは1曲が1タイトルとなっています。ただしこのような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能やプログラム機能を使用する際はご注意ください。



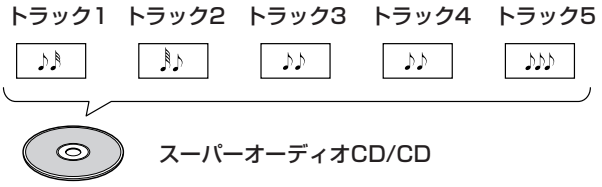
DVD AUDIO

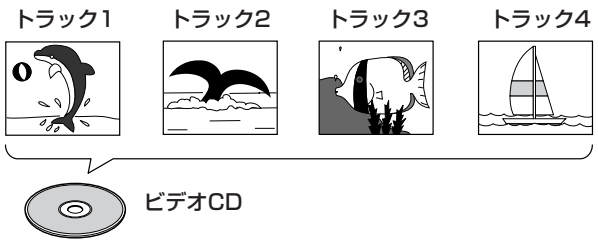
DVDオーディオではディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています(一般的には1曲が1つのトラックに対応。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。また、ディスクによってはDVDビデオのようなメニュー画面や映像が記録されているものもあります。



SACD **CD** **VIDEO CD**

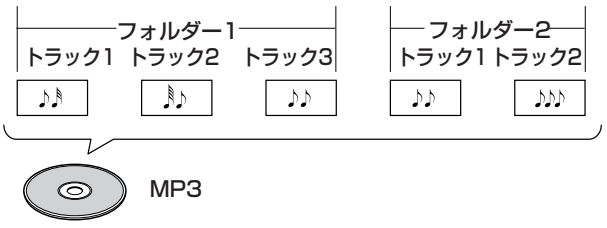
スーパーオーディオCDやCD、ビデオCDではディスクをトラックという単位で分けています(一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。またさらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。





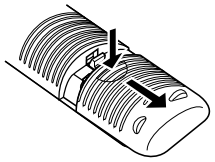
MP3

MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。MP3ファイルが入っているフォルダーには「F_001、F_002・・・」、フォルダー内のファイルには「T_001、T_002・・・」というように自動的に番号をつけます。

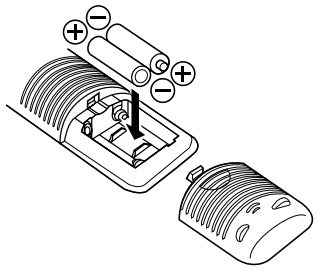


リモコンに乾電池を入れる

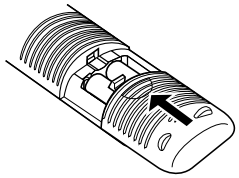
1 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開く



2 ケース内に表記されている極性⊕(プラス)/⊖(マイナス)に合わせて、乾電池を正しく入れる



3 フタを矢印の方向に閉める

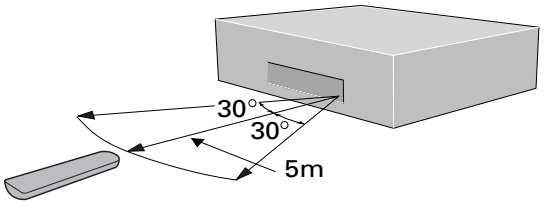


ご注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1ヵ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

リモコンの使用範囲

- リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は約5m、またリモコン受光部を基準にして左右30˚までの範囲で操作できます。
- 後面のコントロール入力端子が他の機器に接続されているとき（**P.16**）は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けても操作することはできません。

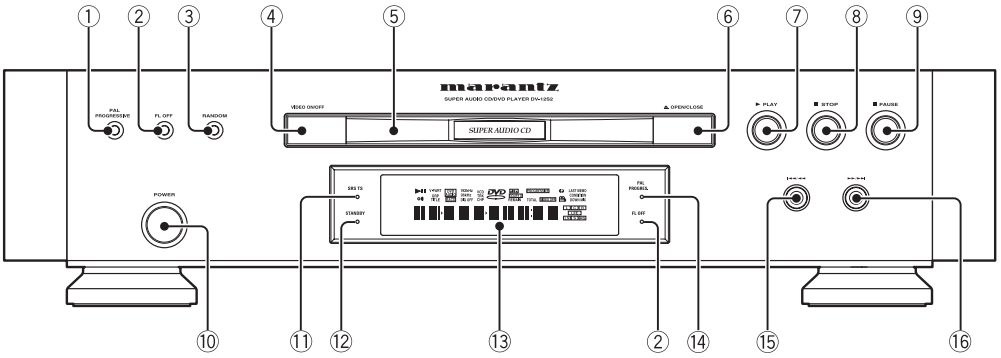


ご注意:

- リモコン受光部に直接日光や強い光をあてないようにしてください。誤動作の原因となります。
- このDVDプレーヤーを単独で使用する場合は、本体後面のリモートスイッチを“INT.”に設定してください。

各部の名称とはたらき

本体正面



① **PAL PROGRESSIVEボタン**
PALのDVDディスクを再生時、コンポーネント映像出力、D1/D2端子よりPALプログレッシブ方式の映像を見るときに押します。このときDVI出力は停止します(**P.59**)。
注：PALプログレッシブ対応のテレビ、プロジェクターを接続してください。

② **FL OFFボタン/インジケーター**
表示窓の明るさを3段階に切り換えられます。

標準 → 低輝度
↑ OFF ←

オフのときはFL OFFインジケーターが点灯します。

③ **ランダム(RANDOM)ボタン**
DVDビデオではタイトルやチャプター、DVDオーディオではグループやトラック、ビデオCDまたはCDではトラックを順不同に再生します(**P.41**)。

④ **ビデオオンオフ(VIDEO ON/OFF)ボタン**
ビデオ出力をオンオフします(**P.75**)。

⑤ **ディスクテーブル**
ディスクを出し入れするときに、⑥**オープン/クローズ(▲OPEN/CLOSE)ボタン**で開閉します(**P.27, 31**)。

⑥ **オープン/クローズ(▲OPEN/CLOSE)ボタン**
ディスクテーブルを開閉するときに押します(**P.27, 31**)。

⑦ **再生(►PLAY)ボタン**
ディスクを再生します(**P.27, 31**)。

⑧ **停止(■STOP)ボタン**
ディスクの再生を止めます(**P.31**)。

⑨ **一時停止(IIPAUSE)ボタン**
再生中に押すと映像が静止画になり音声が一時停止します(**P.31**)。

⑩ **電源(POWER)ボタン**
電源をオン/オフします(**P.23, 27, 31**)。

⑪ **SRS TSインジケーター**
TruSurround機能を選択しているとき点灯します(**P.53**)。

⑫ **スタンバイ(STANDBY)インジケーター**
本機がスタンバイ状態のとき点灯します。

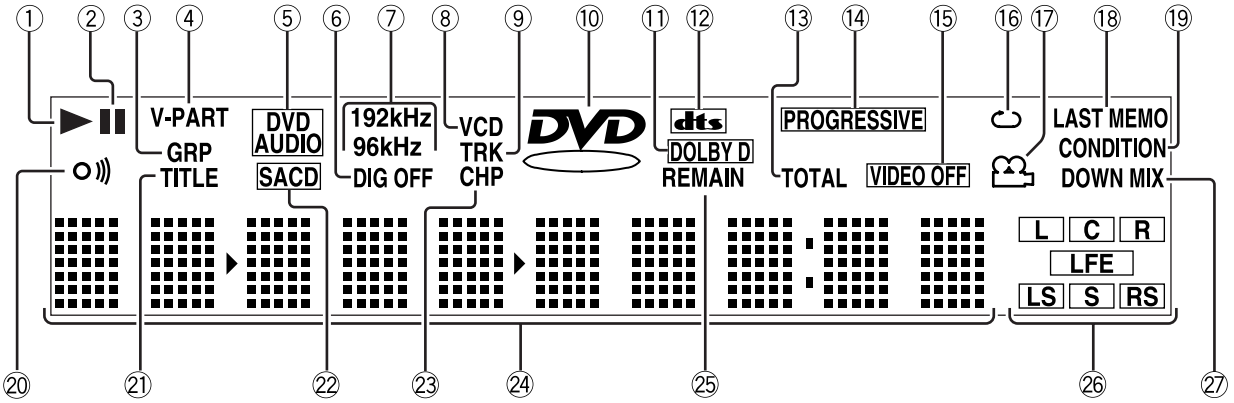
⑬ **表示窓**
本機の動作状況を表示します(**P.12**)。

⑭ **PAL PROGRES.インジケーター**
①**PAL PROGRESSIVEボタン**が押されたときに点灯します。

⑮ **スキャン/前(I◄◄/◄◄)ボタン**
映像や音声を早戻し、または頭出しをします(**P.32**)。

⑯ **スキャン/次(►►/►►I)ボタン**
映像や音声を早送り、または頭出しをします(**P.32**)。

本体表示窓



① ►
ディスクを再生しているとき点灯します。

② II
ディスクが一時停止しているとき点灯します。

③ GRP
グループ番号を表示しているときに点灯します(DVDオーディオのみ)。

④ V-PART
DVDビデオ、またはDVDオーディオの再生中、映像信号のある場面で点灯します。

⑤ DVD-AUDIO イルミネーション
DVDオーディオを再生しているとき点灯します。

⑥ DIG OFF
デジタル出力オフのとき点灯します(**P.52**)。

⑦ 192kHz/96kHz
リニアPCM音声で収録されているディスクを再生しているときにサンプリング周波数を表示します。

⑧ VCD
ビデオCD を再生しているとき点灯します。
CD
オーディオCDを再生しているとき点灯します。

⑨ TRK
トラック番号が表示されているとき点灯します。

⑩ DVD イルミネーション
DVDを再生しているとき点灯します。

⑪ DOLBY D
ドルビーデジタル音声を選んで再生しているとき点灯します(ドルビーデジタル音声で記録されているDVDのみ)。

⑫ dts DTS
DTS音声を選んで再生しているとき点灯します(DTS音声で記録されているディスクのみ)。

⑬ TOTAL
タイトル、チャプターまたはトラックの総再生時間が表示されているとき点灯します(**P.46~48**)。

⑭ PROGRESSIVEインジケーター
映像出力でプログレッシブが選ばれているときに点灯します(**P.21, 59**)。

⑮ VIDEO OFF
映像出力オフのとき点灯します(**P.75**)。

⑯
リピート再生中に点灯します(**P.36**)。

⑰ (アングル)
DVDを再生しているとき、アングル変更が可能な場面で点灯します(**P.45**)。

⑱ LAST MEMO
ラストメモリー機能が働いているとき点灯します(**P.42**)。

⑲ CONDITION
コンディションメモリー機能が働いているとき点灯します(**P.43**)。

⑳ リモートコントロールインジケーター
リモコンを受信しているとき、点灯します。

㉑ TITLE
タイトル番号が表示されているとき点灯します(DVDのみ)。

㉒ SACD (スーパーオーディオCD) イルミネーション
スーパーオーディオCDを再生しているとき点灯します。

㉓ CHP
チャプター番号が表示されているとき点灯します。

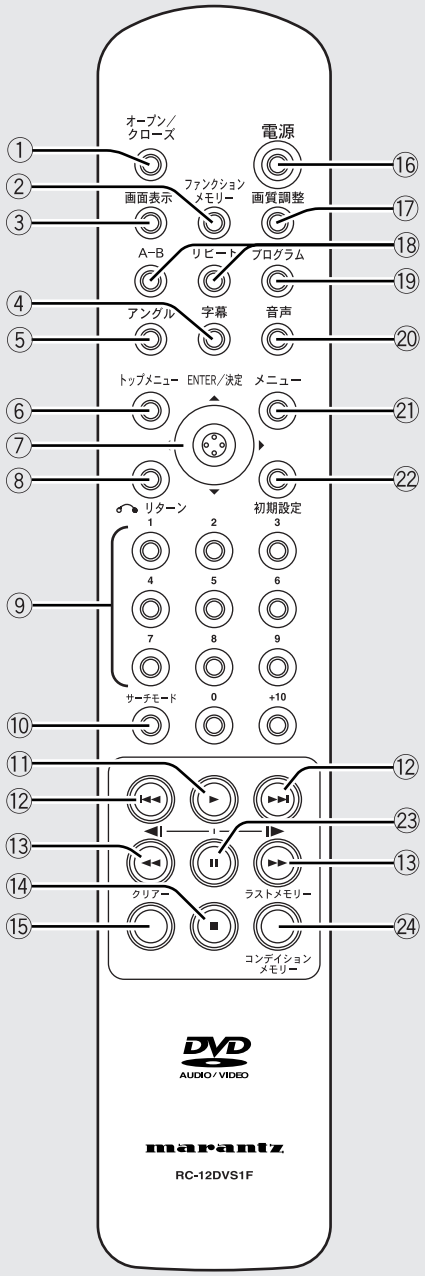
㉔ カウンター表示
再生モード、ディスクの種類、タイトル、チャプター、トラック番号、経過時間などを表示します。

㉕ REMAIN
タイトル、チャプターまたはトラックの残り再生時間が表示されているとき点灯します(**P.46, 47**)。

㉖ プログラムフォーマットインジケーター
再生しているDVDに収録されている音声チャンネルに対応するインジケーターが点灯します。
L　：左フロントチャンネル
C　：センターチャンネル
R　：右フロントチャンネル
LS　：左サラウンドチャンネル
S　：サラウンドチャンネル(モノラル)
RS　：右サラウンドチャンネル
LFE　：LFEチャンネル

㉗ DOWN MIX
DVDオーディオやドルビーデジタル、DTS、またはMPEGなどのマルチチャンネル音声をダウンミックス(チャンネル変換)しているとき点灯します。 例えば、5.1チャンネル音声を2チャンネル音声に変換しているとき点灯します(**P.24, 54**)。

リモコン



＊ マーク付きのボタンはメニュー画面の操作に使います。

① **オープン/クローズ(▲)ボタン**
ディスクテーブルを開閉するときに押します(**P.27, 31**)。

② **ファンクションメモリーボタン**
初期設定画面の設定項目の中で、よく変更する項目を記憶することができます(**P.44**)。

③ **画面表示ボタン**
ディスクの情報を表示します(**P.46-48**)。

④ **字幕ボタン**
DVDの字幕言語を切り換えます(**P.30**)。

⑤ **アングルボタン**
DVDビデオのアングルを切り換えます(**P.45**)。

⑥ **トップメニューボタン***
DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示します(**P.28**)。

⑦ **ジョイスティック(◄/►/▲/▼)/ENTER/決定ボタン***
設定項目を選択するときカーソルを上下左右に動かします。ENTERを押すと、選択した項目を決定します。

⑧ **リターンボタン*(↶)**
初期設定画面やメニュー画面が表示されているとき押すと1つ前の項目に戻ります。

⑨ **数字ボタン***
見たい/聞きたい場所を探すとき、音声や字幕を選ぶとき、またはメニュー画面で項目を選ぶときなどに使います。

⑩ **サーチモードボタン**
サーチの種類を選ぶときに押します(**P.33**)。

⑪ **再生(►)ボタン**
ディスクの再生を開始します(**P.27, 31**)。

⑫ **前(I◄◄)/次(►►I)ボタン**
場面や曲の頭出しをします(**P.32**)。

⑬ **スキャン(◄◄/►►)ボタン**
映像や音声の早送り/早戻しをします(**P.32**)。
◄◄：早戻し方向
►►：早送り方向
DVDディスク／Video CDディスクのポーズのときに1秒以上押すことによりスロー再生になります。
◄◄：逆方向スロー再生
►►：順方向スロー再生
(Video CDディスクは逆スロー再生できません。)

⑭ **停止(■)ボタン**
ディスクの再生を止めます(**P.31**)。

⑮ **クリアーボタン**
リピート再生、ランダム再生、プログラム再生で設定した内容を取り消します(**P.36, 39, 41**)。

⑯ **電源ボタン**
電源をON/スタンバイします(**P.27, 31**)。

⑰ **画質調整ボタン**
ご使用になるモニターの種類に合わせて、画質の設定を**[テレビ(CRT)]**、**[PDP]**、**[プロフェッショナル]**の3種類から選ぶことができます。また、お好みの画質に調整して、その設定を記憶することができます(**P.63-65**)。

⑱ **リピート/2点間A-Bボタン**
DVDビデオではタイトルやチャプター、DVDオーディオではグループやトラックを繰り返し再生します。スーパーオーディオCD、CD、またはビデオCDではトラックやディスク全体を繰り返し再生します。MP3ではフォルダー、トラックまたはディスク全体を繰り返し再生します(**P.36**)。

⑲ **プログラムボタン**
DVDビデオではタイトルやチャプター、DVDオーディオではグループやトラック、ビデオCDまたはCDではトラック番号、MP3ではフォルダーやトラック番号をプログラムして好きな順に再生します(**P.37-40**)。

⑳ **音声ボタン**
音声を切り換えます(**P.30**)。

㉑ **メニューボタン***
DVDのメニュー画面を表示します。MP3ではMP3ナビゲーター画面を表示します(**P.28, 29, 34**)。

㉒ **初期設定ボタン***
初期設定画面を表示します(**P.23, 44, 49**)。

㉓ **一時停止(II)ボタン**
映像や音声を再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します。もう一度押すと再生を再開します(**P.31**)。

㉔ **ラストメモリーボタン**
つづきから見たい場所を記憶したり、呼び出したりします(**P.42**)。

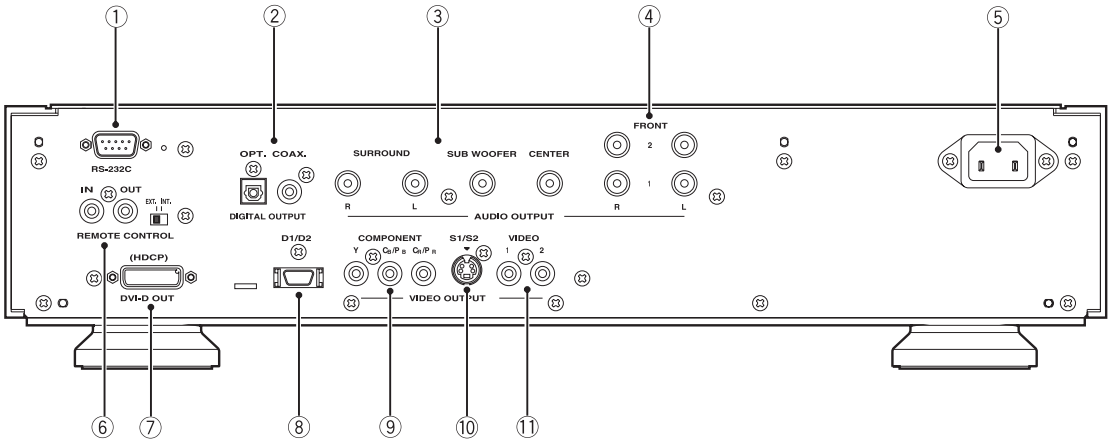
コンディションメモリーボタン
DVDビデオの設定を記憶します(**P.43**)。

- このリモコンはDVD1とDVD2という2つのコードを持っています。
- 工場出荷時はDVD1にセットされています。
- DVD2にセットするには、停止(■)ボタンと数字の2を5秒以上同時に押してください。
- DVD1にセットするには(戻すには)、停止(■)ボタンと数字の1を5秒以上同時に押してください。
- リモコンのセットされているコードを確認するには、停止(■)ボタンと一時停止(II)ボタンを同時に押してセット本体の表示窓のリモコン受光部へ向けてください。
  表示窓に「DVD1」もしくは「DVD2」と表示されます。
  (このときセット本体の電源は入にしてください。)
- このリモコンでセット本体を働かせる為には本体のコードをリモコンに合わせてください。詳細はFLメニューの設定(**P.26**)を参照してください。(セット本体のコードは工場出荷時DVD1にセットされています。)

お知らせ
本機をリモコンで操作する場合は、必ず前面パネルの電源スイッチを電源ONのままにしておいてください。

各部の名称とはたらき

本体後面



① **RS-232C端子**
専門業者(カスタムインストーラー)用のコントロール端子です。

② **デジタル出力(同軸/光)端子**
デジタル入力端子のあるアンプなどと接続するときに、市販の同軸、または光デジタルケーブルを使って接続します(**P.18, 19**)。

③ **音声出力(5.1CH)端子**
5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプと接続するときに、市販の音声ケーブルを使って接続します(**P.20**)。

④ **音声出力(2CH)端子**
2チャンネルのステレオアンプまたはテレビなどと接続するときに、付属の音声ケーブルを使って接続します(**P.17, 20**)。

⑤ **電源コード接続端子**
付属の電源コードを接続して、壁のコンセントから電源を供給します(**P.17, 18**)。

⑥ **コントロール入力/出力端子**
付属のリモートコントロールケーブルを使ってこのDVDプレーヤーを他のマランツ製オーディオコンポーネントに接続すると、1台のシステムとしてコンポーネントをリモートコントロールできます(**P.22**)。

- リモートコントロールスイッチ
  リモートコントロール入力／出力端子につないだとき、“EXT.”に設定してください。
  セット単独で使用するときは“INT.”に設定してください。

⑦ **DVI-D出力端子(HDCP対応)**
HDCP対応のデジタルRGB入力のあるディスプレイと接続するときに、市販のDVIケーブルを使って接続します(**P.20**)。

⑧ **D1/D2端子**
D映像入力端子のあるテレビと接続するときに、市販のD端子ケーブルを使って接続します(**P.21**)。

⑨ **コンポーネント映像出力(Y、C_B/P_B、C_R/P_R)端子**
コンポーネント(Y、C_B/P_B、C_R/P_R)映像入力端子のあるテレビなどと接続するときに、市販のコンポーネント映像ケーブルまたは映像ケーブルを使って接続します(**P.21**)。

⑩ **S1/S2映像出力端子**
S映像入力端子のあるテレビまたはAVアンプなどと接続するときに、市販のS映像ケーブルを使って接続します(**P.22**)。本機のS映像出力端子は初期設定画面で[S1]、または[S2]を切り換えることができます(**P.62**)。

⑪ **映像出力端子**
テレビまたはAVアンプなどと接続するときに、付属の映像ケーブルを使って接続します(**P.17, 22**)。

接続と準備

ご注意:
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

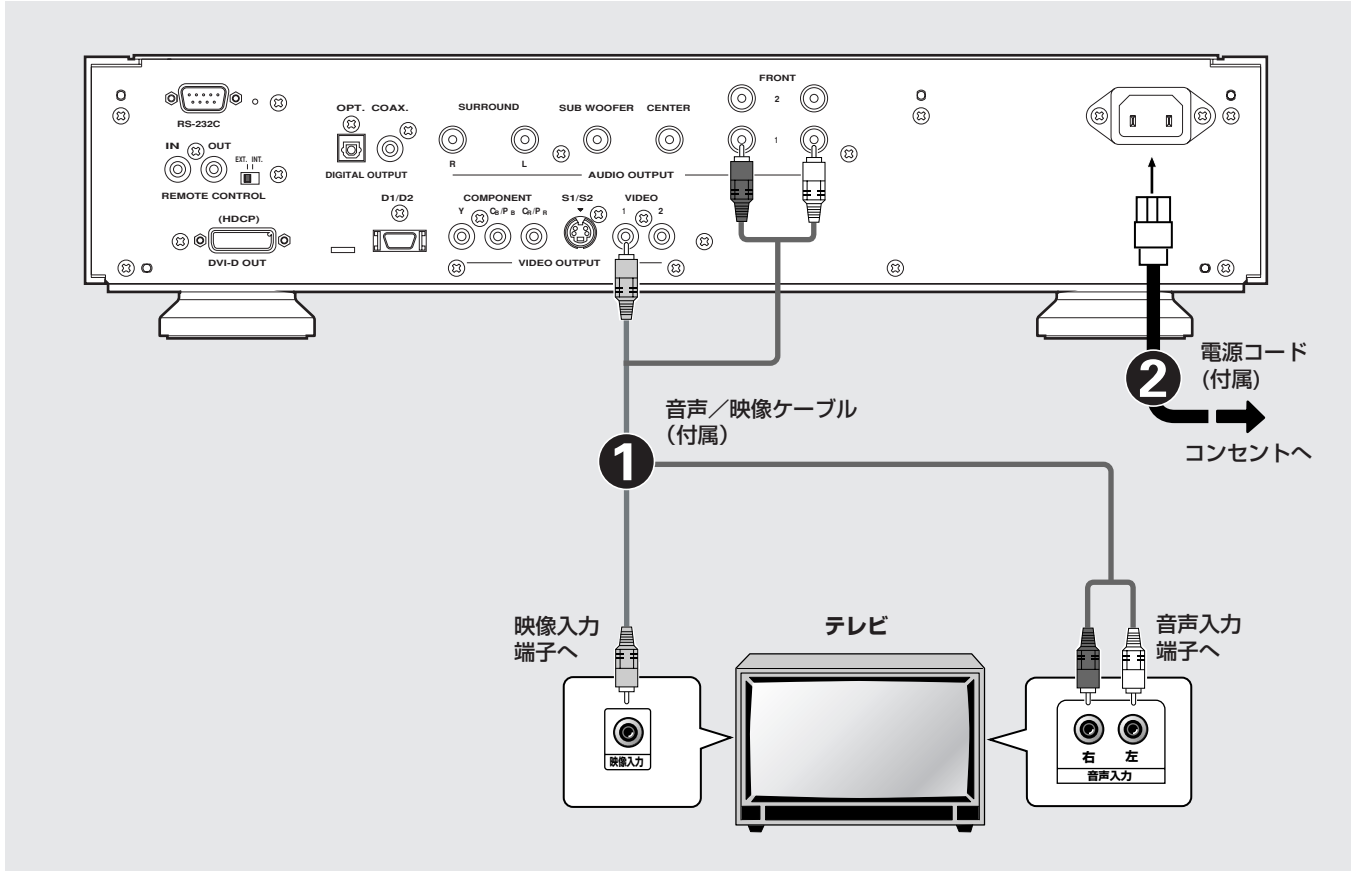
付属のケーブルを使ってテレビと接続する

❶ 付属の音声／映像ケーブルを接続する

L(白色)端子には白色のプラグを、R(赤色)端子には赤色のプラグを、VIDEO(黄色)端子には黄色のプラグをつなぎます。モノラル音声入力端子と接続するときは市販の専用ケーブルをお使いください。

❷ 付属の電源コードをコンセントへ接続する

接続が終わったら、[セットアップナビゲーター]を使って本機の設定を行ってください(P.23)。



お知らせ

- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
  本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。
- **本機の映像出力、およびS1/S2 映像出力端子からはプログレッシブ出力されません。**

AV機器と接続する(接続例)

本機の性能を十分に楽しむための接続例です。**P.19-22**をご覧のうえ、お持ちのAV機器やケーブルに合わせて接続してください。

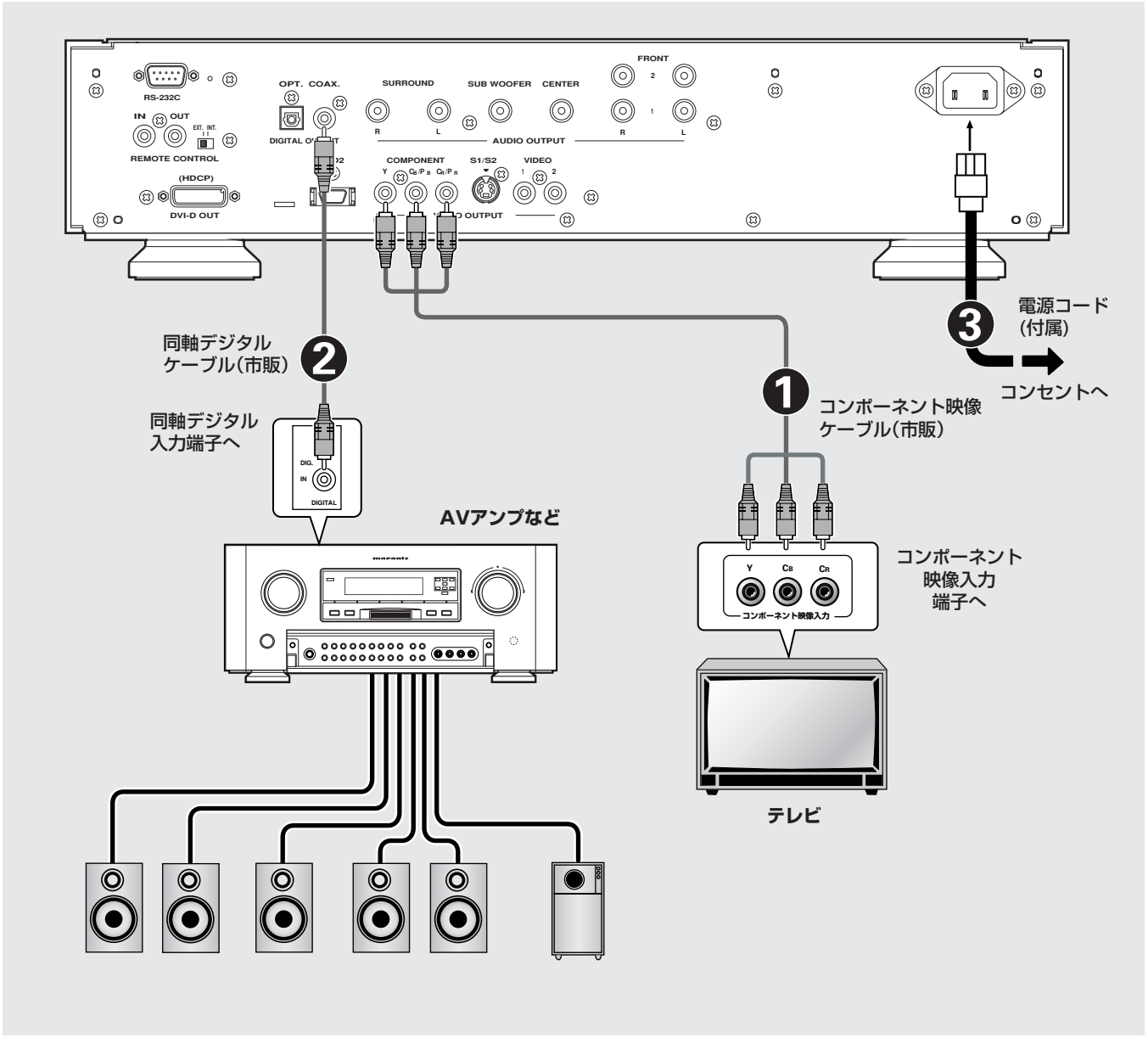
❶ 映像ケーブルを接続する

❷ 音声ケーブルを接続する

次のページをご覧ください。

❸ 付属の電源コードをコンセントへ接続する

接続が終わったら、[セットアップナビゲーター]を使って本機の設定を行ってください(**P.23**)。

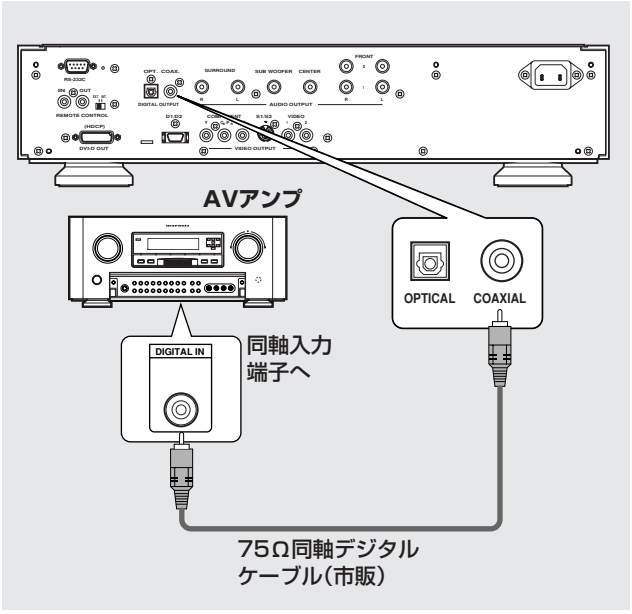


音声ケーブルの接続のしかたを選ぶ

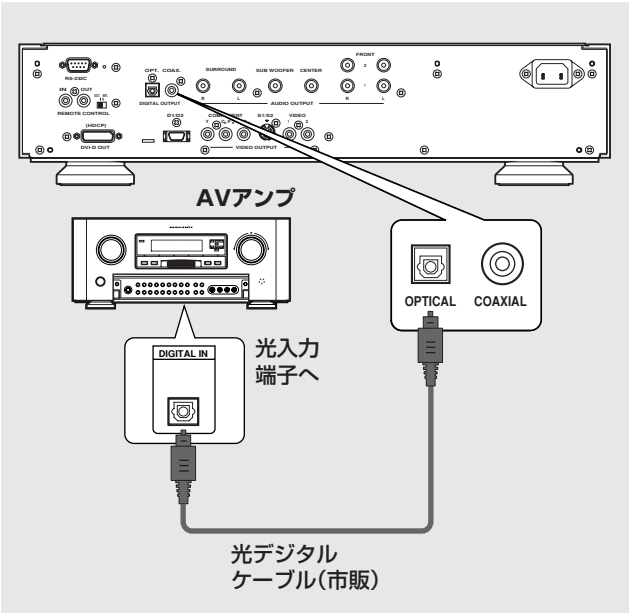
以下の3つのうち、どれか1つ接続すれば音声が出力されます。

市販の同軸デジタルケーブルで接続する

本機はドルビーデジタル、DTS、MPEGなどのデジタル音声をデジタル入力に対応したAVアンプ(各デコーダー内蔵アンプまたはデコーダー)とデジタル音声ケーブルでつなぐことにより、迫力あるデジタルサウンドをお楽しみいただけます。



市販の光デジタルケーブルで接続する



ご注意

本機の光端子はシャッター式です。光出力端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

お知らせ

デジタル音声で出力するとき

- マランツ製のAVアンプをお使いのかたは、光デジタルケーブル、または同軸デジタルケーブルの接続をおすすめします。
- MD、CD-R(CDレコーダー)、DATなどのデジタル録音対応機器で、デジタル録音をするときも光デジタルケーブル、または同軸デジタルケーブルの接続をおすすめします。

デジタル出力でドルビーデジタル/DTSの5.1チャンネルを楽しむには

- ドルビーデジタル/DTSの5.1チャンネル音声をお楽しみいただくためには、ドルビーデジタル/DTSデコーダー内蔵AVアンプなどのほか、5チャンネルスピーカー(フロント左右/センター/サラウンド左右)+サブウーファーが別途必要になります。

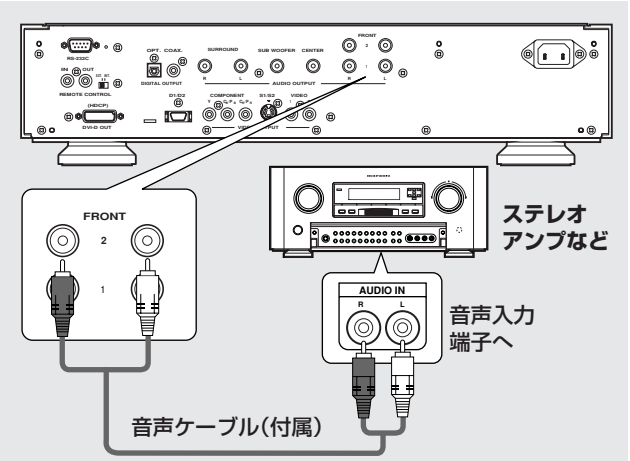
DVDオーディオのデジタル出力について

- DVDオーディオディスクのマルチチャンネル音声はデジタル出力されません。2チャンネル音声にダウンミックスして出力されます。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには「*5.1チャンネル接続*」(**P.20**)をしてください。
- DVDオーディオディスクの192kHz/176.4kHz音声はデジタル出力されません。96kHz/88.2kHz、または48kHz/44.1kHzに変換して出力されます。ディスクによってはデジタル音声が出力されないことがあります。
  スーパーオーディオCDではデジタル音声が出力されません。「*2チャンネル接続*」、または「*5.1チャンネル接続*」(**P.20**)をしてください。

付属の音声ケーブルで接続する

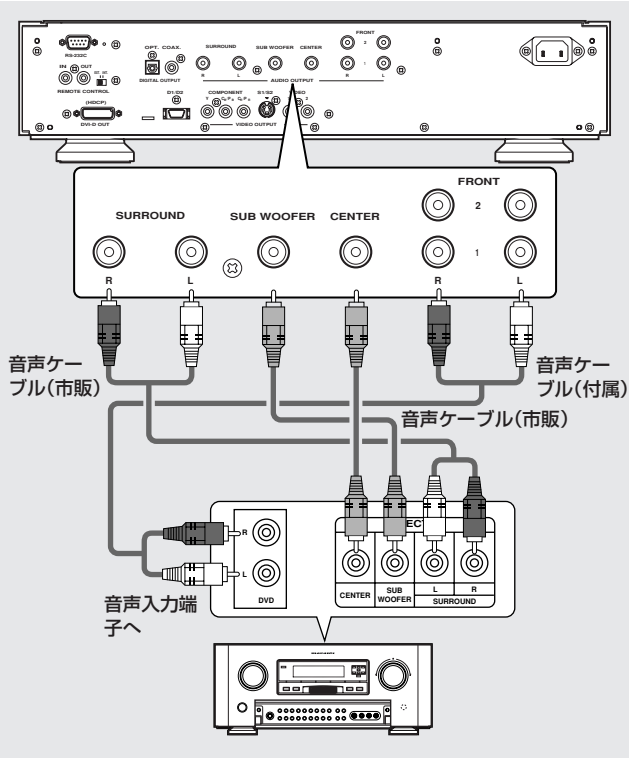
■ 2 チャンネル接続

この接続をしたときは、**P.24**の**[アナログ端子]**の設定を**[2チャンネル]**にしてください。



■ 5.1 チャンネル接続

この接続をしたときは、**P.24**の**[アナログ端子]**の設定を**[5.1チャンネル]**にしてください。



お知らせ

マルチチャンネル再生を楽しむには

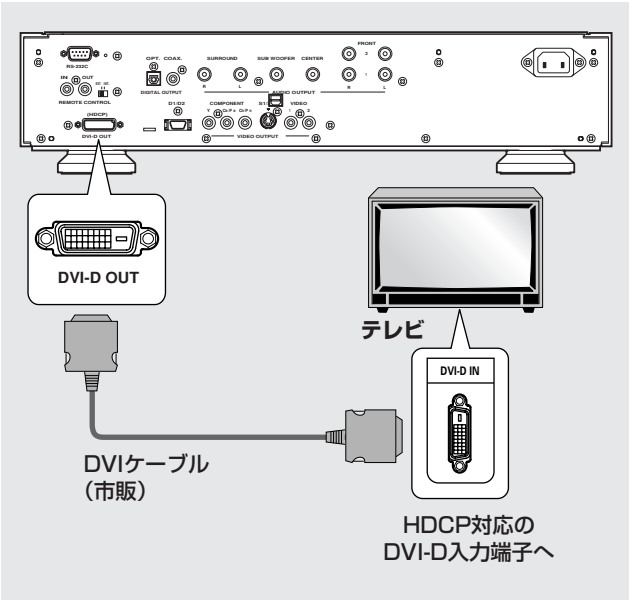
- マルチチャンネル再生をお楽しみいただくためには、5.1 チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプなどのほか、5チャンネルスピーカー(フロント左右/センター/サラウンド左右)+サブウーファーが別途必要になります。

映像ケーブルの接続のしかたを選ぶ

P.20-22のうち、どれか1つ接続すれば映像が出力されます。本機では、コンポーネント映像出力端子、またはD1/D2映像出力端子に接続したときのみプログレッシブ信号が出力されます。

市販のDVIケーブルで接続する

お使いのテレビなどにHDCP対応のDVI-D入力端子があるときには、デジタル伝送での高品位な映像を楽しむことができます。



- DVI接続時、ディスプレイによっては黒が浮く場合があります。そのような場合は、FLメニューのDVI V. LVL で調整してください。
  DVI V. LVLにより下記のように出力の映像データの範囲が切り替わります（**P.26**）。
  NORMAL　：16（黒）～235（白）
  EXPAND　：0（黒）～246（白）

■ DVI 出力フォーマット(NTSC 再生時)

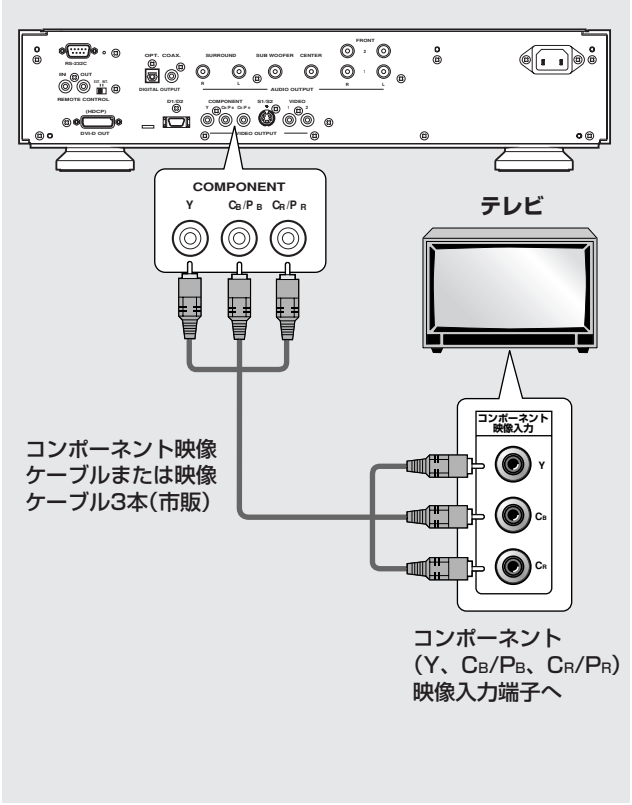
システム	：	525p (480p)/60
解像度	：	720 x 480
垂直周波数	：	60Hz
水平周波数	：	31.5kHz
p	：	プログレッシブ(順次走査)を表しています。
NTSC	：	主に日本、アメリカ、カナダ、台湾、韓国で使用されている放送形式です。

お知らせ

- 本機の DVI 出力は HDCP 対応となっております。本機の DVI 出力映像をご覧になるには、HDCP 対応のDVI入力をもったテレビ等が必要となります。
- 上記フォーマットに対応していない機器に接続した場合は、映像が出ない場合があります。
- PAL PROGRESSIVEボタンが押されている間は、DVI は出力されません。
- 本機と接続する機器の DVI-D 端子の詳細については、その取扱説明書をよくお読みください。

市販のコンポーネント映像ケーブルで接続する

お使いのテレビなどにコンポーネント(Y/C_B/C_R)映像入力端子があるときは、この接続をおすすめします。本機の高品位な映像品質を楽しむときにもっとも適した接続です。

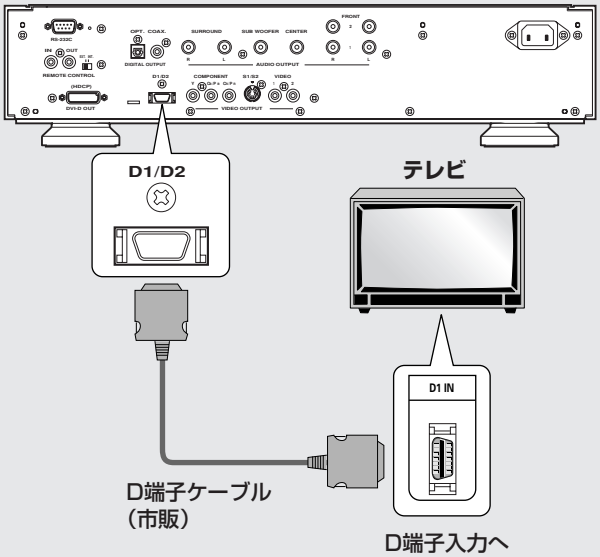


お知らせ

- ハイビジョン対応のコンポーネント(Y/P_B/P_R)映像入力端子に接続することはできません。
- **本機の映像出力は、ビデオデッキに接続しないでください。**本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。
- PAL プログレッシブ方式の映像を楽しむときはPAL プログレッシブに対応したテレビ、モニター、プロジェクターをご使用ください。

市販のD端子ケーブルで接続する

専用ケーブル1本で、コンポーネント映像ケーブルを使った接続と同等の映像品質を楽しむことができます。



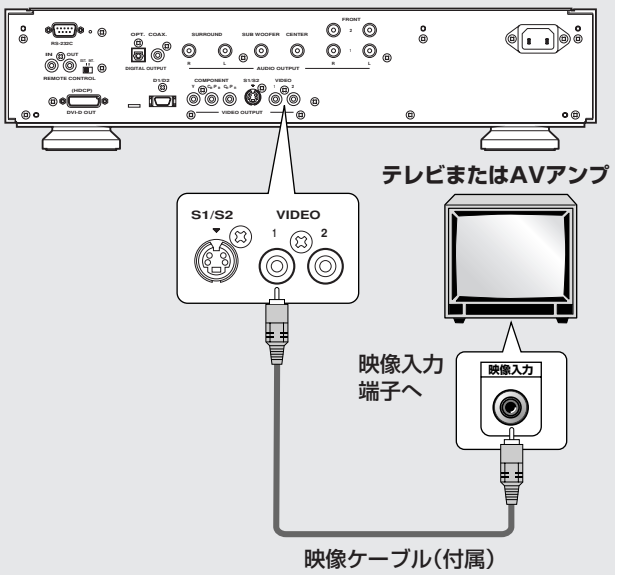
■ テレビのD端子入力について

本機のD1/D2端子は、接続するテレビのD1、D2、D3、またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。

D端子	方式
D4	525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p)
D3	525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)
D2	525i(480i)、525p(480p)、
D1	525i(480i)

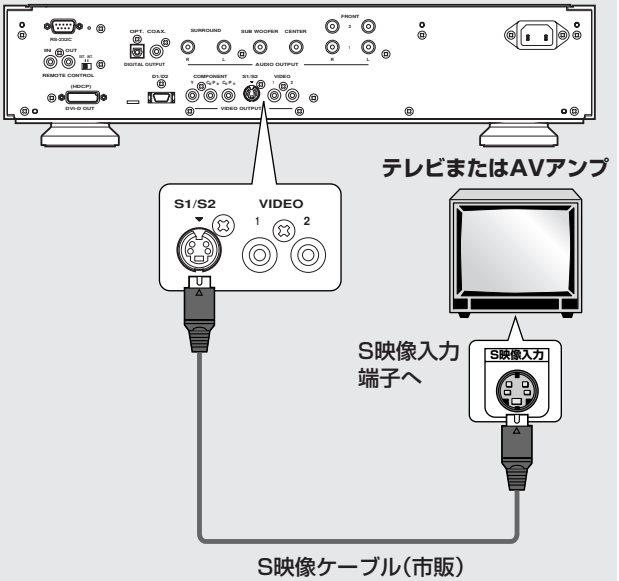
i ： インターレース(飛び越し走査)を表しています。
p ： プログレッシブ(順次走査)を表しています。
( )内は有効走査線数で数えた場合の別称です。

付属の映像ケーブルで接続する



市販のS映像ケーブルで接続する

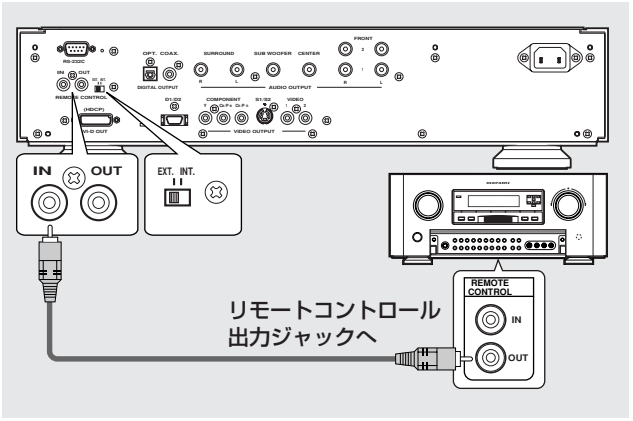
付属の映像ケーブルを使った接続より、高品位な映像がお楽しみいただけます。初期設定画面で[S1]、または[S2]を切り換えることができます(**P.62**)。



お知らせ

本機の映像出力、およびS1/S2映像出力端子からはプログレッシブ出力されません。

リモートコントロール入出力端子の接続



■REMOTE CONTROL IN/OUT ジャック

付属のリモートコントロールケーブルを使ってこのDVDプレーヤーを他のマランツ製オーディオコンポーネントに接続すると、1台のシステムとしてコンポーネントをリモートコントロールできます。

- リモートセンサーが搭載されているコンポーネントに接続するときには、このDVD プレーヤーの“REMOTE CONTROL IN”ジャックをリモートセンサーが搭載されているコンポーネントの“REMOTE CONTROL OUT”ジャックに必ず接続してください。
- リモートセンサーを搭載していないコンポーネントに接続するときは、コンポーネントをこのDVD プレーヤーの“REMOTE CONTROL OUT”ジャックに必ず接続してください。

■リモートスイッチ

- このDVD プレーヤーを単独で使用する場合は、このスイッチを“INT.”に設定してください。このDVD プレーヤーをリモートセンサーが搭載されているマランツ製レシーバーで使用する場合には、このスイッチを“EXT.”に設定してください。
- 本機を他のマランツの機器にリモートコントロール入出力端子を用いて接続する場合を除いて、このスイッチを常に“INT.”の位置にセットしてください。このスイッチを“EXT.”にセットした場合は、本機のリモコン赤外線受光部が動作しません。

ご注意

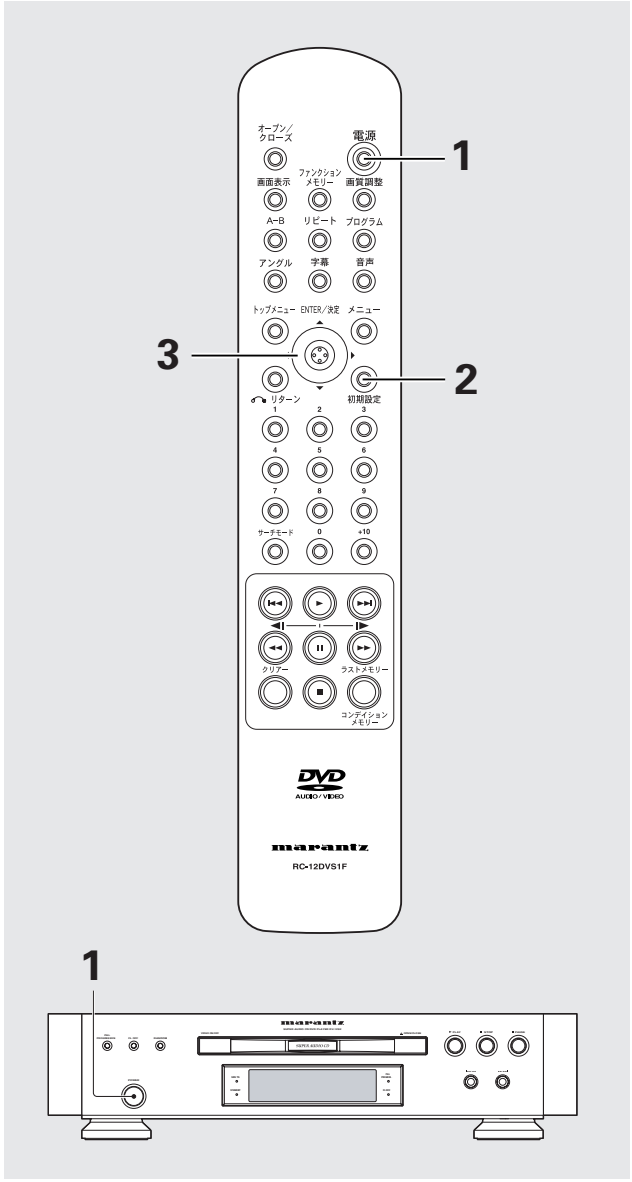
本機をリモコンで操作する場合は、必ず前面パネルの電源スイッチを電源 ON のままにしておいてください。

[セットアップナビゲーター]を使って設定する

[セットアップナビゲーター] により対話形式で本機の設定を行います。表示される質問に答えていくと、本機の設定が自動的に完了します。この機能を再生中に使うことはできません。

セットアップナビゲーターを開始すると以下の順に質問されます。

言語(画面表示言語) ➡ テレビとの接続(テレビの種類) ➡ アンプとの接続



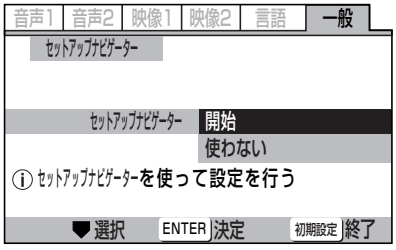
お知らせ

ⓘマークは情報(information)を意味しています。画面に選択している項目の簡単な説明が表示されますので、設定内容がわからない場合は参考にしてください。

1 電源(POWER)ボタンを押す

リモコンの電源ボタンで電源をON/スタンバイするときは本体の電源(POWER)ボタンをON状態にしてください。

2 初期設定ボタンを押す



セットアップナビゲーター画面が表示されます。

開始：

セットアップナビゲーターを開始するとき選択します。

使わない：

セットアップナビゲーターの設定がすでに完了しているとき選択します。**[使わない]**を選ぶと次回から**初期設定ボタン**を押してもセットアップナビゲーターの画面は出なくなり、個別の設定をする画面が表示されます。詳しくは『***いろいろな設定***』(**P.49~75**)をご覧ください。

3 ENTERボタンを押す

セットアップナビゲーターを開始します。

■ 設定の途中で前の設定画面に戻るには

ジョイスティックを左(◄)に操作します。

画面に表示する言語を選ぶ

日本語、または英語を選ぶことができます。**ジョイスティック**を上下(▲/▼)に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

日本語：
画面に表示される言語が日本語になります。

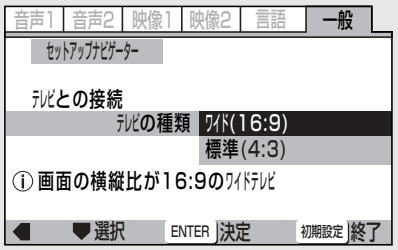
English：
画面に表示される言語が英語になります。

お知らせ

画面表示言語で選んだ言語が、字幕言語、および音声言語に自動的に選択されます(**P.67**)。

接続したテレビの種類を選ぶ

本機に接続したテレビの種類を設定します。**ジョイスティック**を上下(▲/▼)に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

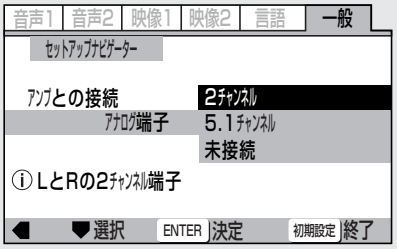


ワイド(16:9)：
ワイド (16:9)のテレビと接続したとき選択します。

標準(4:3)：
従来サイズ(4:3)のテレビと接続したとき選択します。

接続したアナログ端子を選ぶ

P.20で接続したアナログ音声出力端子のチャンネル数に合わせて設定します。**ジョイスティック**を上下(▲/▼)に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。



2チャンネル：
本機の音声出力(フロント)端子に接続したとき選択します。

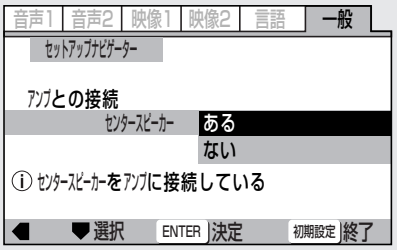
5.1 チャンネル：
本機のマルチチャンネル音声出力端子に接続したとき選択します。

未接続：
本機のアナログ音声出力端子に接続していないとき選択します。

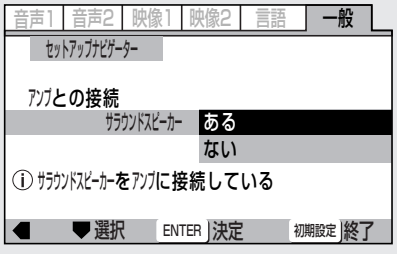
アンプに接続したスピーカーを選ぶ

[*接続したアナログ端子を選ぶ*]の設定で**[5.1チャンネル]**を選択したときは、スピーカーの設定が必要になります。各スピーカーと接続してあるときは**[ある]**、接続してないときは**[ない]**を選択します。
ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

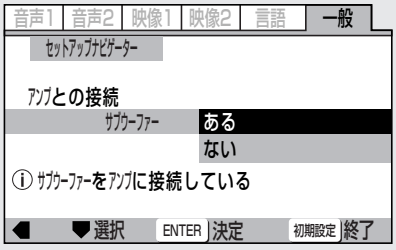
[センタースピーカー]



[サラウンドスピーカー]



[サブウーファー]

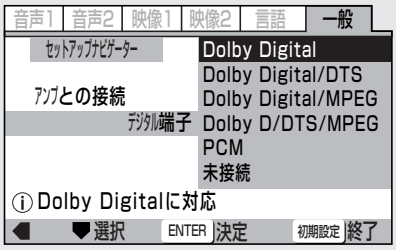


ある：
スピーカーを接続しているとき選択します。

ない：
スピーカーを接続していないとき選択します。

アンプが対応しているデジタル信号を選ぶ

P.18-20で接続したアンプがどのデジタル信号に対応しているかを設定します(お手持ちのアンプの取扱説明書も合わせてご覧ください)。**ジョイスティック**を上下(▲/▼)に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。



Dolby Digital：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているAVアンプなどがドルビーデジタル対応のとき選択します。

Dolby Digital/DTS：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているAVアンプなどがドルビーデジタルおよびDTS対応のとき選択します。

Dolby Digital/MPEG：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているAVアンプなどがドルビーデジタルとMPEG対応のとき選択します。

Dolby D/DTS/MPEG：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているAVアンプなどがドルビーデジタル、DTS、およびMPEG対応のとき選択します。

PCM：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているアンプがステレオアンプ、またはドルビープロロジック対応アンプのとき選択します。

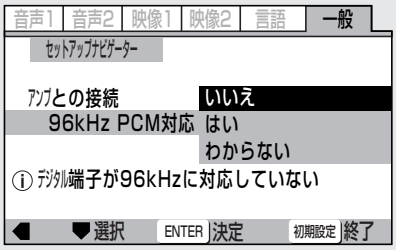
未接続：
付属のアナログ音声ケーブルのみでアンプなどと接続しているとき、またはアンプがどのデジタル信号に対応しているかわからないとき選択します。この項目を選択すると次の**[96kHz PCM対応]**の設定は必要がないため、次のページの『***セットアップナビゲーターを終了する***』へ移ります。

お知らせ

DTS音声に対応していないアンプと接続しているとき**[Dolby Digital/DTS]**、または**[Dolby D/DTS/MPEG]**を選択するとノイズが発生することがあります。

接続したアンプが96kHz音声に対応しているかを選ぶ

本機と接続したアンプがリニアPCMの96kHzに対応しているか、対応していないかを設定します。**ジョイスティック**を上下(▲/▼)に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。



いいえ：
本機と接続したアンプがリニアPCMの96kHzに対応していないとき選択します。

はい：
本機と接続したアンプがリニアPCMの96kHzに対応しているとき選択します。

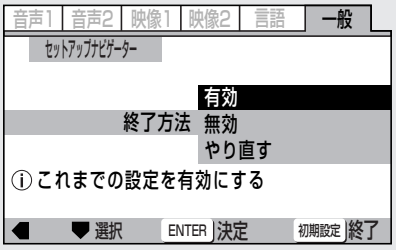
わからない：
本機と接続したアンプがリニアPCMの96kHzに対応しているかどうかわからないとき選択します。

お知らせ

[いいえ]、[わからない]を選択したときは、DVDの音声がリニアPCMの96kHzであっても48kHzに変換した信号を出力します。

セットアップナビゲーターを終了する

今まで設定した項目を有効にして終了するか、無効にして終了するか、またはやり直すかを選択します。



有効：
これまでの設定内容を有効にして終了します。

無効：
これまでの設定内容を無効にして終了します。

やり直す：
セットアップナビゲーターを使って行った設定を**[画面表示言語]**の設定からやり直します。

ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して[有効]、[無効]、[やり直す]のいずれかを選び、ENTERボタンを押す

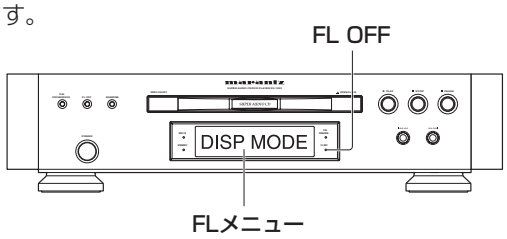
- **[有効]**、または**[無効]**を選んだときは、初期設定画面が消えます。
- **[やり直す]**を選んだときは、**P.24**の**[画面表示言語]**の設定画面に戻ります。

お知らせ

- セットアップナビゲーターでは基本的な設定を行います。より細やかな設定は初期設定画面で行います(**P.49**以降)。
- セットアップナビゲーターの設定を出荷時に戻すには、電源がOFFのとき、本体の**停止(■STOP)ボタン**を押しながら、本体の**電源(POWER)ボタン**を押してください(**P.75**)。

「FLメニュー」を使って設定する

「FLメニュー」により「DISP MODE」、「DVI V LVL」、「AUTO P OFF」、「REMOTE CODE」、「ECO MODE」の設定を行ないます。



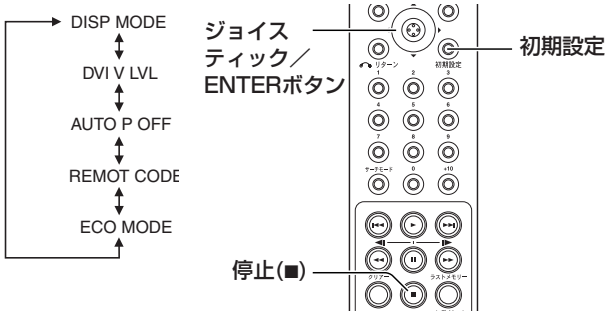
FLメニューの内容を選ぶ

1 リモコンの初期設定ボタンを1秒以上押す

本体のFL OFFインジケーターが点滅し、表示窓にFLメニューが表示されます。

2 選定する項目を選ぶ

ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して選び、**ENTERボタン**を押す。

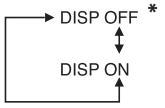


FLメニューを終了する

初期設定ボタンを押す。

DISP MODEの種類を選ぶ

ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して選び、**ENTERボタン**を押す。



* 出荷時の設定

■ **DISP ONが選択されているとき、CD、MP3、スーパーオーディオCDを再生すると表示窓と映像出力は自動的にOFFになります。**

この時、本体のFL OFFボタンを押すと、表示窓のみ3秒間表示します。

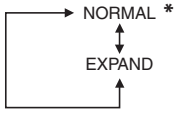
又、STOP時は、映像出力はOFFのままですが、表示窓は表示されます。

お知らせ

ディスクによっては正常に動作しないものがあります。その場合はDISP MODEをOFFにしてご使用ください。

DVI V LVLの種類を選ぶ

ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して選び、**ENTERボタン**を押す。



* 出荷時の設定

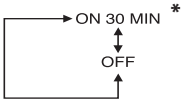
■ **DVI接続時、ディスプレイによっては黒が浮く場合があります。その様なときは下記の様に出力の映像データの範囲を切り換えることができます。**

NORMAL ：16（黒）～235（白）

EXPAND ：0（黒）～246（白）

AUTO P OFFの種類を選ぶ

ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して選び、**ENTERボタン**を押す。

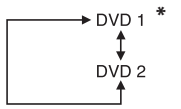


* 出荷時の設定

■ **「ON 30 MIN」の項目を選ぶと、STOP状態が約30分続くと自動的にスタンバイ状態になります。**

REMOTE CODEの種類を選ぶ

ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して選び、**ENTERボタン**を押す。



* 出荷時の設定

■ **本体、リモコンともに2種類のリモコンコード「DVD1」「DVD2」を持っています。**

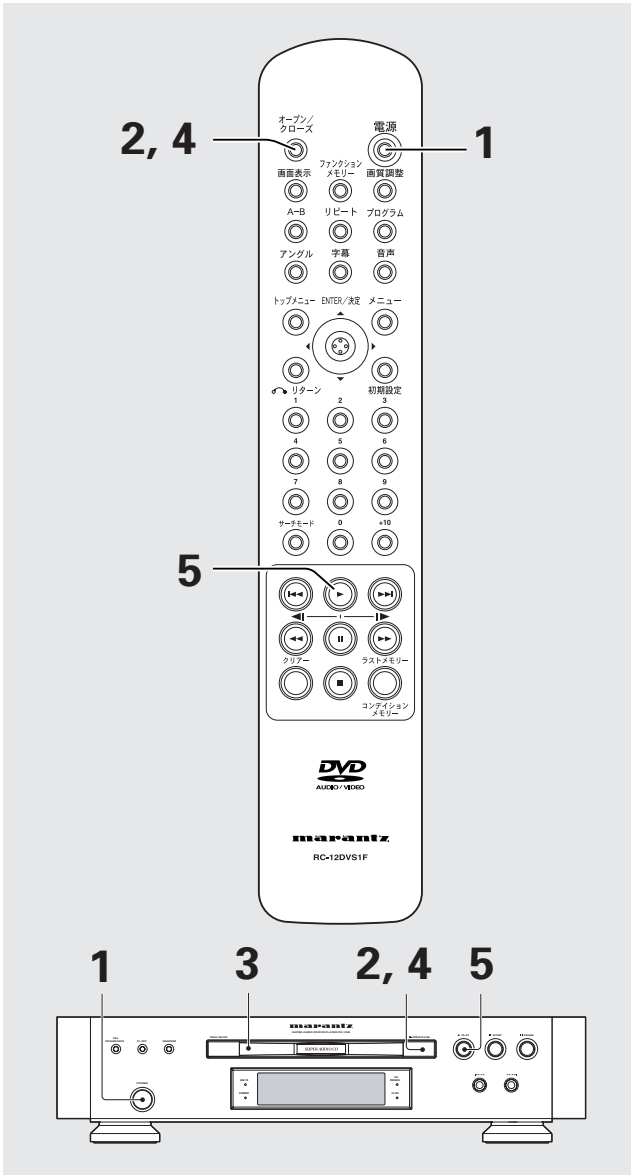
■ **本体とリモコンは同じリモコンコードに選定してください。違う場合は働きません。**

ECO MODE

■ **この設定はカスタマーインストラー用です。出荷時の設定はONですので、そのままご使用ください。**

基本的な使いかた

ディスクを再生する DVD SACD CD VIDEO CD DVD-RW MP3



1 リモコンの電源ボタンを押す

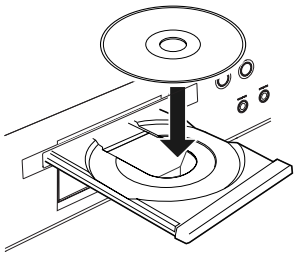
リモコンの電源ボタンで電源をON/スタンバイするときは本体の電源(POWER)ボタンをON状態にしてください。

2 オープン/クローズ(OPEN/CLOSE, ▲)ボタンを押す

ディスクテーブルが開きます。

3 ディスクテーブルのガイドに合わせて、ディスクを置く

- レーベル面を上にして置いてください。両面に記録されているディスクのときは見たい面を下にして置いてください。
- 詳しいディスクの取り扱いについては**P.77**をご覧ください。



4 オープン/クローズ(OPEN/CLOSE, ▲)ボタンを押す

- ディスクテーブルが閉まります。DVDの中には、ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始めるディスクがあります。
- DVD-RW、またはMP3では、ディスク情報を読み込み中、画面に**「しばらくお待ち下さい」**と表示されます。表示が消えてから手順**5**に進んでください。

5 再生(PLAY/►)ボタンを押す

- 再生が始まります。
- プログラムメモリー(**P.39**)をしたディスクでは、自動的にプログラムした順に再生が始まります。

お知らせ

画面の上下に黒い帯が表示されるDVDがあります。
本機の故障ではありません。

■ DVDのメニュー画面が表示されたとき (P.28も合わせてご覧ください。)

以下の手順で操作します。

① **ジョイスティック、または数字ボタンで項目を選ぶ**

② **ENTERボタンを押す**

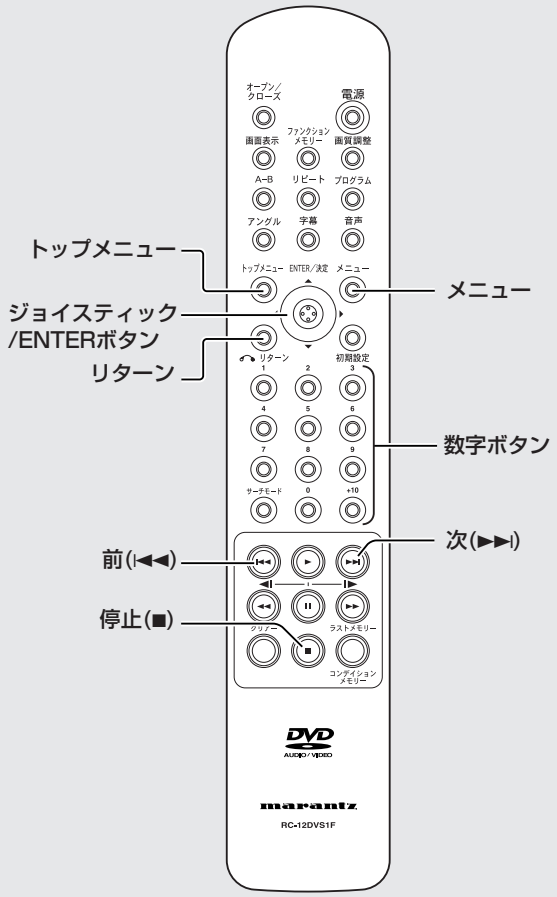
■ VIDEO CDのメニュー画面が表示されたとき (P.29も合わせてご覧ください。)

数字ボタンを押す

聞きたいトラック(曲)番号を押します。

ディスクのメニュー画面を表示する DVD VIDEO CD DVD-RW

メニュー画面付DVDでは、音声や字幕の言語を切り換えたり、特別に収録された映像などを見ることができます。プレイバックコントロール(PBC)機能付ビデオCDでは、メニュー画面で曲を選んで再生することができます。ディスクによってメニュー画面の操作方法が異なります。詳しいメニュー画面の操作方法についてはディスクに添付されている操作ガイドなどをご覧ください。



DVDのメニュー画面を表示する

1 メニューボタン、またはトップメニューボタンを押す

[例]

2 ジョイスティックを上下左右(▲/▼/◄/►)に操作して項目を選ぶ

リモコンの**数字ボタン**を押して項目を選ぶことができるディスクもあります。

3 ENTERボタンを押す

VIDEO CD のメニュー画面を表示する

ビデオCDでは、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドも合わせてご覧ください。

1 PBC再生対応ディスクを入れる

再生が自動的に始まったときは、**停止(■)ボタン**を押してください。

2 停止中に再生(►)ボタンを押す

メニュー画面が表示され、PBC再生が始まります。

[例]

3 数字ボタンで再生したいトラック(曲)を選ぶ

再生が始まります。再生中に**リターンボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

■ メニュー画面のページをめくる、または戻すには

前(I◄◄)、または次(►►I)ボタンを押す。

■ メニュー画面を出さずに(PBC再生を解除して)再生するには

停止中に以下のいずれかのボタンを押して、再生するトラックを選びます。

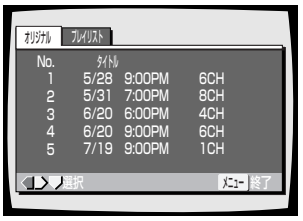
- **前(I◄◄)、または次(►►I)ボタンで選ぶ。**
- **数字ボタンで選ぶ。**

DVD-RW のメニュー画面を表示する

DVD-RWにプレイリストを設定しているときは、**[オリジナル]**、または**[プレイリスト]**を選んで再生することができます。

1 メニューボタンを押す

[例]



2 ジョイスティックを左右(◄/►)に操作して[オリジナル]、または[プレイリスト]を選ぶ

- プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面に**[プレイリスト]**は表示されません。
- 再生中に**[オリジナル]**と**[プレイリスト]**を切り換えることはできません。ディスクを停止してから切り換えてください。

3 ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作してタイトル名を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

再生が始まります。

■ 映像を確認してから再生するには(プレビュー)

停止中に確認したいタイトルを選んでジョイスティックを右(►)に操作する。

タイトルの先頭の画像を表示します(ディスクナビマークで設定した画像ではありません)。

■ メニュー画面のページをめくる、または戻すには

前(I◄◄)、または次(►►I)ボタンを押す。

お知らせ

オリジナルとは

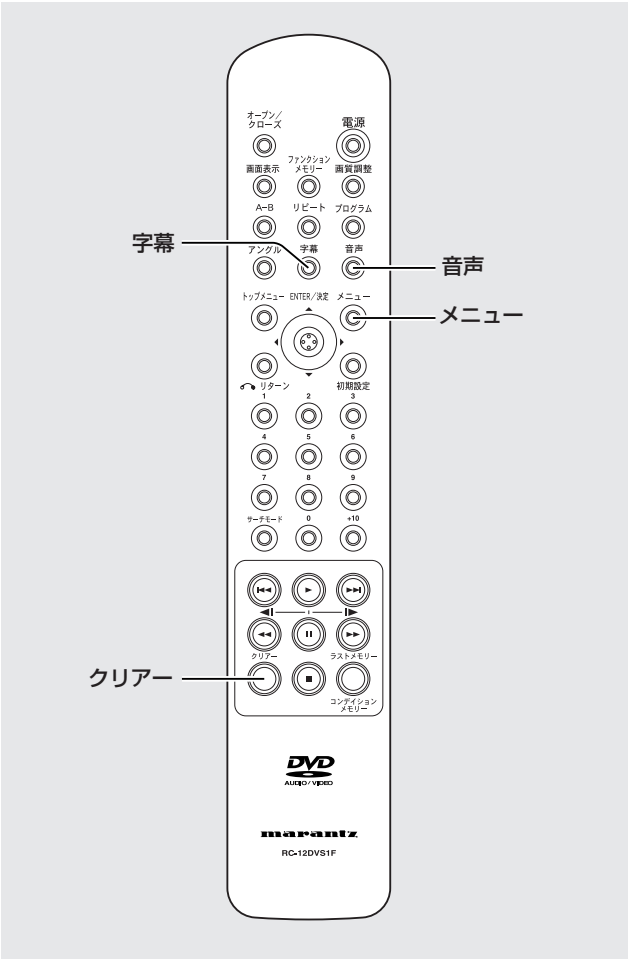
DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを「オリジナル」といいます。

プレイリストとは

オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。

再生中に音声/字幕を切り換える

DVDの中には、再生中にリモコンの**音声ボタン/字幕ボタン**で音声/字幕を切り換えることができないディスクがあります(画面に🚫が表示されます)。このようなときはディスクのメニュー画面で切り換えてください(**P.28**)。



再生中に音声を切り換える

DVD CD VIDEO CD DVD-RW MP3

複数の言語で音声が記録されているDVDでは、再生する**音声言語**を変更することができます。音声が二重音声(二カ国語)で録画されているDVD-RWでは、**主音声、副音声、主/副音声**を切り換えることができます。ビデオCD、CD、またはMP3では**ステレオ、1/L(左)、2/R(右)**を切り換えることができます。

再生中に音声ボタンを押す

現在選択している音声が表示されます。押すたびに音声が切り換わります。

再生中に字幕を切り換える

DVD

複数の言語で字幕が記録されているDVDでは、表示する字幕を変更することができます。

再生中に字幕ボタンを押す

現在選択している字幕が表示されます。押すたびに字幕表示が切り換わります。

■ 字幕を消すには

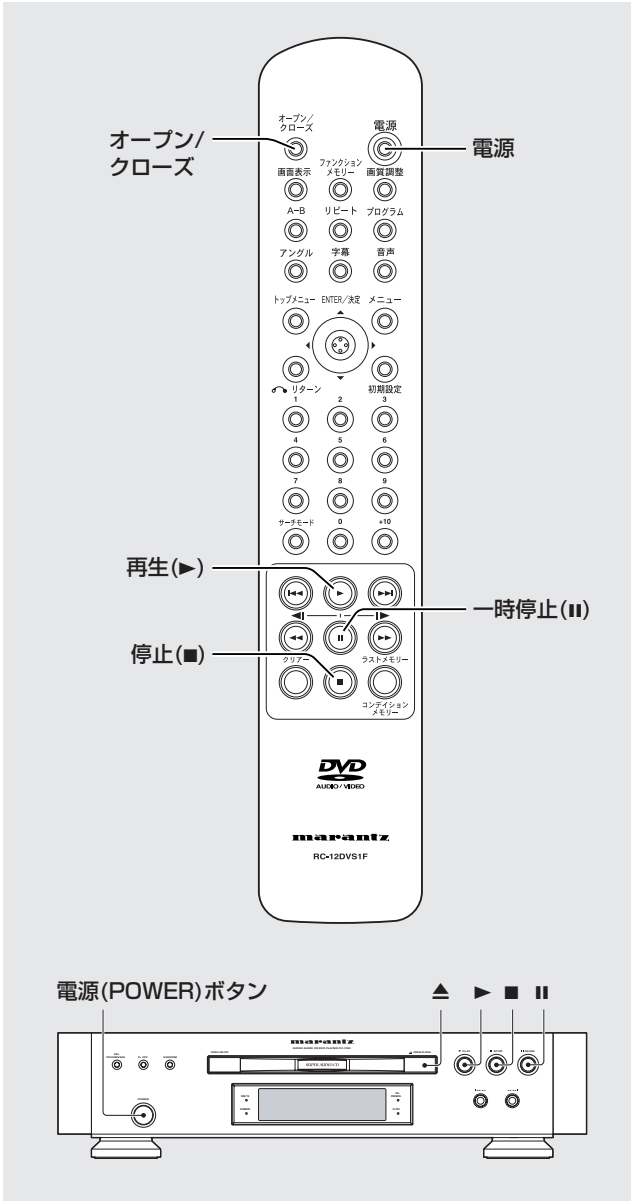
以下のいずれかの操作をします。

- **字幕ボタンを押した後にクリアーボタンを押す。**
- **字幕ボタンを押してオフを選ぶ。**

お知らせ

- ここで切り換えた音声、または字幕の設定は、以下のようなとき初期設定画面(**P.49**)の設定に戻ります。
  - リジューム機能(**P.31**)を解除したとき
  - ディスクを取り出したとき
- 音声がステレオで録画されているDVD-RWでは、主音声と副音声の切り換えはできません。
- 再生中のディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。
- SACDの音声を切り換えることはできません。
- DVDビデオのスライドショー(**P.82**)の再生中に音声を切り換えると、しばらくの間(最大約30秒間)音声が途切れることがあります。

ディスクを一時停止/停止する DVD SACD CD VIDEO CD DVD-RW MP3



お知らせ

- DVDでは、停止中に**前(I◄◄)ボタン**、または**次(►►I)ボタン**を押すと、それまで再生していたタイトルの始めから再生します。リジューム機能を解除しているとき**再生(PLAY/►)ボタン**を押すとタイトル1の始めから再生します。
- リジューム機能はディスクを取り出すと解除されます。ディスクの入れ替えをしても、停止した場所や再生中の設定を記憶させておきたいときはラストメモリー機能(**P.42**)をお使いください。

ディスクを一時停止する(静止画再生)

再生中に一時停止(PAUSE/II)ボタンを押す

■ 通常の再生に戻すには

一時停止中(静止画再生中)に以下のいずれかを押します。

- **再生(PLAY/►)ボタン押す。**
- **一時停止(PAUSE/II)ボタンを押す。**

ディスクを停止する

再生中に停止(STOP/■)ボタンを押す

DVDビデオ、ビデオCD、およびDVD-RWでは、本体の表示窓に"RESUME"と表示され、停止した場所を記憶します(リジューム機能)。**DVDオーディオ、スーパーオーディオCD、CDおよびMP3では、リジューム機能は働きません。**

■ 停止した場所から再生するには

再生(PLAY/►)ボタンを押す。

■ リジューム機能を解除するには

以下のいずれかの操作をします。

- **ディスクを取り出す。**
- **停止中に停止(STOP/■)ボタンを押す。**

ディスクを取り出す

オープン/クローズ(OPEN/CLOSE, ▲)ボタンを押す

ディスクテーブルが開きます。

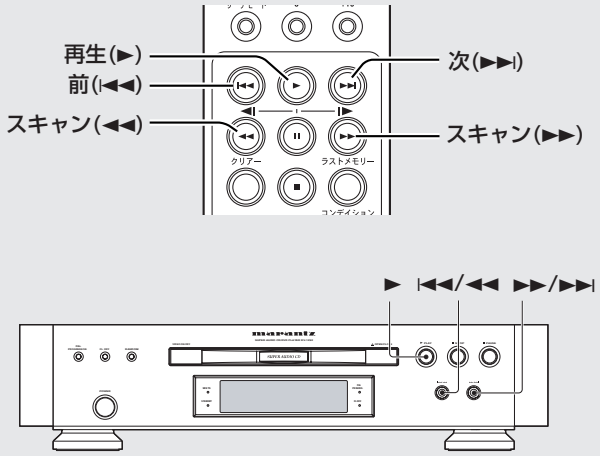
電源を切る

リモコンの電源ボタンを押す

ディスクテーブルが閉じてスタンバイモードになります。

本体の電源(POWER)ボタンを押す。

便利な使いかた



見たいチャプター(場面)/トラック(曲)にスキップする(頭出し)

DVD SACD CD VIDEO CD DVD-RW MP3

チャプター(場面)/トラック(曲)を頭出しします。押した回数だけスキップします。

■ **見たいチャプター(場面)/トラック(曲)に進むには**

再生中に次(►►|)ボタンを押す。
(本体では►►/►►|**ボタン**)

■ **見たいチャプター(場面)/トラック(曲)に戻るには**

再生中に前(|◄◄)ボタンを押す。
(本体では|◄◄/◄◄**ボタン**)

ディスクを早送り/早戻しする(スキャン)

DVD SACD CD VIDEO CD DVD-RW MP3

早送りする

再生中にスキャン(►►)ボタンを押す

- ボタンから指を離しても早送りを続けます。
- スキャン中は画面に**「►► 1」**が点灯します(DVDオーディオのときは**「►►2」**が点灯します)。
- 再生中に**スキャン(►►)ボタン**を押し続けても早送りすることができます(本体では**►► / ►►| ボタン**)。

早戻しする

再生中にスキャン(◄◄)ボタンを押す

- ボタンから指を離しても早戻しを続けます。
- スキャン中は画面に**「◄◄ 1」**が点灯します(DVDオーディオのときは**「◄◄2」**が点灯します)。
- 再生中に**スキャン(◄◄)ボタン**を押し続けても早戻しすることができます(本体では**|◄◄ / ◄◄ ボタン**)。

通常の再生に戻す

見たい/聞きたい場所で再生(PLAY/►)ボタンを押す

スキャン**(◄◄/►►)ボタン**を押し続けて早送り/早戻しているときは、見たい/聞きたい場所で指を離します。

早送り/早戻しの速さを変える

DVDビデオ/DVD-RWでは3段階(1 → 2 → 3)、DVDオーディオでは2段階(2→ 3)、スーパーオーディオCD/ビデオCD/CDでは(1→ 2)に切り換えることができます。MP3では1段階のみとなります。

■ **早送りの速さを変えるには**

再生中にスキャン(►►)ボタンを押す
押すたびに速さが以下のように切り換わります。
►► 1 → ►► 2 → ►► 3
速い

■ **早戻しの速さを変えるには**

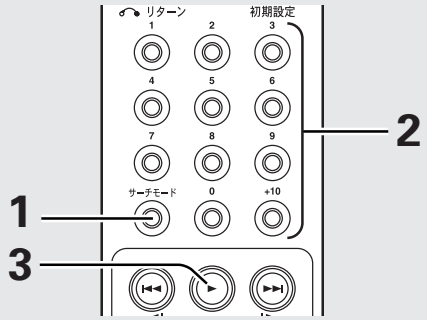
再生中にスキャン(◄◄)ボタンを押す
押すたびに速さが以下のように切り換わります。
◄◄ 1 → ◄◄ 2 → ◄◄ 3
速い

■ **通常の再生に戻すには**

再生(PLAY/►)ボタンを押す

見たい/聞きたい場所を探す(サーチモード) DVD SACD CD VIDEO CD DVD-RW MP3

DVD/DVD-RWのタイトル/チャプター(場面)、DVDオーディオのグループ/トラック、スーパーオーディオCD/CD/ビデオCDのトラック(曲)、MP3のフォルダー/トラック(曲)、さらに再生を開始する時間を指定(タイムサーチ)して、見たい/聞きたい場所を探すことができます。



1 サーチモードボタンを押す

サーチの種類を選びます。押すたびに以下のように切り換わります。

DVD VIDEO DVD-RW

タイトル → チャプター → タイム → オフ → タイトル

DVD AUDIO VIDEO CD

グループ/トラック → トラック/タイム → オフ → グループ/トラック

SACD CD

トラック → オフ → トラック

MP3

フォルダー → トラック → オフ → フォルダー

* フレームサーチ(DVDのみ)をするときは、初期設定画面で**[映像1]**の**[フレームサーチ]**を**[オン]**にしてください。

2 希望のタイトル/グループ、チャプター、フォルダー、トラック、または再生を開始したい時間を数字ボタンで選ぶ

■ **タイトル/グループ/フォルダー、またはチャプター(場面)/トラック(曲)番号で探す**

[例]

- 3を選ぶには、**3**を押します。
- 10を選ぶには、**1**と**0**を押します。
- 37を選ぶには、**3**と**7**を押します。

■ **時間で探す(タイムサーチ)**

[例]

- 21分43秒を選ぶには、**2**、**1**、**4**、**3**と押します。
- 1時間14分(=74分00秒)を選ぶには、**7**、**4**、**0**、**0**と押します。

3 再生(►)ボタンを押す

指定した場所から再生します。**[フレームサーチ]**が**[オン]**のときは、指定した場所で静止画になります。

お知らせ

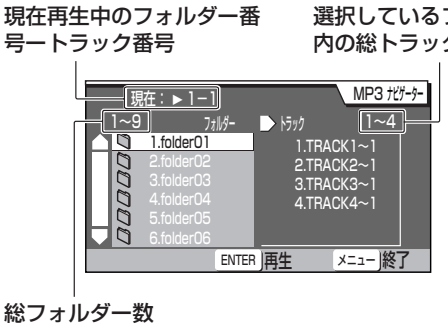
- DVDオーディオの中には静止画が入っているものがあります(**P.82**)。静止画の種類によっては**サーチモードボタン**を押すと、静止画の番号「ページ」を指定して探すことができます。
- ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。メニュー画面を表示させて選択してください(**P.28, 29**)。
- ディスクによってサーチ機能を禁止しているものがあります。その場合は🚫マークが画面に表示されます。
- DVDまたはビデオCDでは指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- DVDでは、停止中にタイムサーチはできません。
- ビデオCDのPBC再生中、タイムサーチはできません。PBC再生を解除してください(**P.29**)。
- DVDオーディオ、スーパーオーディオCD、CD、およびMP3ではタイムサーチはできません。
- 映像は1秒間が30フレームで構成されています。フレームは0～29の番号で表示されます。
- 一時停止中、またはコマ送り中にフレーム番号を表示させることができます。初期設定画面で[映像1]の**[フレームサーチ]**を**[オン]**にして、**画面表示ボタン**を押します(**P.62**)。
- ディスクによっては指定したフレームにサーチできないことがあります。
- 複数でセットになっているスーパーオーディオCDでは、ディスクの1曲目がトラック1でないことがあります。例えば、ディスク1に10曲、ディスク2に10曲収録されているSACDでは、ディスク2の1曲目がトラック11になることがあります。

MP3ナビゲーターを使って聞きたいトラック(曲)を探す

1 メニューボタンを押す

MP3ナビゲーター画面が表示されます。

[例]

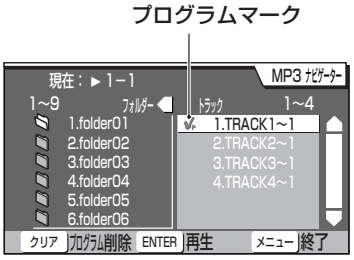


2 ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して聞きたいフォルダーを選ぶ

ジョイスティックを上下(▲/▼)に押すと、前/次のフォルダーの選択画面に切り換わります。

■ さらにトラック(曲)を選んで再生するには

[例]



以下の手順で操作します。

① **ジョイスティックを右(▶)に操作する。**
選択項目がトラックの欄に移動します。

② **ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して聞きたいトラックを選ぶ。**
ジョイスティックを上下(▲/▼)に押すと、前/次のトラックの選択画面に切り換わります。

③ **選んだトラックをプログラムして再生したいときはプログラムボタンを押す。**
- 押した回数だけプログラムします。
- **「プログラムマーク(✓)」**が表示されます。
プログラム再生するには**メニューボタン**を押してMP3ナビゲーター画面を消してから、『*MP3をプログラム再生する*』(**P.40**)をご覧ください。

3 決定(ENTER)ボタンを押す

選んだフォルダー/トラックを再生します。
本機に対応していないフォルダー/トラックを選んだときは**「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」**と表示され、自動的にそのフォルダー/トラックを飛ばして再生を始めます。

ダイレクトサーチ

数字ボタンを押すだけで見たい/聞きたい場所を探すことができます。

■ DVD のタイトル / グループ、またはチャプター(場面)をダイレクトサーチするには

以下の操作をします。

- **停止中に希望のタイトル/グループを数字ボタンで選ぶ。**
- **再生中に希望のチャプターを数字ボタンで選ぶ。**

[例]

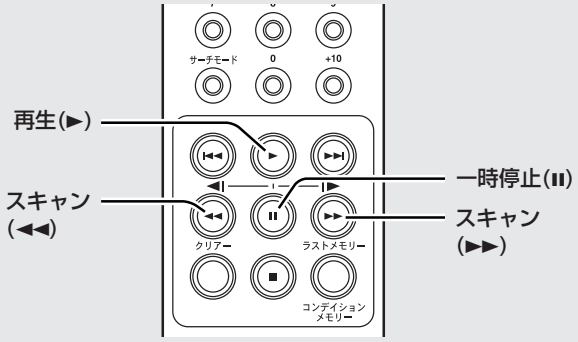
- 3を選ぶには、**3**を押します。
- 10を選ぶには、**+10**と**0**を押します。
- 37を選ぶには、**+10**、**+10**、**+10**と**7**を押します。

■ SACD CD VIDEO CD MP3 のトラック(曲)をダイレクトサーチするには

希望のトラックを数字ボタンで選ぶ。

■ DVD-RW のタイトルをダイレクトサーチするには

希望のタイトルを数字ボタンで選ぶ。



画像をコマ送りで見る(コマ送り再生)

DVD VIDEO CD DVD-RW

この機能はリモコンでのみ操作できます。

一時停止中(静止画再生中)にスキャン(►►)を押す

押すたびにコマ送りします。

■ **逆方向にコマ送り再生するには**

一時停止中(静止画再生中)にスキャン(◄◄)を押す。

- 押すたびに逆方向へコマ送りします。
- ビデオCDでは逆方向のコマ送り再生はできません。

■ **通常の再生に戻すには**

再生(►)又は一時停止(II)ボタンを押す。

画像をスローで見る(スロー再生)

DVD VIDEO CD DVD-RW

この機能はリモコンでのみ操作できます。

1 再生中に一時停止(II)ボタンを押す

一時停止(静止画)になります。

2 スキャン(►►)ボタンを押し続ける

「1/16」と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

■ **スロー再生の速さを変えるには**

スロー再生中にスキャン(►►)ボタンを押す。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

注) スロー再生中にスキャン(◄◄)ボタンを押すと一時停止(静止画)に戻ります。

3 逆方向にスロー再生するには

一時停止中(静止画再生中)にスキャン(◄◄)ボタンを押し続ける

注) ビデオ CD では逆方向にスロー再生はできません。

■ **スロー再生の速さを変えるには**

スロー再生中にスキャン(◄◄)ボタンを押す。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

注) スロー再生中にスキャン(►►)ボタンを押すと一時停止(静止画)に戻ります。

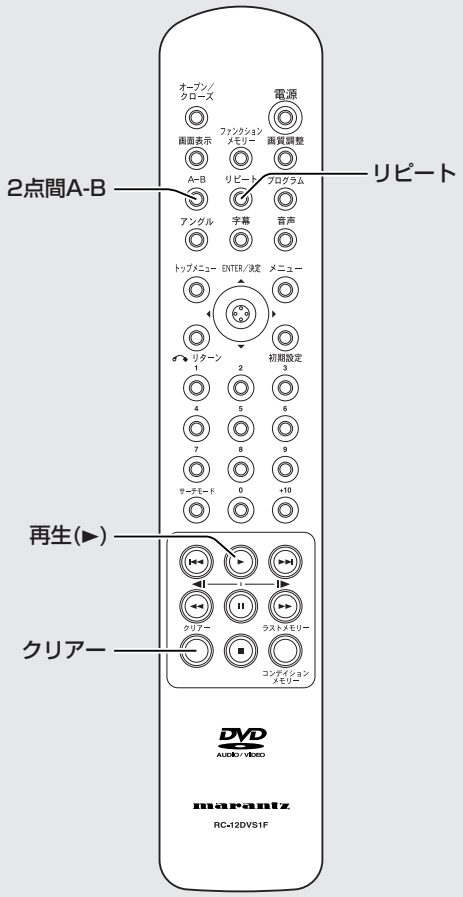
■ **通常の再生に戻すには**

再生(►)ボタンを押す。

お知らせ

- DVDオーディオの中には、静止画が入っているものがあります(**P.82**)。静止画の種類によっては、一時停止中に**スキャン(◄◄/►►)ボタン**で静止画を進めたり、戻したりすることができます。
- 静止画、コマ送り、スロー再生中は音声が出力されません。
- 静止画の画像にブレがあるときは、初期設定画面の**[ポーズモード]**を**[フィールド]**に切り換えてください(**P.66**)。
- ディスクによっては、逆方向のコマ送り再生中、画像が揺れることがあります。
- ディスクによっては、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生のできないディスクもあります。その場合は🚫マークまたは🚫マークが画面に表示されます。(スーパーオーディオCD、CD、MP3はできません)
- ビデオ CD では逆方向のスロー再生はできません。
- DVD ではタイトルによってスロー再生ができないものもあります。その場合は🚫マークまたは🚫マークが画面に表示されます。
- ディスクによっては逆方向のスロー再生がスムーズにできないことがあります。
- 逆方向のスロー再生時は通常の再生時より画質が落ちることがあります。
- 逆方向のスロー再生または逆方向のスキャン中、字幕は表示されません。
- ディスクによってはチャプターの変わり目などで自動的に通常の再生に戻ってしまうことがあります。又この時に**スキャン(◄◄/►►)ボタン**を押しても早送り、早戻しにならないことがあります。このような時は一度**再生(►)ボタン**を押してから再度**スキャン(◄◄/►►)ボタン**を押してください。
- DVD ではタイトルによってコマ送り再生、コマ戻し再生ができないものもあります。このようなときテレビ画面上に🚫が表示されます。
- ビデオ CD ではコマ戻し再生ができません。
- コマ戻し再生時は通常の再生時より画質が落ちることがあります。

繰り返し再生する(リピート再生) DVD SACD CD VIDEO CD DVD-RW MP3



再生中のチャプター(場面)/トラック(曲)を繰り返す

■ DVD SACD CD VIDEO CD DVD-RW MP3 を再生しているとき

リピートボタンを1回押す。

再生中のタイトル/グループ/フォルダーを繰り返す

■ DVD DVD-RW MP3 を再生しているとき

リピートボタンを2回押す。

再生中のディスクを繰り返す

■ SACD CD VIDEO CD を再生しているとき

リピートボタンを2回押す。

■ MP3 を再生しているとき

リピートボタンを3回押す。

指定した範囲を繰り返す(A-Bリピート)

DVD CD VIDEO CD DVD-RW

■ 指定した範囲を繰り返し再生するには

以下の手順で操作します。

① 再生中に繰り返したい範囲の始めで2点間A-B(A-B)ボタンを押す。

② 繰り返したい範囲の終わりで2点間A-B(A-B)ボタンを押す。

■ 指定した箇所に戻って再生するには

① 再生中に戻る先として指定したい箇所で2点間A-B(A-B)ボタンを押す。

② 戻りたいときに再生(►)ボタンを押す。

通常の再生に戻す

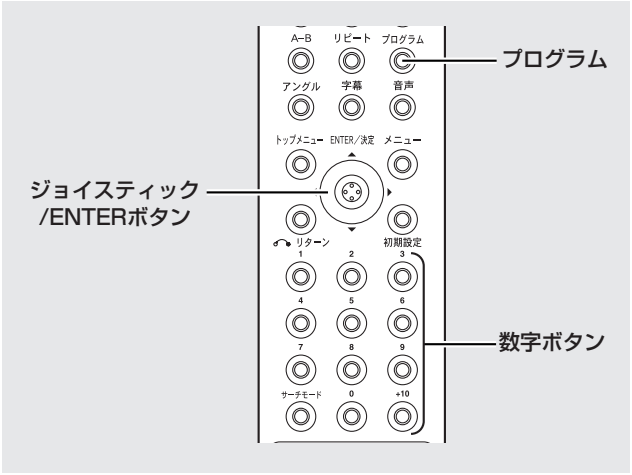
クリアーボタンを押す、またはリピートボタンを押してオフを選ぶ

お知らせ

- スーパーオーディオCDでは、範囲を指定してのリピートと、指定した箇所に戻ることはできません。
- DVDではタイトル/グループによってはリピート再生のできないものがあります。そのときは、マークが表示されます。
- DVD-RWでは異なるタイトルをまたいでA-Bリピート再生することはできません。
- ビデオCDのPBC再生中はリピート再生できません。PBC再生を解除してから**リピートボタン**を押します(**P.29**)。
- MP3ではA-Bリピート再生できません。
- プログラム再生中(**P.37**)に**リピートボタン**を押すと、プログラムを繰り返し再生します。
- リピート再生中にアングルを切り換える(**P.45**)とリピート再生は解除されます。

順番を変えて再生する(プログラム再生) DVD SACD CD VIDEO CD MP3

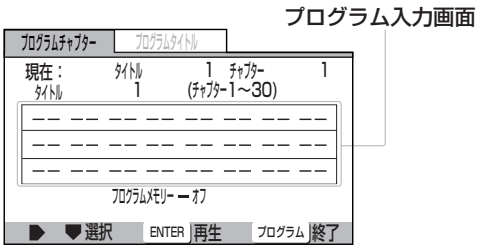
DVDのタイトル/チャプター(場面)、DVDオーディオのグループ/トラック、ビデオCD/スーパーオーディオCD/CDのトラック(曲)、MP3のフォルダー/トラック(曲)を希望の順番に並べ換えて再生します。最大24ステップまでプログラムできます。



DVD SACD CD VIDEO CDのタイトル/グループ、チャプター(場面)、またはトラック(曲)をプログラムする

1 プログラムボタンを押す

- プログラム画面が表示されます。
- DVDのときは**ジョイスティック**を左右(◄/►)に操作して[**プログラムチャプター**]、または[**プログラムタイトル**]を選びます。スーパーオーディオCD、CD、またはビデオCDのときは手順**3**に進みます。



[例]DVDのプログラム画面

2 ジョイスティックを下(▼)に操作する

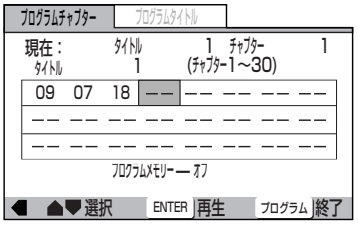
- プログラム入力画面に移動します。
- [**プログラムチャプター**]の画面でタイトル番号を変えたいときは、以下の手順で操作します。
  ① **プログラム入力画面の最上段でジョイスティックを上(▲)に操作する。**
  ② **数字ボタンを押してタイトルを指定する。**

3 プログラム再生したい順にタイトル/グループ、チャプター、またはトラックを数字ボタンで指定する

一時停止をプログラムすることもできます(**P.38**)。

[例]

9、7、18の順にプログラムするには、**9**、**7**、**+10**、**8**と押します。



4 ENTERボタン、または再生(►)ボタンを押す

- プログラムした順に再生が始まります。
- プログラム再生しないでプログラム画面を終了するには**プログラムボタン**を押します。
- プログラム画面が自動的に消えたときはプログラムの内容が無効になります。有効にするには**ENTERボタン**、または**再生(►)ボタン**を押してプログラム再生を始めるか、または**プログラムボタン**を押してプログラム画面を終了してください。

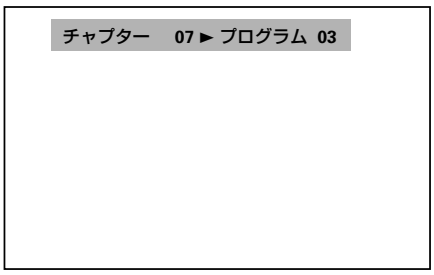
お知らせ

- DVD-RWをプログラム再生することはできません。また、DVDの中にもプログラム再生をすることができないものがあります。このようなディスクのときは画面に🚫マークが表示されます。
- ビデオCDのPBC再生中にプログラム再生することはできません。PBC再生を解除してください(**P.29**)。
- チャプターをプログラムするときは、同じタイトル内のチャプターのみプログラムすることができます。
- チャプターが変わるときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがあります。これは故障ではありません。
- スーパーオーディオCDではトラック100以降のプログラムはできません。

再生中のチャプター(場面)/トラック(曲)を確認しながらプログラムする

1 プログラムしたいチャプター、またはトラックを再生中にプログラムボタンを1秒以上押す

- 以下の画面が表示されるまで押し続けてください。
- さらにプログラムに追加したいときはこの操作を繰り返します。



2 プログラムボタンを押す

- プログラム画面の内容を確認します。再生を始めるには**ENTERボタン**を押します。
- プログラム再生しないでプログラム画面を終了するには**プログラムボタン**を押します。

お知らせ

- すでに**[プログラムタイトル]**が入力されているときは、チャプターではなくタイトルがプログラムされます。
- チャプタープログラムされているタイトルと現在再生しているタイトルが異なるときは🚫が表示され、プログラムを入力することができません。
- すでにプログラムが入力されているときは、そのプログラムの後ろに追加されます。
- すべてのプログラム(24 ステップ)が入力されているときは🚫が表示され、プログラムを追加することはできません。

プログラムの内容を確認する

プログラムボタンを押す

DVDでは、**ジョイスティック**を左右(◄/►)に操作して**[プログラムチャプター]**、または**[プログラムタイトル]**を選びます。

プログラムを挿入する

1 プログラム入力画面で挿入したい場所をジョイスティックを上下左右(▲/▼/◄/►)に操作して指定する

2 数字ボタンでプログラムしたいタイトル/グループ、チャプター/トラックを選ぶ

一時停止をプログラムする

プログラム入力画面で一時停止(II)ボタンを押す

「II」が表示されます。一時停止をプログラムすると、次にプログラムしたタイトル、チャプター/トラックの始めで一時停止します。

お知らせ

- プログラムの最初と最後に一時停止をプログラムすることはできません。
- 一時停止を連続して2回以上プログラムすることはできません。

通常の再生に戻す

プログラム再生中にクリアーボタンを押す

プログラムを消去する

■ プログラムの内容を 1 つずつ消去するには

① **プログラム入力画面で消去したい番号をジョイスティックを上下左右(▲/▼/◄/►)に操作して選ぶ。**

② **クリアーボタンを押す。**
指定された番号が消去され、後ろの番号が1つ前に移動します。

■ プログラムした内容をすべて消去するには

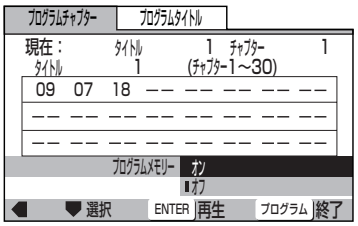
以下のいずれかの操作をします。

- **ディスクを取り出す。**
- **停止中にクリアーボタンを押す。**

DVDのプログラムを記憶する（プログラムメモリー）

本機はディスクを取り出しても、最大24枚までDVDビデオのプログラムを記憶することができます。プログラムを記憶すると、次に同じディスクを再生したとき、プログラム再生を開始します。記憶されたディスクが24枚を超えると、自動的に古いディスクの記憶から消去されます。

1 プログラム画面で[プログラムメモリー]の[オン]をジョイスティックを上下左右(▲/▼/◄/►)に操作して選ぶ



2 ENTERボタンを押す

プログラム画面が自動的に消えたときはプログラムの内容が無効になります。有効にするには**ENTERボタン**、または**再生(►)ボタン**を押してプログラム再生を始めるか、または**プログラムボタン**を押してプログラム画面を終了してください。

■ 記憶したプログラムを消去するには

以下の手順で操作します。

① **[プログラムメモリー]の[オフ]を選ぶ。**

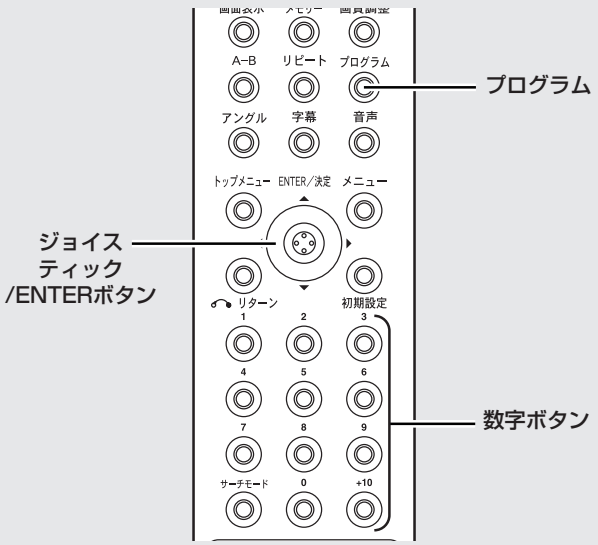
② **ENTERボタンを押す。**
プログラム入力画面に数字は残ったままです。

お知らせ

エフディスクについて

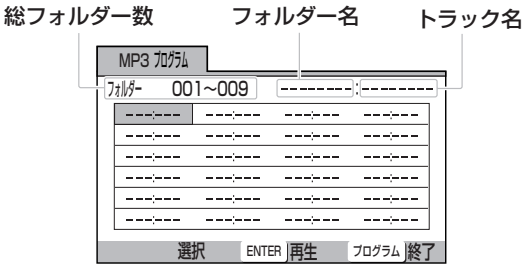
この機能を使うと、（株）フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のチャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

MP3をプログラム再生する



1 プログラムボタンを押す

- プログラム画面が表示されます。
- すでにMP3ナビゲーターでトラックをプログラムしているときはフォルダー、およびトラック番号がプログラム画面に表示されます。

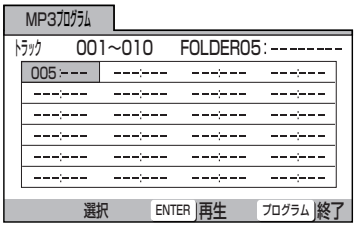


2 プログラム再生したい順にフォルダー/トラック番号を数字ボタンで指定する

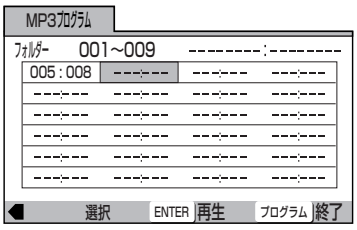
■ **フォルダー＝5、トラック＝8をプログラムするには**

以下の手順で操作します。

① **数字ボタンの5を押す。**
フォルダー5がプログラムされます。



② **数字ボタンの8を押す。**
トラック8がプログラムされます。



- さらにプログラムするには手順2の操作を繰り返します。
- 2桁以上の数字を入力するときは**+10**を使います。

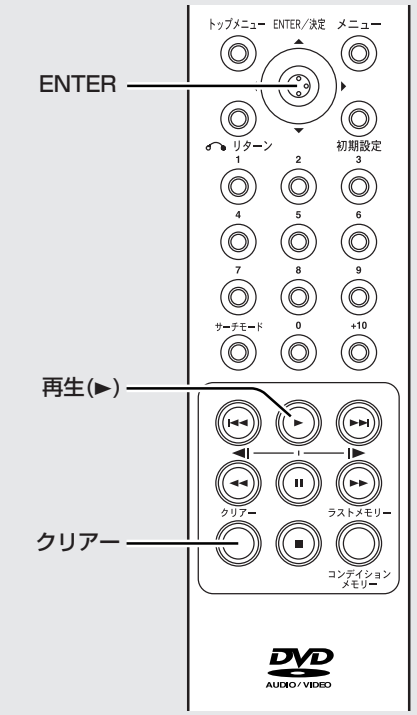
3 ENTERボタンを押す

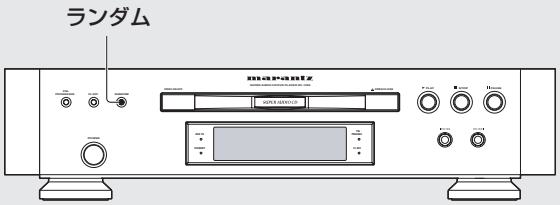
- プログラムした順に再生を始めます。
- プログラム再生をしないでプログラム画面を終了するときは**プログラムボタン**を押します。

お知らせ

- MP3ナビゲーターでもトラックをプログラムすることができます(**P.34**)。
- フォルダー名、またはトラック名が半角英数字以外でつけられているときは、「F_001」、「T_001」のように番号で表示されます。半角英数字以外を表示することはできません。

順不同に再生する(ランダム再生) DVD CD VIDEO CD MP3





お知らせ

- DVD-RW をランダム再生することはできません。また、DVD にもランダム再生できないものがあります。
- ランダム再生中に**次(►►I)ボタン**、または本体の**ランダム(RANDOM)ボタン**を押すと、順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
- ランダム再生中に**前(I◄◄)ボタン**を押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。
- ビデオ CD の PBC 再生中はランダム再生することはできません。ＰＢＣ 再生を解除してください(**P.29**)。
- チャプター、またはトラックをプログラム再生中(**P.37**)にランダム再生することはできません。
- ランダム再生を繰り返すことはできません。
- スーパーオーディオCDではランダム再生はできません。

DVD を順不同に再生する

■ 再生中のタイトル内のチャプター(場面) / グループ内のトラック(曲)を順不同に再生するには

以下の手順で操作します。

① **本体のランダム(RANDOM)ボタンを押す。**

② **再生(PLAY/►)ボタンまたはENTERボタンを押す。**

すべてのチャプター/トラックの再生が終了すると自動的に停止します。

■ 再生中のタイトル / グループを順不同に再生するには

以下の手順で操作します。

① **本体のランダム(RANDOM)ボタン2回を押す。**

② **再生(PLAY/►)ボタンまたはENTERボタンを押す。**

すべてのタイトル/グループの再生が終了すると自動的に停止します。

CD VIDEO CD MP3 を順不同に再生する

■ トラック(曲)を順不同に再生するには

再生中に本体のランダム(RANDOM)ボタンを押す。

すべてのトラックの再生が終了すると自動的に停止します。

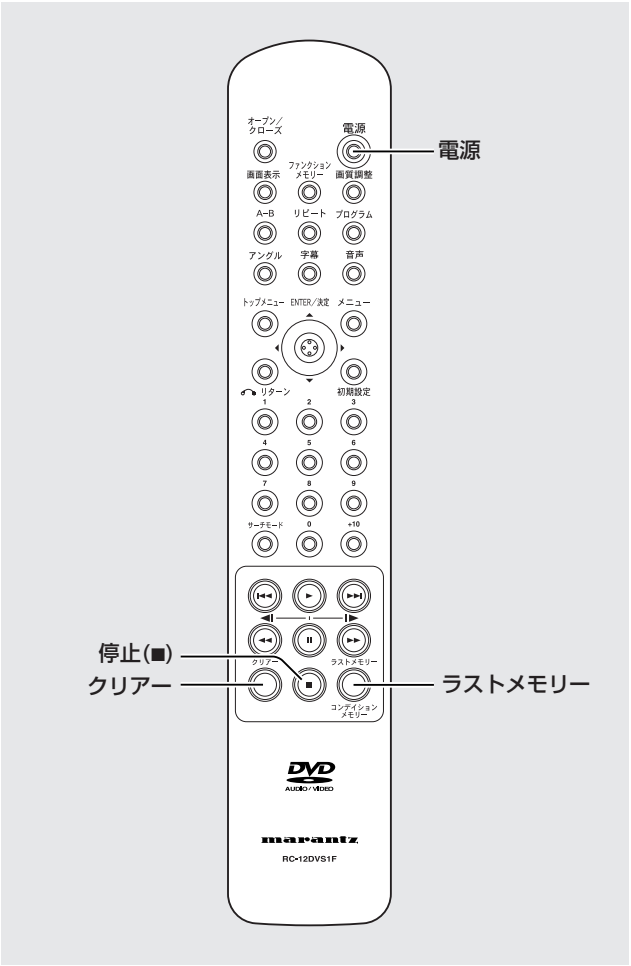
通常の再生に戻す

クリアーボタンを押す

現在再生されているタイトル/ グループ、チャプター、またはトラックから通常の再生に戻ります。

前に見たディスクのつづきを再生する(ラストメモリー) DVD VIDEO VIDEO CD

つづきから見る場所、およびそのときの設定内容をDVDビデオは5枚まで記憶させておくことができます。リジューム機能(**P.31**)と違い、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。ビデオCDは1枚記憶させておくことができます。ビデオCDではディスクを取り出すと記憶が消去されます。



つづきから見る場所を記憶する

1 **再生中にラストメモリーボタンを押す**

表示窓の「LAST MEMO」インジケーターが点灯します。

- 画面に「ラストメモリー」と表示されます。
- 押すたびに記憶する場所が変わります。

2 **リモコンの電源ボタンを押してスタンバイにする。または停止(■)ボタンを押す**

つづきから見る

1 **つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れる**

DVDビデオにはディスクを入れると自動的に再生を始めるものがあります。このときは、**停止(■)ボタン**を押してください。

2 **ラストメモリーボタンを押す**

記憶している場所から再生を始めます。

ラストメモリーを消去するには

1 **つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れる**

DVDビデオには、ディスクを入れると自動的に再生を始めるものがあります。このときは、**停止(■)ボタン**を押してください。

2 **ラストメモリーボタンを押す**

記憶している場所から再生を始めます。

3 **ラストメモリーボタンを押す**

画面に「ラストメモリー」と表示されます。

4 **画面に「ラストメモリー」と表示されている間にクリアーボタンを押す**

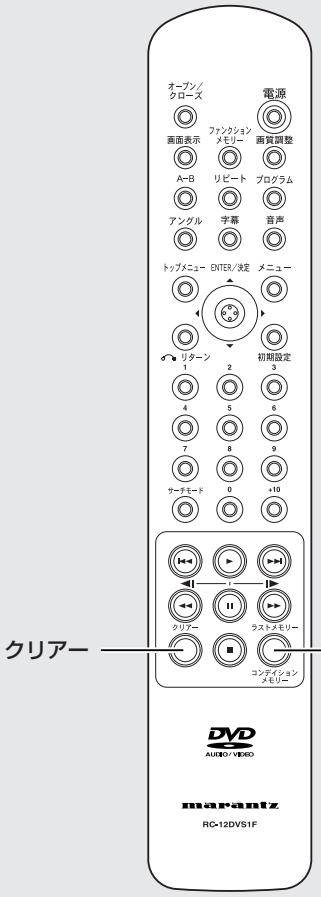
表示窓の「LAST MEMO」インジケーターが消灯します。

お知らせ

- DVD-RWではラストメモリーすることができません。また、DVDビデオにもラストメモリーできないものがあります。
- DVD ビデオでは、記憶された枚数が 5 枚を超えると古い記憶から消去されます。
- ビデオ CD の PBC 再生中は、ラストメモリー再生ができない場所があります。PBC 再生を解除してください(**P.29**)。

よく見るDVDの設定を記憶させる(コンディションメモリー) DVD VIDEO

よく見るDVDビデオの設定内容を最大15枚まで記憶させることができます。電源を切ったり、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。



ディスクが入っている状態でコンディションメモリーボタンを1秒以上押す

画面に**「コンディションメモリー」**と表示されます。記憶できる設定は以下の6つです。

- 音声言語(**P.30**)
- 字幕言語(**P.30**)
- マルチアングル(**P.45**)
- 画質調整(**P.63**)
- 画面表示(**P.66**)
- 視聴制限(**P.71**)

記憶してあるディスクを入れると画面に**「コンディションメモリー」**と表示され、自動的に記憶された設定になります。表示窓には**「CONDITION」**インジケーターが点灯します。

■ コンディションメモリーを消去するには

① **コンディションメモリーボタンを1秒以上押す。**
画面に**「コンディションメモリー」**と表示されます。

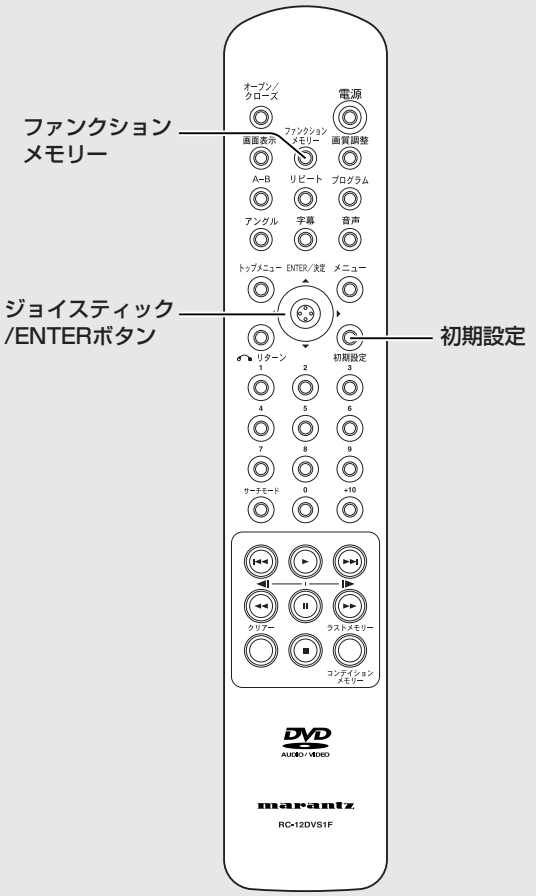
② **画面に「コンディションメモリー」と表示されている間にクリアーボタンを押す。**
表示窓の**「CONDITION」**インジケーターが消灯します。

お知らせ

- DVD-RWではコンディションメモリーすることができません。また、DVDビデオにもコンディションメモリーできないものがあります。
- 一度記憶された設定は、何度再生しても保持されます。
- 記憶された枚数が15枚を超えると古い記憶から消去されます。
- ディスクによってはコンディションメモリーで記憶された設定が自動的に切り換わるものがあります。

よく変更する初期設定の項目を記憶する（ファンクションメモリー）

初期設定の項目をすぐに呼び出すのに便利です。5項目まで記憶させることができます。



記憶のしかた

1 初期設定ボタンを押す

2 記憶したい項目を選ぶ

3 ファンクションメモリーボタンを押す

記憶されると、項目の左側に「FM」が表示されます。

4 手順2～3を繰り返す

5 初期設定ボタンを押す

呼び出しかた

1 初期設定画面が出ていない状態でファンクションメモリーボタンを押す

項目のリストを表示します。

2 項目を選び、ENTERボタンを押す

初期設定画面が表示されます。この画面で設定や変更ができます。

3 初期設定ボタンを押す

■ 記憶した内容を消すには

1 初期設定ボタンを押します。

2 消したい項目を選びます。

3 ファンクションメモリーボタンを押します。

項目の左側の「FM」表示が消えます。

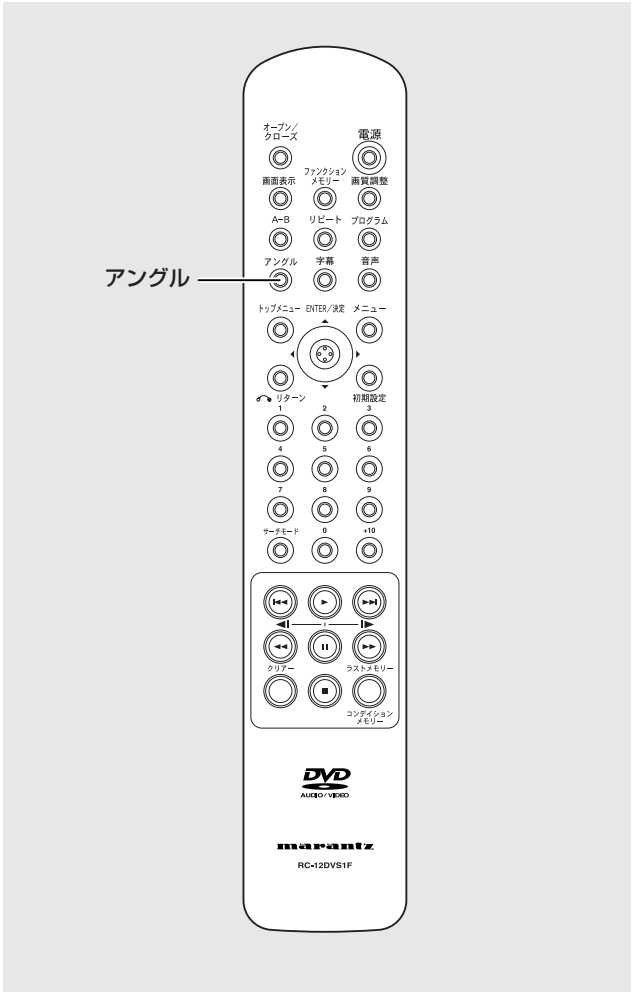
4 初期設定ボタンを押します。

お知らせ

- 5 項目を超えて記憶させようすると、画面にメッセージまたは が表示されます。その場合は、記憶した内容を消してから記憶してください。
- ディスク再生中に設定できない項目(灰色表示の項目)を記憶することはできません。このとき画面にメッセージまたは が表示されます。詳しくは、**P.85**の「*初期設定画面の項目別さくいん*」をご覧ください。

映像のアングルを切り換える(マルチアングル) DVD

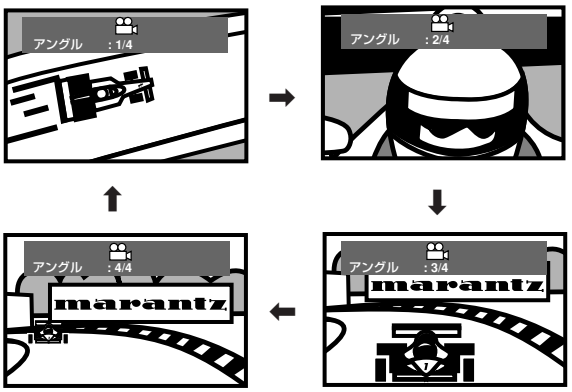
複数の方向(アングル)から映した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDビデオのジャケットには🎥マークが付いています。



1 再生中、🎥マークが表示されたら、アングルボタンを押す

2 さらにアングルボタンを押して、お好みのアングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

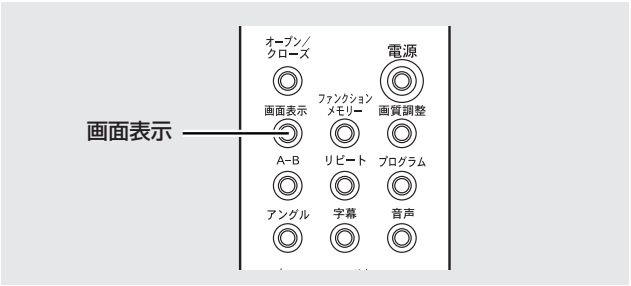


お知らせ

- ディスクによっては🎥マークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
- 複数のアングルが収録されている場所にくると、🎥マークが画面に表示されます。
- 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。
- 一部のDVDビデオでは、ディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。
- 🎥マークを表示させたくないときは、初期設定画面の[**アングルインジケーター**]を[**オフ**]にします(**P.66**)。

ディスクの情報を見る DVD VIDEO SACD CD VIDEO CD DVD AUDIO DVD-RW MP3

DVD/DVD-RWのタイトル/チャプター情報、スーパーオーディオCD/CD/ビデオCDのトラック情報、またはMP3のフォルダー/トラック情報を見ることができます。停止中にはトータル情報が表示され、再生中にはより細かなディスク情報が見られます。表示される情報の内容はディスクの種類(DVD、DVD-RW、スーパーオーディオCD、CD、 ビデオCD、およびMP3)によって異なります。



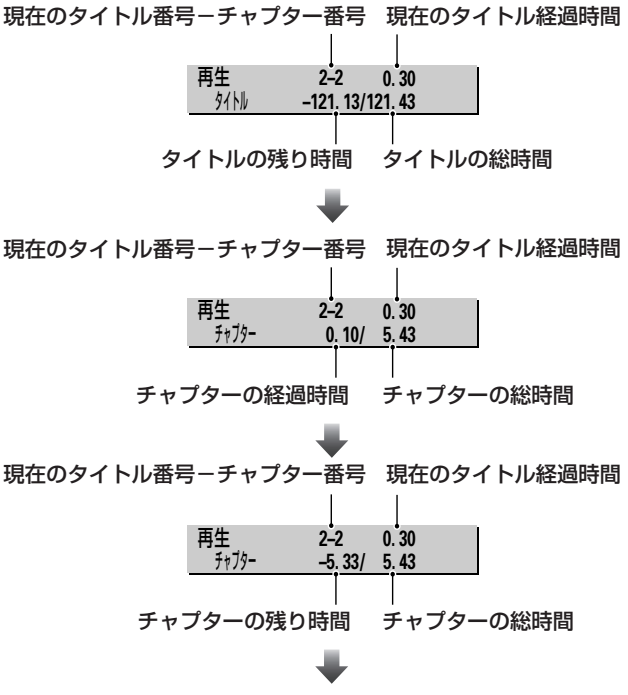
再生中にディスクの情報を見る

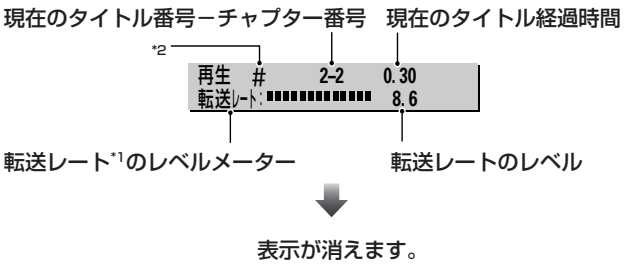
再生中に画面表示ボタンを繰り返し押す

押すたびに以下のようなディスク情報が画面上部に表示されます。**画面表示ボタン**を押し続けている間、ディスクの残り時間を表示します。

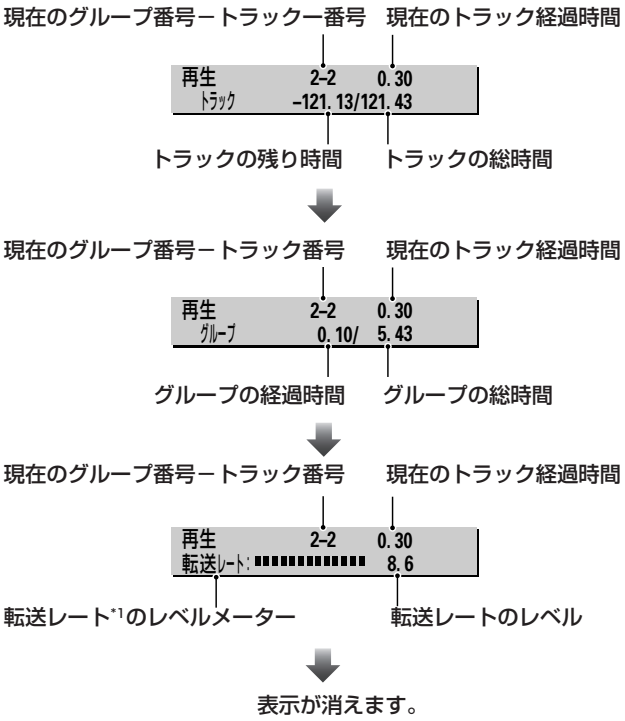
■ DVD VIDEOの情報を見る

タイトルによってはチャプターや時間が表示されないものがあります。





■ DVD AUDIOの情報を見る

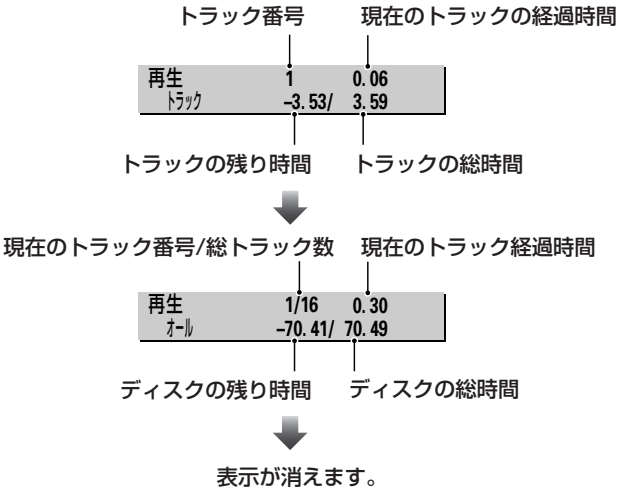


*1 転送レートとは、DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

*2 24コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されているときに表示されます。

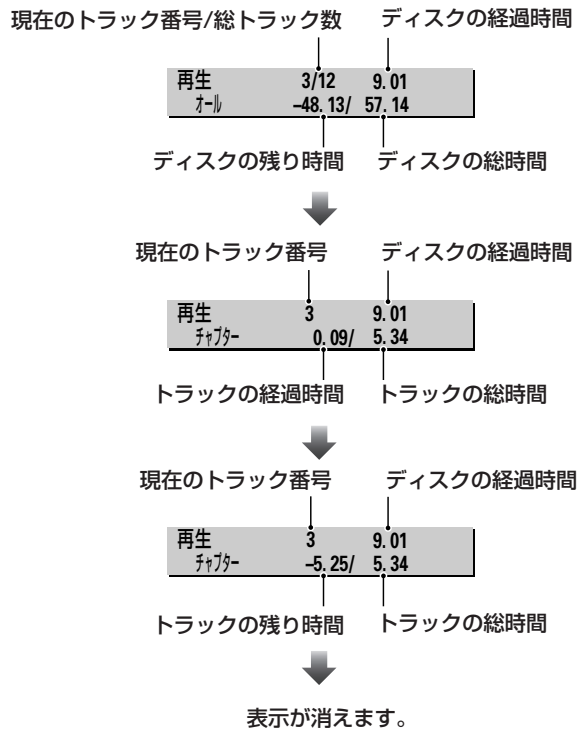
■ SACD CD の情報を見る

ファイナライズしていないCD-Rを再生中は、表示されないディスク情報があります。



■ VIDEO CD の情報を見る

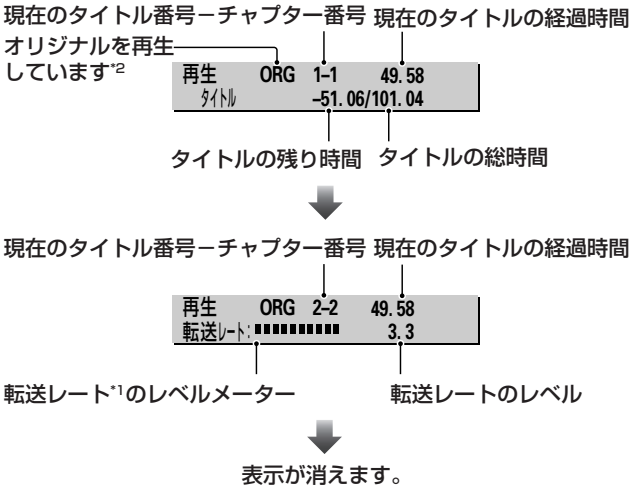
ビデオCDのPBC再生中は、表示されないディスク情報があります。



■ DVD-RW の情報を見る

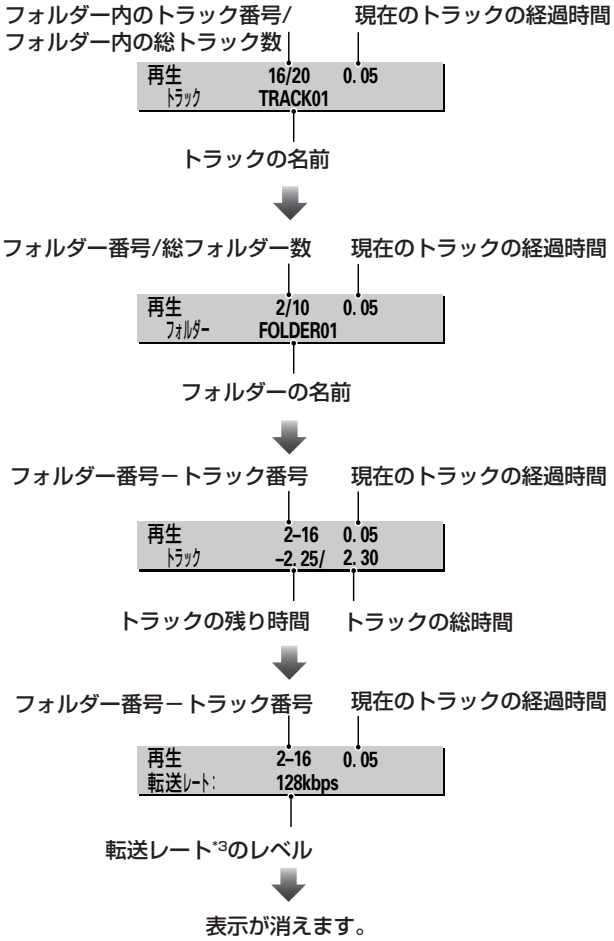
*1 **P.46**をご覧ください。

*2 「PL」と表示されたときは、プレイリストを再生していることを表わしています(**P.29**)。



■ MP3 の情報を見る

*3 転送レートとは、MP3情報量を示す値です。



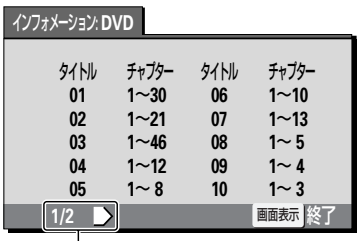
停止中にディスクの情報を見る

停止中に画面表示ボタンを押す

- ディスク情報の画面が表示されます。
- ディスクの情報が2ページ以上あるときは、**ジョイスティック**を右(▶)に操作すると次の画面が表示されます。

■ DVD VIDEOの情報を見る

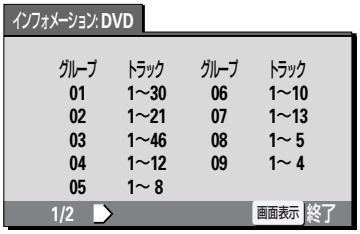
タイトル番号、およびそれぞれのタイトル内のチャプター数が表示されます。



情報が2ページあり、現在の画面がその1ページ目であることを表します。

■ DVD AUDIOの情報を見る

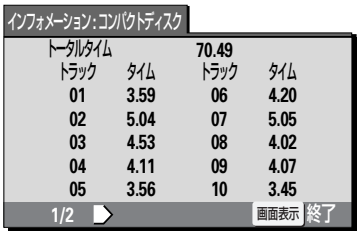
グループ番号、およびそれぞれのグループ内のトラック数が表示されます。



ボーナスグループは、キーナンバーを入力する前は灰色で表示されます。入力方法については**P.74**をご覧ください

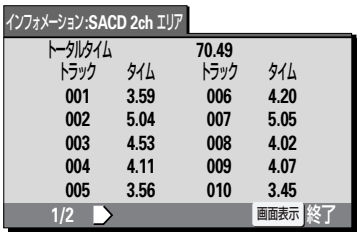
■ CD VIDEO CDの情報を見る

トラック番号、およびそれぞれのトラックの総時間が表示されます。



■ SACDの情報を見る

トラック番号、およびそれぞれのトラックの総時間が表示されます。



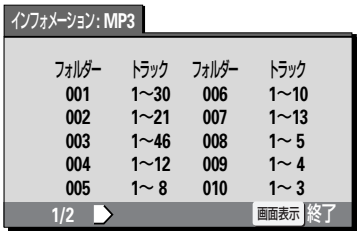
■ DVD-RWの情報を見る

ディスクの名前、オリジナル、およびプレイリストのタイトル数が表示されます。ディスクの名前が半角英数字、または半角カタカナ以外でつけられているときは文字が「・」で表示されます。

DVD-RWに名前を付けていると表示されます。

■ MP3の情報を見る

フォルダー番号、およびそれぞれのフォルダー内のトラック数が表示されます。



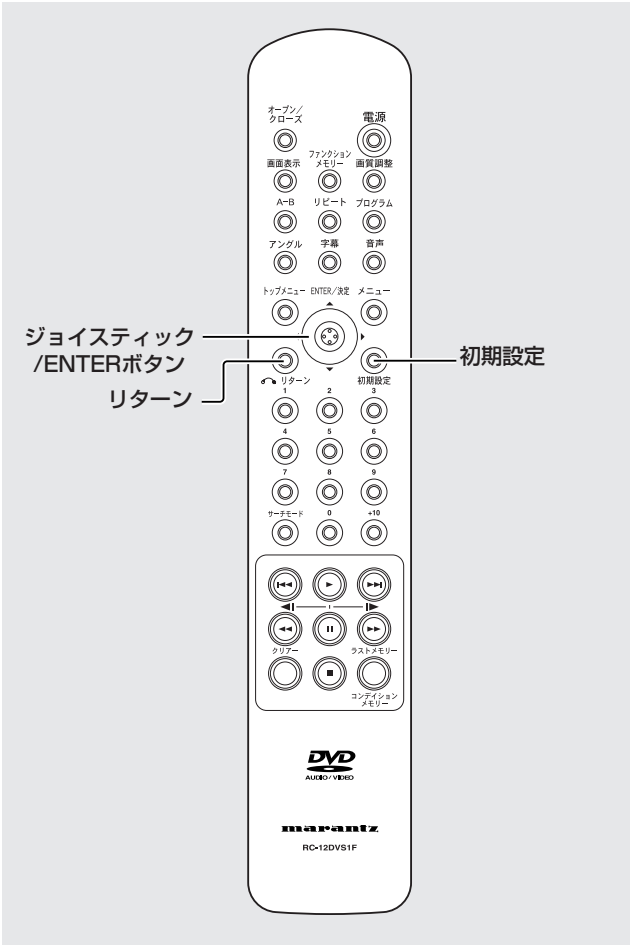
■ ディスク情報を消すには

画面表示ボタンをもう一度押します。ディスク情報の画面が消えます。

いろいろな設定

初期設定画面の操作のしかた

セットアップナビゲーター (**P.23**)よりも多くの設定をすることができます。工場出荷時の設定を変更したいとき、またはお好みの設定にしたいときに行います。ここでは初期設定画面の基本的な操作方法や使用するボタンの位置について説明します。セットアップナビゲーターを使った設定を行っていないときはセットアップナビゲーターの画面が表示されます。セットアップナビゲーターの画面が表示されたときは**P.23~26**をご覧ください。

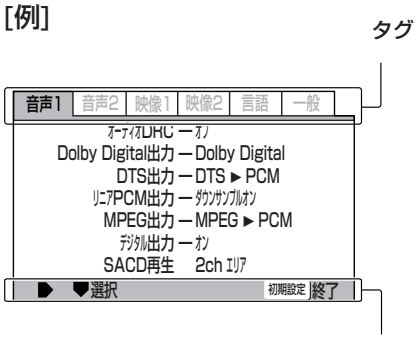


電源が入っていることを確認してください(P.27)。

1 初期設定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

[例]



2 ジョイスティックを左右(◀/▶)に操作してタグ([音声1]、[音声2]、[映像1]、[映像2]、[言語]、[一般])を選ぶ

3 ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して設定したい項目を選ぶ

4 ジョイスティックを右(▶)に操作して選択肢の欄にカーソルを移動させる

5 ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して設定したい選択肢にカーソルを合わせる

6 ENTERボタンを押す

他の項目の設定を変更するときは、手順**2~7**を繰り返します。

7 初期設定ボタンを押す

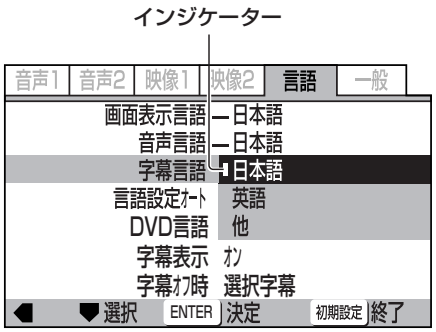
初期設定画面が消えます。

お知らせ

- 初期設定を操作すると、リジューム機能(**P.31**)が解除される場合があります。
- 初期設定を終了してから再び初期設定画面を表示させると、前回設定していた初期設定画面を表示します。

■ ディスクの種類によって変更することができる / できない設定

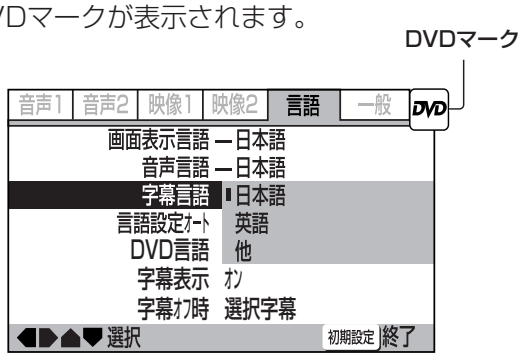
ディスクの種類(DVD/ビデオCD/CD/MP3)によって、変更できる設定が異なります。本機では選択項目の左にあるインジケーターの色で確認することができます。以下の表をご覧ください。変更した設定はすぐに有効になります。



インジケーターの色	ディスクの種類
青色	DVD のみ
橙色	スーパーオーディオ CD/ CD/DVD オーディオ
黄色	DVD/ ビデオ CD
緑色	ディスクの種類にかかわらず設定することができます。

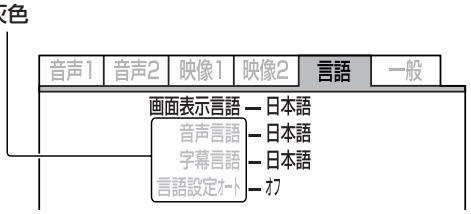
■ DVD にのみ設定できる項目

DVD以外のディスク(スーパーオーディオCD/CD/ビデオCD/MP3)が入っているとき、DVDにのみ設定できる項目を選ぶと、画面の右上に青いDVDマークが表示されます。



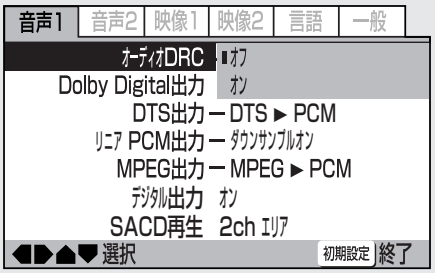
■ 再生中に変更できない項目

再生中に設定を変更できない項目は、灰色で表示されます。



ドルビーデジタル音声を調節する

音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調節します。オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、テレビの会話などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。



オフ：
オーディオ DRC を解除します。高音質のスピーカーで臨場感が得られます(**出荷時の設定**)。

オン：
爆発音などの大音量を抑え、台詞などが聞きやすくなります。

お知らせ

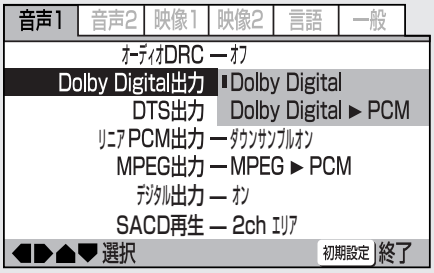
- オーディオ DRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。
- ディスクによっては効果の少ないものがあります。
- オーディオ DRC はデジタル出力(光、同軸)端子から出力される音声にも効果があります。ただし、**[Dollby Digital出力]**を**[DolbyDigital▶PCM]**に設定して(**P.51**)、さらに**[デジタル出力]**を**[オン]**に設定してください。
- オーディオ DRC の効果は、お使いのスピーカーまたはAVアンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定をお選びください。

デジタル出力の設定をする

本機に接続したアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。お手持ちのアンプの取扱説明書もあわせてお読みください。**初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください。**

ドルビーデジタル出力

接続したアンプがドルビーデジタルに対応していない場合は、設定を**[Dolby Digital►PCM]**にします。

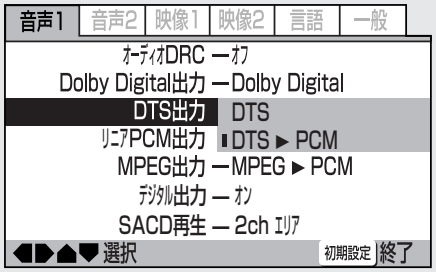


Dolby Digital：
ドルビーデジタル対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます(**出荷時の設定**)。

Dolby Digital ► PCM：
Dolby Digital 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選びます。

DTS出力

接続したアンプがDTS対応のときは、設定を**[DTS]**にします。



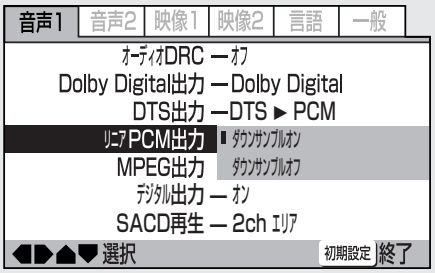
DTS：
DTS 対応アンプ、またはデコーダーと接続したときに選びます。

DTS ► PCM：
DTS 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。DTS に対応していないアンプと接続したときに選択します(**出荷時の設定**)。

ご注意
DTS に対応していないアンプに接続しているとき[DTS出力]の設定で[DTS]を選択するとノイズが発生することがあります。

リニアPCM出力

接続したアンプが96kHz対応のときは、設定を**[ダウンサンプルオフ]**にします。



ダウンサンプルオン：
各系統の音声周波数を 48kHz/44.1kHz にダウンサンプルして出力します。96kHz に対応していないアンプなどと接続したときに選びます(**出荷時の設定**)。

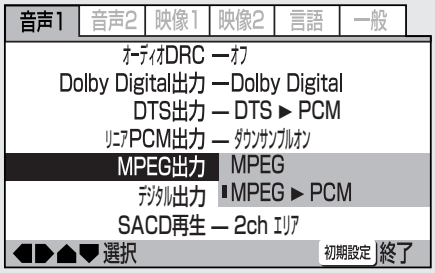
ダウンサンプルオフ：
96kHz 対応アンプまたは DAC と接続したときに選びます。

お知らせ

- **[ダウンサンプルオフ]**に設定していても、ディスクによっては、48kHz/44.1kHz に強制的に変換されたり、デジタル出力されないことがあります。
- DVDオーディオの192/176.4kHzサンプリング音声のとき、**[ダウンサンプルオフ]**に設定していてもデジタル出力は強制的に96/88.2kHzにダウンサンプルされます。

MPEG出力

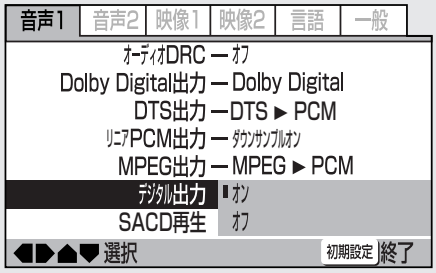
接続したアンプがＭＰＥＧ対応のときは、設定を[MPEG]にします。



MPEG：
MPEG 対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。
MPEG ► PCM：
MPEG 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。MPEG に対応していないアンプと接続したときに選びます(**出荷時の設定**)。

デジタル出力をオン/オフする エキスパート

デジタル音声出力端子から音声信号を出力しないように設定することができます。



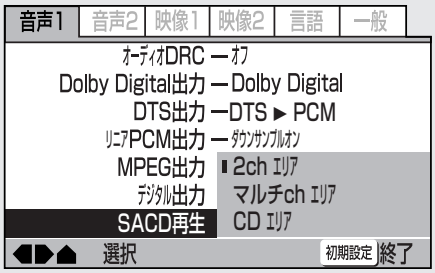
オン：
後面のデジタル出力端子から音声を出力します(**出荷時の設定**)。
オフ：
後面のデジタル出力端子から音声が出力されません。

お知らせ
スーパーオーディオCDではデジタル音声を出力することができません。

スーパーオーディオCDの再生層を切り換える エキスパート

SACD

スーパーオーディオＣＤは、２チャンネルとマルチチャンネルのエリアが別々になっています。
ハイブリッドスーパーオーディオCDはスーパーオーディオCD層とCD層の2層構造になっています。ここでは、スーパーオーディオCDの再生するエリアを切り換えます。



2ch エリア：
２チャンネルエリアを再生します(**出荷時の設定**)。
マルチ ch エリア：
マルチチャンネルエリアを再生します。
CD エリア：
CD 層を再生します。

お知らせ
再生するスーパーオーディオ CD に**[SACD 再生]**で選択したエリアがないときは他のエリアを再生します。例えば、**[CDエリア]**を選択しているとき、CD層がないスーパーオーディオ CD を再生したときは２チャンネルエリアを再生します。

[音声2]の設定をする

初期設定画面の操作のしかたについては**P.44**をご覧ください。

サラウンド(立体音場)にする

この機能は、音声出力(2CH)端子に接続しているときのみ働きます。DVDオーディオ音声、DTS音声、リニアPCM96kHz 音声、スーパーオーディオCD、CD、またはMP3を再生しているときは働きません。初期設定画面の操作のしかたについては**P.49**をご覧ください。

オフ：
働きません(**出荷時の設定**)。
TruSurround：
立体音場(サラウンド)になります。

■ TruSurround について

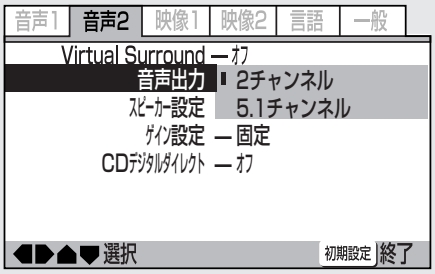
本機はSRS社のTruSurround技術により、サラウンドエンコードされたステレオ音声やマルチチャンネル音声を処理して、2つの前面スピーカーのみで、より臨場感のある立体音場が再現できるバーチャルサラウンド(仮想立体音場)を実現しています。

お知らせ

- DVDのドルビーデジタル、またはビデオCDの2ch音声ディスクで**[TruSurround]**を選択するとデジタル出力端子の音声レベルが小さくなります。また、ドルビーデジタル2ch以外のディスクで**[音声1]**の**[Dolby Digital 出力]**の設定を**[Dolby Digital►PCM]**にしているとき、**[TruSurround]**を選択するとデジタル出力端子から音声が出力されなくなります。
- ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。

音声出力の設定

AVアンプの5.1チャンネルアナログ音声入力端子と接続したときに、設定を**[5.1チャンネル]**にします。



2チャンネル：
音声出力(フロント)端子に接続したとき選択します(**出荷時の設定**)。

5.1 チャンネル：
マルチチャンネル音声出力端子に接続したとき選択します。

お知らせ

- **[2チャンネル]**を選択しているときは、ドルビーデジタル、DTS、またはMPEGのマルチチャンネル音声は、2チャンネル音声にダウンミックスして出力されます。
- DVDオーディオでは、**[5.1チャンネル]**を選択しているとデジタル音声が出力されません。

■ 出力される音声について

音声の種類		出力モード	音声出力(2CH)	音声出力(5.1CH)			デジタル出力(S/PDIF)	
			フロント左/右	センター	サラウンド左/右	サブウーファー	ドルビーデジタル/MPEG▶PCM	ドルビーデジタル/MPEG
DVD	ドルビーデジタル	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス 左/右	ドルビーデジタル
		2CH	2CHダウンミックス 左/右	–	–	–		
	ドルビーデジタルカラオケ	5.1CH	左/右	–	–	–	左/右	ドルビーデジタル
		2CH	左/右	–	–	–		
	リニアPCM(DVDビデオ)	5.1CH	左/右	–	–	–	左/右	
		2CH	左/右	–	–	–		
	リニアPCM(DVDオーディオ)	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス *1 左/右	
		2CH	2CHダウンミックス *1 左/右	–	–	–		
	MPEG	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	左/右	MPEG
		2CH	左/右	–	–	–		
	DTS	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	DTS	
		2CH	2CHダウンミックス 左/右	–	–	–		
スーパーオーディオCD		5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	–	
		2CH	2CHダウンミックス 左/右	–	–	–		
CD		5.1/2CH	左/右	–	–	–	左/右	
ビデオCD		5.1/2CH	左/右	–	–	–	左/右	
DVD-RW		5.1/2CH	左/右 *3	–	–	–	ドルビーデジタル/MPEG/PCM(左/右)	

*1 DVDオーディオではダウンミックスを禁止しているものがあります。その場合は、[2チャンネル]に設定していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。

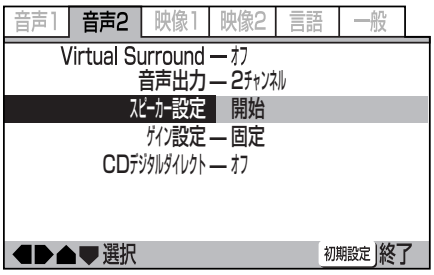
*2 超低域成分

*3 モノラル音声のときもフロント左/右から出力されます。

- 表の　の部分は音声が出力されません。
- ディスクに一部のチャンネルが記録されていない場合は、そのチャンネルから音声は出力されません。

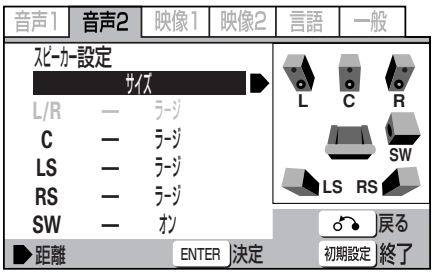
スピーカーの設定をする

音声出力(5.1CH)端子にAVアンプを接続しているときに設定します。また適切なサラウンド効果を得るために、接続しているスピーカーまでの距離を設定します。**デジタル出力端子にAVアンプを接続しているときは、AVアンプ側でスピーカーの設定をしてください。**



1 ジョイスティックを上下左右(▲/▼/◄/►)に操作して[音声2]➡[スピーカー設定]➡[開始]と選び、ENTERボタンを押す

設定画面になります。



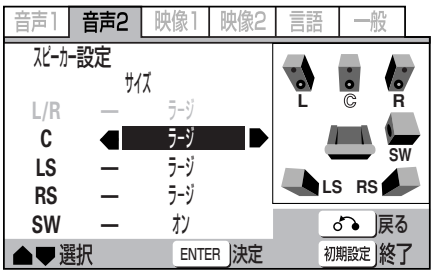
2 ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作してスピーカーの種類を選びカーソルを下へ移動する

フロントスピーカー(L/R)のサイズは**[ラージ]**に固定されます。

C ：センタースピーカー
LS ：左サラウンドスピーカー
RS ：右サラウンドスピーカー
SW ：サブウーファー

3 ジョイスティックを左右(◄/►)に操作してスピーカーのサイズ、または接続しているか、していないかを選ぶ

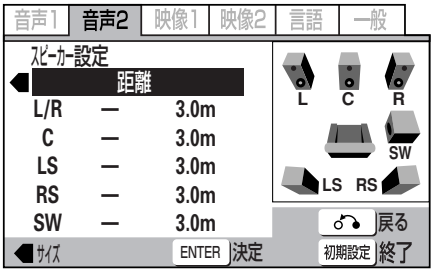
LSとRSは同時に切り換わります。



ラージ ：大きいスピーカーに接続しているときに選択します(目安としてコーンサイズ12cm以上)。(出荷時の設定)
スモール ：小さいスピーカーに接続しているときに選択します(目安としてコーンサイズ12cm未満)。
オフ ：接続していないときに選択します。
オン ：サブウーファー(SW)を接続しているときに選択します。

4 ジョイスティックを上(▲)に操作して[サイズ]の位置にカーソルを戻す

5 ジョイスティックを右(►)に操作して[距離]にする

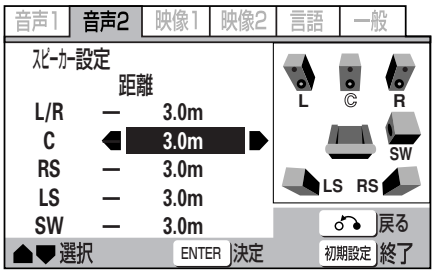


6 ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作してスピーカーの種類を選びカーソルを下へ移動する

7 ジョイスティックを左右(◄/►)に操作してスピーカーの距離を設定する

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を設定します。設定した距離に合わせて、各スピーカーから出力されるディレイタイム(遅延時間)が設定されます。設定できる範囲は以下のとおりです。

[L/R] ：0.3m～9m
[C]、[SW] ：[L/R]の距離から－2m～+2m
[LS]、[RS] ：[L/R]の距離から－6m～+2m



* マルチチャンネル再生では、スピーカーの距離の設定はすべてのスピーカーは同一サイズ、リスニングポジションから等距離にあることが理想です。それが不可能な場合、各スピーカーにディレイタイム(遅延時間)を設定することで、仮想的に理想の視聴空間を実現します。

* スーパーオーディオCDでは距離の設定は無効です。

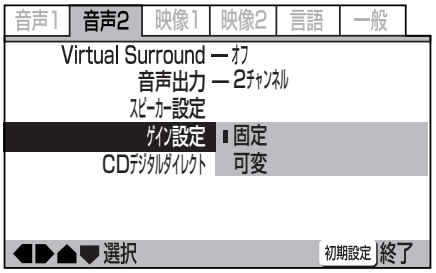
8 ENTERボタンを押して設定を決定する

お知らせ

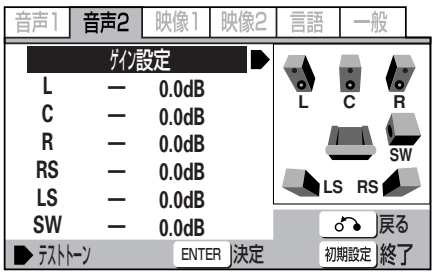
- 設定するスピーカーは、画面上で文字が青く表示されている箇所です。
- **[オン]**に設定すると、画面上でスピーカーの絵が黄色くなります。
- **[SW(サブウーファー)]**を**[オン]**にすると、LFE(超低音の効果音)はサブウーファーから出力します。
- DVDオーディオの場合は、スピーカーの設定に関係なく、常に**[ラージ]**で再生されます。
- DVDオーディオの場合は、**[C(センター)]**、**[LS(左サラウンド)]**、および**[RS(右サラウンド)]**のいずれかを**[オフ]**に設定すると、強制的に2CHにダウンミックスされた音声が出力されます(ただしダウンミックスを禁止しているDVDオーディオを除く)。

スピーカーの出力レベルを調整する(ゲイン設定) エキスパート

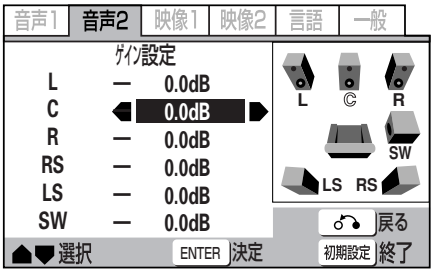
音声出力(5.1CH)端子にAVアンプを接続している場合に設定します。各スピーカーの出力を設定して、それらを確認することができます。出荷時の設定は**[固定]**です。出力レベルを調整するときは**[可変]**を選びます。



■ [可変]を選んだとき



1 ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作してスピーカーの種類を選ぶ



2 ジョイスティックを左右(◄/►)に操作して出力レベルを設定する

－6.0dB～6.0dBまで0.5dB単位で調整します。

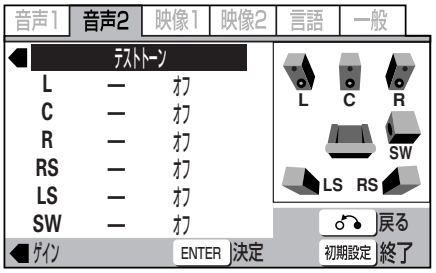
L ：左フロントスピーカー
C ：センタースピーカー
R ：右フロントスピーカー
LS ：左サラウンドスピーカー
RS ：右サラウンドスピーカー
SW ：サブウーファー

3 ジョイスティックを上(▲)に操作して[ゲイン設定]の位置にカーソルを戻す

テストトーンを聞くときは手順4へ、テストトーンを聞かずに設定を終了するときは手順7へ進みます。

4 ジョイスティックを右(►)に操作して[テストトーン]にする

[音声出力]が**[5.1チャンネル]**に設定されていないとテストトーンは出力されません。

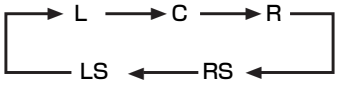


5 ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作してスピーカーの種類を選ぶ

6 ジョイスティックを左右(◄/►)に操作して設定した出力レベルを確認する(テストトーン)

音の出ているスピーカーは文字が黄色で表示されます。

オフ　：テストトーンは出ません。
オン　：テストトーンが出ます。
オート：テストトーンが以下の順で出ます。



■ テストトーンを聞きながら出力レベルを微調整する

1. ジョイスティックを上(▲)に操作して[テストトーン]の位置にカーソルを戻す
2. ジョイスティックを左(◄)に操作して[ゲイン設定]にする
3. ジョイスティックを上下左右(▲/▼/◄/►)に操作してテストトーンが出ているスピーカーを選び出力レベルを調整する

■ テストトーンを止める

[テストトーン]の選択肢から[オフ]を選ぶ

7 ENTERボタンを押して設定を決定する

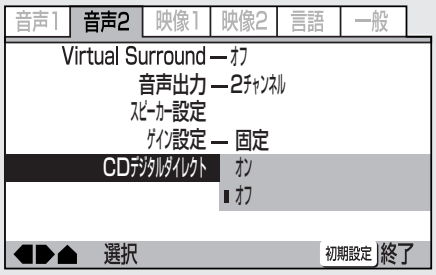
お知らせ

- ゲイン設定は**[音声出力]**を**[5.1チャンネル]**に設定しているときのみ有効です。
- **[可変]**を選んだとき、すべてのスピーカーの出力レベルは一律－6.0dBに設定されます。その数値から、**[C(センター)]**、**[LS(左サラウンド)]**、**[RS(右サラウンド)]**、および**[SW(サブウーファー)]**の各出力レベルを－6.0dB～6.0dBの範囲で調整します。したがって、**[可変]**で設定できる最大出力レベル(6.0dB)とは、[固定]と同じ出力レベルになります。
  そのため、**[可変]**を選んだときはほとんどの場合、[固定]の出力レベルより小さくなります。
- **[音声出力]**の設定(**P.54**)が**[2チャンネル]**のときや、ディスクを再生しているとき、ディスクテーブルが開いているときは、テストトーンは出力されません。
- **[CDデジタルダイレクト]**の設定(**P.58**)を**[オン]**にしてCDを再生しているときは、ゲイン設定は無効になります。

よりよい音質でCDを聞く（CDデジタルダイレクト） エキスパート

CD

CD再生のときこの設定を**[オン]**にすることで、CD再生に不要な回路をバイパスできるため、高音質の再生が楽しめます。



オン：
CD 再生に不要な回路をバイパスします。
オフ：
DTS CD の再生に必要な回路を経由します(**出荷時の設定**)。

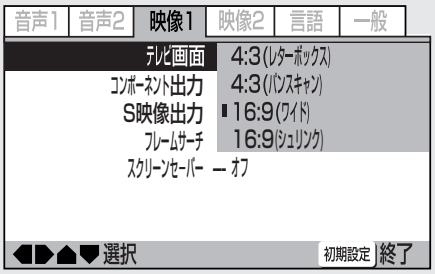
ご注意
DTS CD を再生するとき、この設定を**[オン]**にするとノイズが発生しますので、ご注意ください。

[映像1]の設定をする

初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください。

テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビに接続しているときは[16:9(ワイド)]に設定します。DVDの映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率(一般にアスペクト比と呼ばれています)が横16：縦9で記録されています。従って、DVDを従来サイズのテレビで見ると、映像が横4：縦3となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いのときは、[4:3(レターボックス)]、または[4:3(パンスキャン)]に設定してください。この設定を再生中に変更することはできません。詳しくはP.60-61の表をご覧ください。



4:3(レターボックス)：
従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式(次のページ)で見たいときに選択します。

4:3(パンスキャン)：
従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式(次のページ)で見たいときに選択します。

16:9(ワイド)(出荷時の設定)：
ワイド(16:9)テレビと接続したとき選択します。

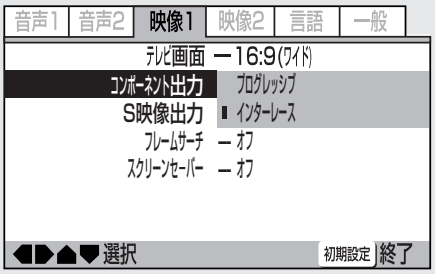
16:9(シュリンク)：
接続しているプログレッシブ対応テレビでアスペクトの切り換えができないとき選択します(4:3の映像が横長(16:9の映像)になってしまっているが、テレビ側で4:3の映像に切り換えることができないとき)。

お知らせ

アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

映像の出力方式を切り換える

コンポーネント接続したテレビがNTSCプログレッシブ入力対応のとき、インターレーススキャンとプログレッシブスキャンのどちらの方式で出力するかを切り換えます。



プログレッシブ：
きめ細かな映像が得られる高画質モードで、NTSCプログレッシブ入力対応のテレビまたはプロジェクターのときに設定します。

インターレース：
プログレッシブ入力対応でないテレビまたはプロジェクターのときに設定します(**出荷時の設定**)。

お知らせ

- プログレッシブ入力対応でないテレビと接続しているときは、[プログレッシブ]を選択しないでください。映像が出力されません。選択してしまったときは映像出力、またはS1/S2映像出力端子に一度、映像ケーブルを接続してください。
- PAL方式で記録されているDVDディスクをプログレッシブ方式で見るときは、本体のPAL PROGRESSIVEボタンを押してください。このとき、PALプログレッシブ対応のテレビ、プロジェクターをご使用ください。なお、DVIの出力は停止します。
- PAL PROGRESSIVEボタンを押して[プログレッシブ]と[インターレース]を切り換えるときに、映像が乱れることがあります。

■ **本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について**

現在一部のプログレッシブ対応テレビ、プロジェクターは当プレーヤーと完全な互換が取れていない為、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は当プレーヤーの出力をインターレースに切り換えてください。

■ 映像の見えかた

［従来サイズのテレビのとき］

DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
 16:9のディスク	4:3(レターボックス)	 ○ **上下に帯がつきますが正しく見えます**
	4:3(パンスキャン)	 ○ 画面の左右が切れますが正しく見えます
	16:9(ワイド)	 × **縦長に見えます** このように見える場合は、本機の設定を**[4:3(レターボックス)]**、または**[4:3(パンスキャン)]**に切り換えてください。
 4:3のディスク	4:3(レターボックス) 4:3(パンスキャン) 16:9(ワイド) いずれの設定でも	 ○ **正しく見えます**

［ワイドテレビのとき］

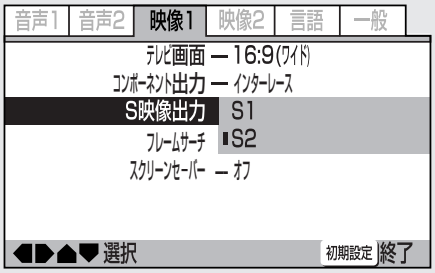
DVDに記録されている映像	本機の設定	テレビの設定	映像の見えかた
 16:9のディスク	16:9(ワイド)	ノーマル	✕ **縦長に見えます**
		フル	○ **正しく見えます** ディスクによっては上下に帯がつくことがあります。
 4:3のディスク	16:9(ワイド)	ノーマル	○ **左右に帯がつきますが正しく見えます**
		フル	✕ **横長に見えます** このように見える場合は、テレビ側の設定をノーマルに切り換えてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

NTSCプログレッシブ対応テレビ側でアスペクトの切り換えができないとき、16:9(シュリンク)を選択します。

 4:3のディスク	16:9シュリンク(プログレッシブ出力のみに有効)	フル	○ **左右に帯がつきますが正しく見えます**

S映像出力を切り換える エキスパート

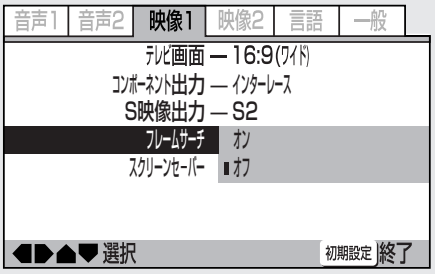
S映像出力端子から出力される映像信号を切り換えることができます。本機とテレビをS映像端子でつないでいるとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは**[S1]**を選択してください。



S2：
S2 映像信号が出力されます(**出荷時の設定**)。
S1：
S1 映像信号が出力されます。

フレームサーチのオン/オフを切り換える エキスパート

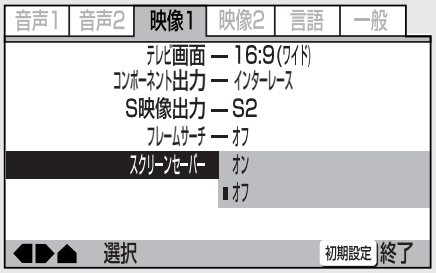
フレームサーチをするときに**[オン]**に切り換えます(**P.33**)。



オン：
フレームサーチをします。テレビの画面にフレーム番号が表示されます(**P.33**)。本体表示窓にフレーム番号は表示されません。
オフ：
フレームサーチをしません(**出荷時の設定**)。

スクリーンセーバーを設定する エキスパート

スクリーンセーバーは、一時停止中など同じ画像が長時間表示されるときの画像の焼き付き(残像現象)を防ぐための機能です。約5分同じ画像が表示されるとスクリーンセーバー機能が働きます。



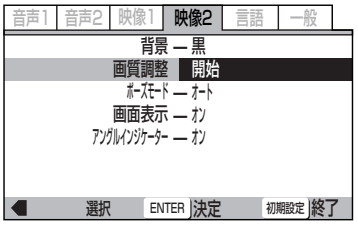
オン：
スクリーンセーバー機能が働きます。
オフ：
スクリーンセーバー機能が働きません(**出荷時の設定**)。

画質を調整する DVD VIDEO CD DVD-RW

テレビやプラズマディスプレイなど、お使いのモニターの種類に合わせた画質を選ぶことができます。また画質の設定項目をそれぞれお好みに調整して、さらにその設定を記憶しておくこともできます。再生中にテレビの画面を見ながら画質を調整することができます。**初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください。**

あらかじめ設定されている画質を選ぶ

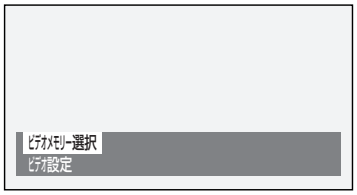
1 ジョイスティックを上下左右(▲/▼/◄/►)に操作して[映像2]➡[画質調整]➡[開始]と選ぶ



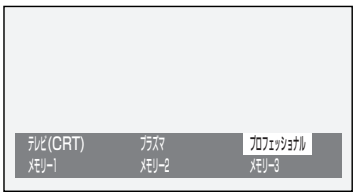
リモコンの**画質調整ボタン**を押して、画質調整画面を表示することもできます。

2 ENTERボタンを押す

画質調整画面が表示されます。



3 [ビデオメモリー選択]を選び、ENTERボタンを押す



4 ジョイスティックを上下左右(▲/▼/◄/►)に操作して好みの画質を選ぶ

- **テレビ(CRT)：**
  テレビ(CRT)モニターに適した画質です。
- **プラズマ：**
  プラズマディスプレイに適した画質です。
- **プロフェッショナル：**
  プロ用モニターに適した設定で、本機による映像信号調整処理を抑えた画質です
- **メモリー1/メモリー2/メモリー3：**
  好みで調整した画質設定を記憶させることができます。次のページの『***好みの画質に調整する***』をご覧ください。

5 ENTERボタンを押す

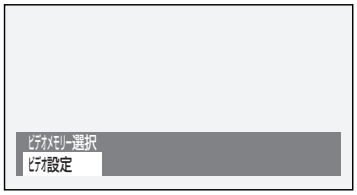
画質調整画面が消えます。自動的に画質調整画面が消えたときは設定した内容が無効になります。

好みの画質に調整する

1 ジョイスティックを上下左右(▲/▼/◄/►)に操作して[映像2]➡[画質調整]➡[開始]と選びENTERボタンを押す

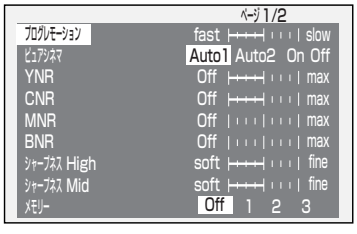
- 画質調整画面が表示されます。
- リモコンの**画質調整ボタン**を押して、画質調整画面を表示することもできます。

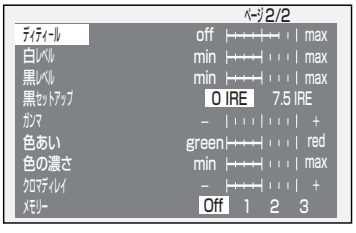
2 ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して[ビデオ設定]を選び、ENTERボタンを押す



3 ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して調整する項目を選ぶ

画面表示ボタンを押すと、調整項目の一覧を画面に表示します。もう一度押すと上の画面に戻ります。





■ 設定項目一覧

プログレモーション：
プログレッシブスキャン映像に効果を与える設定で、動画向き、静止画向きの映像に調整します。プログレッシブが出力されているときのみ調整することができます。

ピュアシネマ：
プログレッシブスキャン回路とDNRの動作をフィルム素材のDVDの再生に最適な設定にします。通常は[Auto1]に設定しますが、映像が不自然なときは[Auto2]、[On]、または[Off]にします(次のページの「***ピュアシネマモードについて***」をご覧ください)。

YNR：
輝度(Y)信号のノイズを軽減します。

CNR：
色(C)信号のノイズを軽減します。

MNR：
映像のモスキートノイズ(MPEG圧縮時に映像の輪郭部分に発生するノイズ)を軽減します。

BNR：
映像のブロックノイズを軽減します。

シャープネス High：
高域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

シャープネスMid：
中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

ディテール：
画像の輪郭を強調します。

白レベル：
白色のレベルを調整します。

黒レベル：
黒色のレベルを調整します。

黒セットアップ：
黒色の浮きを補正し、立体感のある引き締まった映像を再現します。

ガンマ：
画像の暗い部分の見えかたを強調します。

色あい：
緑色と赤色のバランスを調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

クロマディレイ：
映像の輝度(Y)信号と色(C)信号のずれを調整します。

4 ジョイスティックを左右(◄/►)に操作して各項目のレベルを調整する

5 手順3~4を繰り返してすべての項目を調整する

設定した内容を記憶させたいときは**ジョイスティック**を上下(▲/▼)に操作して**[メモリー]**を選び、**ジョイスティック**を左右(◄/►)に操作して**[1]**、**[2]**、**[3]**のいずれかを選んで記憶させてください。すでに画質設定が記憶されているときは新しい設定内容が上書きされます。

6 ENTERボタンを押す

画質調整画面が消えます。なお、**ENTERボタン**を押さないと、調整した内容を**[メモリー]**に記憶することができません。

お知らせ

- ディスクやテレビ(モニター)によっては効果がはっきりしないことがあります。
- **[テレビ画面]**の設定を**[レターボックス(4:3)]**または**[パンスキャン(4:3)]**にしてDVDを再生しているときに調整項目一覧を表示させると、画面が**[ワイド(16:9)]**に切り換わることがあります。これは故障ではありません。画面を閉じると元の設定に戻ります。
- DVI出力とPALプログレッシブ出力に対しては、この画質調整機能は働きません。

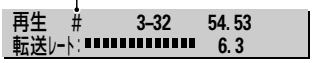
■ ピュアシネマモードについて

DVDの映像信号には次の2種類があります。

- 「ビデオ素材」といわれる映像情報を毎秒30コマで記録した信号
- 「フィルム素材」といわれる映像情報を毎秒24コマで記録した信号

フィルム素材である映画フィルムは毎秒24コマ(24Hz)で記録されており、この「ピュアシネマ」モードは、そのような毎秒24コマで記録された映像情報を毎秒60コマのプログレッシブ画面に変換する際に、ディスクに記録された処理情報をもとにオリジナルの映画フィルムに忠実な走査線の構成をします。それにより原画に近い鮮明な映像を楽しむことができます。
この設定は通常、**[Auto1]**でお楽しみください。ディスクによっては輪郭がギザギザになったり、ブレて見えたりすることがあります。そのような場合は設定を**[Auto2]**、**[Off]**、または**[On]**に変更してご覧ください。
フィルム素材の(毎秒24コマで記録された)DVDが再生されているときは、それをディスクの情報画面で確認することができます。

24コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されている場合に、「#」が表示されます。



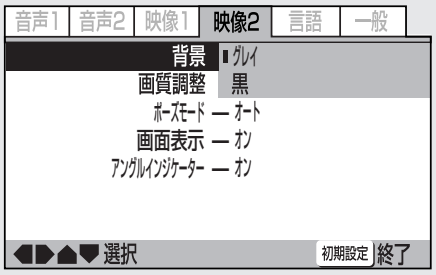
ディスクの情報画面を表示するには、画面表示ボタンを押します。繰り返し押すと上記の画面(転送レート表示画面)になります(詳しくは**P.46**をご覧ください)。

[映像2]の設定をする

初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください。

背景を選ぶ

ディスクが停止しているときの画面の背景を選びます。

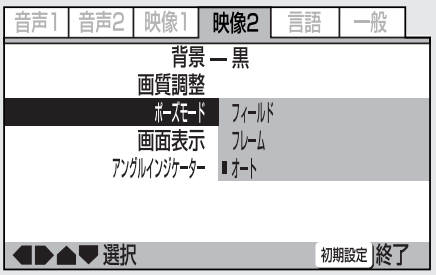


グレイ：
グレイ色の背景色を表示します(**出荷時の設定**)。
黒：
黒色の背景色を表示します。

お知らせ
上記メニュー画面は改良の為、予告なく変更することがあります。

静止画像を切り換える エキスパート

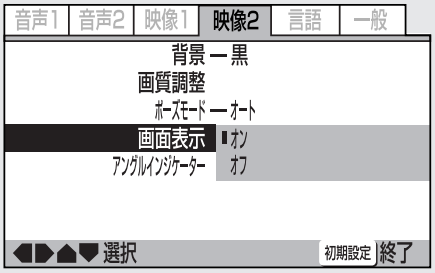
DVDを一時停止したときの画像のブレをなくし、画像を鮮明に見ることができます。ディスクによっては**[フィールド]**を選択しても画質が鮮明にならないことがあります。



フィールド：
静止画状態のとき、画像のブレをなくします。
フレーム：
通常モードです。
オート：
フィールドとフレームを自動的に切り換えます(**出荷時の設定**)。

画面表示をオン/オフする エキスパート

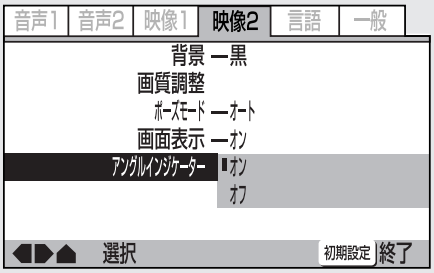
本機が表示する初期設定画面などを表示するか、しないかを設定します。



オン：
画面表示をします(**出荷時の設定**)。
オフ：
画面表示をしません。

アングルマークを表示する エキスパート

再生中に画面に表示されるマークを表示させたくないとき設定を変更します。



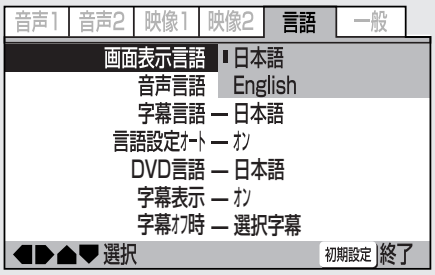
オン：
画面にマークを表示します(**出荷時の設定**)。
オフ：
画面にマークを表示しません。

[言語]の設定をする

DVDの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、ユーザーが目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の**[言語]**にあるさまざまな言語と字幕に関する設定を行います。**初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください。**

画面表示言語を設定する

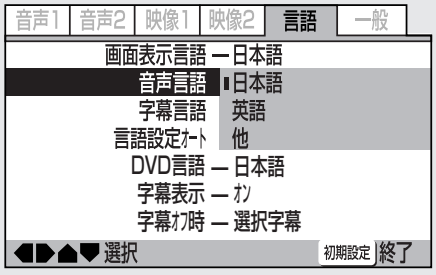
初期設定画面などに表示する言語を切り換えます。



日本語：
画面表示の言語が日本語になります(**出荷時の設定**)。
English：
画面表示の言語が英語になります。

音声言語を設定する

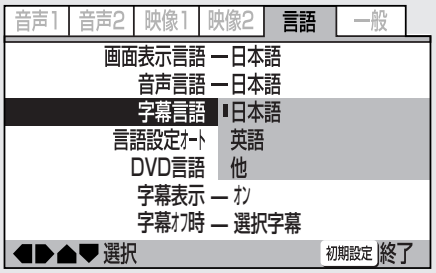
音声言語を選びます。この設定を再生中に変更することはできません。



日本語：
音声言語が日本語になります(**出荷時の設定**)。
英語：
音声言語が英語になります。
他：
136 言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは次のページの『***字幕言語 / 音声言語 /DVD 言語の設定で [他]を選んだとき***』をご覧ください。

字幕言語を設定する

表示する字幕言語を選びます。この設定を再生中に変更することはできません。



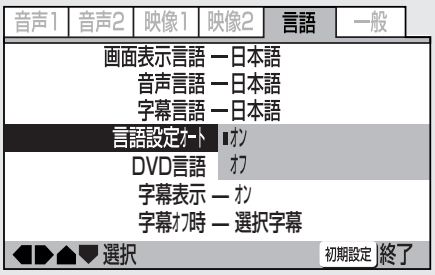
日本語：
日本語の字幕を表示します(**出荷時の設定**)。
英語：
英語の字幕を表示します。
他：
136 言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは次のページの『***字幕言語 / 音声言語 /DVD 言語の設定で [他]を選んだとき***』をご覧ください。

お知らせ

- 音声、または字幕言語の設定で選択した言語がディスクに記録されていないときはディスクのオリジナルの言語が選択されます。
- ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語や字幕の言語になることがあります。
- ディスクによっては、音声の言語や字幕の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから選択してください。

音声と字幕を自動的に設定する

音声と字幕を自動設定にするか、または初期設定で設定した音声/字幕にするかを選びます。この設定を再生中に変更することはできません。



オン：
[音声言語]と**[字幕言語]**が同じとき、および字幕表示がオンのとき有効となります**(出荷時の設定)**。一般の洋画DVDでは音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画DVDでは音声は日本語、字幕はオフになります。ただし、ディスクによってはこのように動作しないものもあります。

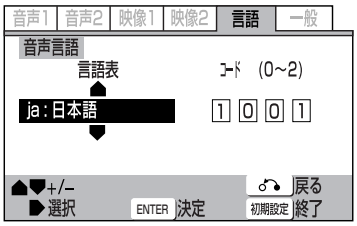
オフ：
再生中の音声のオート設定が解除され、**[音声言語]**と**[字幕言語]**で設定している音声と字幕になります。

■ 字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で［他］を選んだとき

P.69の言語コード表を見ながら操作します。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1 ［他］を選び、ENTERボタンを押す

言語選択画面が表示されます。
[例] 音声言語の場合



2 [言語表]、または[コード]を選ぶ

- 言語によっては言語コードしか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(**P.69**)をご覧ください。
- コードの( )の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

■ [コード]で言語を選ぶとき

以下のいずれかの操作をします。
[例] フランス語を選ぶ場合

- **数字ボタンの0、6、1、8を押す。**
- **1ケタごとにジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して数字を選択する(ジョイスティックを左右(◄/►)に操作してケタを移動します。)**

■ [言語表]で言語を選ぶとき

[例] フランス語を選ぶ場合
ジョイスティックを上(▲)に2回操作します。

3 ENTERボタンを押す

■言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Chinese (zh)	2608
Dutch (nl)	1412
Portuguese (pt)	1620
Swedish (sv)	1922
Russian (ru)	1821
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714

言語名（言語コード）	入力コード
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Quechua (qu)	1721

言語名（言語コード）	入力コード
Rhaeto-Romance (rm)	1813
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

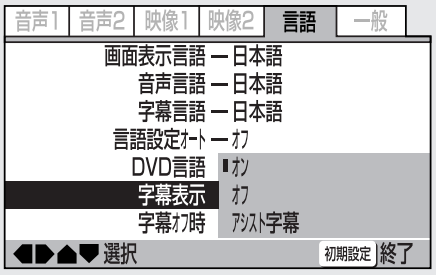
DVDのメニュー言語を設定する エキスパート

DVDの中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。この設定を再生中に設定することはできません。

字幕言語に連動：
[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます**(出荷時の設定)**。
日本語：
日本語でメニュー画面が表示されます。
英語：
英語でメニュー画面が表示されます。
他：
136 言語の中から任意の言語を選びます。詳しくはP.68の『***字幕言語 / 音声言語 /DVD 言語の設定で[他]を選んだとき***』をご覧ください。

字幕表示をオン/オフする エキスパート

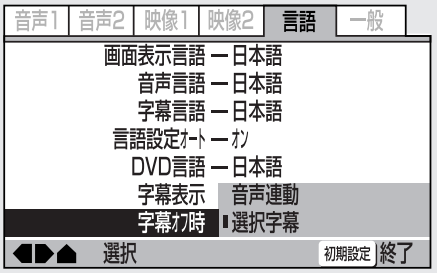
字幕を表示する、字幕を表示しない、またはアシスト字幕を表示するのいずれかを選びます。この設定を再生中に変更することはできません。



オン：
字幕を表示します**(出荷時の設定)**。
オフ：
字幕を表示しません。ただし、DVD の中には強制的に字幕を表示するものがあります(右の段落)。
アシスト字幕：
[アシスト字幕]は例えば、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。この項目を選ぶと、アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕はディスクに収録されている場合のみ表示します。

強制的に表示される字幕の言語を設定する エキスパート

DVDの中には、**[字幕表示]**を**[オフ]**にしても、強制的に字幕が表示されるものがあります。そのときの字幕の言語を選びます。この設定を再生中に変更することはできません。



音声連動：
再生されている音声の言語で字幕を表示します。
選択字幕：
初期設定画面の**[字幕言語]**で選択されている言語で字幕を表示します**(出荷時の設定)**。

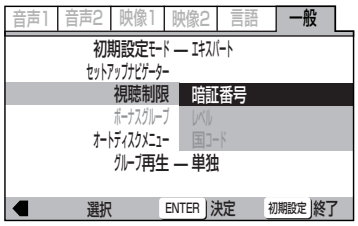
視聴制限をする(パレンタルロック) DVD VIDEO

暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります(ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7、レベル8のディスクを再生するためにはあらかじめ登録した暗証番号の入力が必要です。**初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください。**

暗証番号を登録する

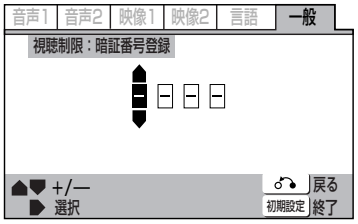
1 ジョイスティックを上下左右(▲/▼/◄/►)に操作して[一般]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選ぶ

最初に暗証番号を登録します。暗証番号を登録していないと**[レベル]**、および**[国コード]**を選択することはできません。



2 ENTERボタンを押す

[暗証番号登録]の画面が表示されます。



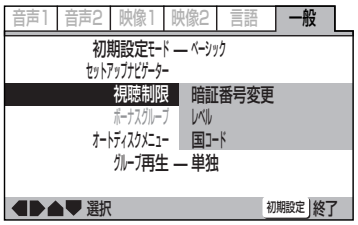
3 暗証番号を4桁で入力する

以下のいずれかの操作をします。

- **数字ボタンを押す。**
- **ジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して1ケタごとに数字を選ぶ(ジョイスティックを左右(◄/►)に操作してケタを移動します)。**

4 ENTERボタンを押す

以下の初期設定画面が表示されます。



暗証番号変更：
暗証番号を変更します。
レベル：
視聴制限のレベルを変更します。
国コード：
国コードを変更します。

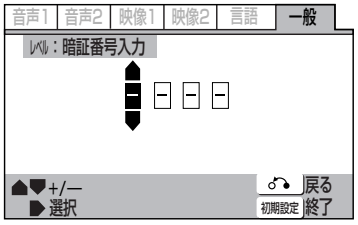
お知らせ

- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、出荷時の設定に戻して(**P.75**)、再度設定してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

レベルを変更する

1 [レベル]を選び、ENTERボタンを押す

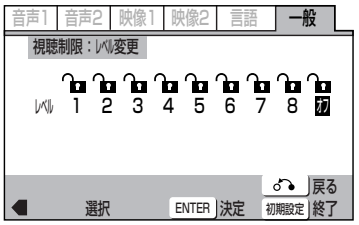
[暗証番号入力]の画面が表示されます。



2 すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3 ENTERボタンを押す

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。出荷時は[オフ]に設定されています。



4 ジョイスティックを左右(◄/►)に操作してレベルを選び、ENTERボタンを押す

視聴制限のレベルが設定されます。

■ 視聴制限できる DVD を再生するには

視聴制限されたディスクを再生すると暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと再生することができません。以下の手順で操作します。

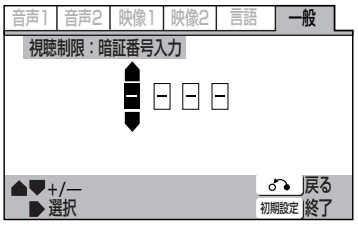
① **数字ボタンを押して、4桁の暗証番号を入力する。**

② **ENTERボタンを押す。**

暗証番号を変更するには

1 [暗証番号変更]を選び、ENTERボタンを押す

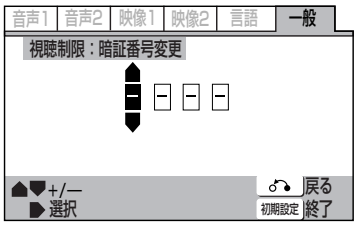
暗証番号入力の画面が表示されます。



2 すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3 ENTERボタンを押す

暗証番号変更の画面が表示されます。



4 新しい暗証番号を4桁で入力する

5 ENTERボタンを押す

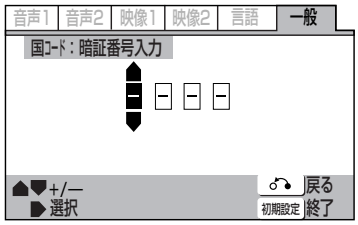
暗証番号が変更されます。

国コードを変更する

国コード表を見ながら操作します。

1 [国コード]を選び、ENTERボタンを押す

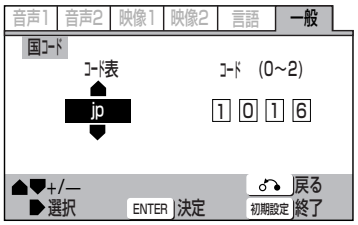
[暗証番号入力]の画面が表示されます。



2 すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3 ENTERボタンを押す

国コード設定画面が表示されます。



4 [コード表]、または[コード]を選ぶ

コードの( )の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

■ [コード]で国コードを選ぶとき

以下のいずれかの操作をします。

[例] 日本を選ぶ場合

- **数字ボタンの1、0、1、6を押す。**
- **1ケタごとにジョイスティックを上下(▲/▼)に操作して数字を選択する(ジョイスティックを左右(◄/►)に操作してケタを移動します。)**

■ [コード表]で国コードを選ぶとき

[例] 日本を選ぶ場合

ジョイスティックを下(▼)に操作して[jp]を選びます。

5 ENTERボタンを押す

■国コード表

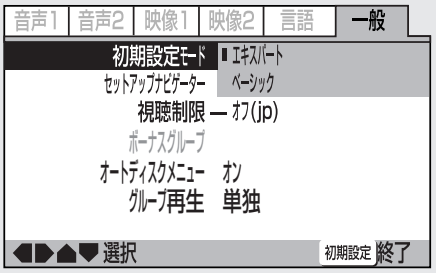
国名	入力コード	国コード
アメリカ	2119	us
アルゼンチン	0118	ar
イギリス	0702	gb
イタリア	0920	it
インド	0914	in
インドネシア	0904	id
オーストラリア	0121	au
オーストリア	0120	at
オランダ	1412	nl
カナダ	0301	ca
韓国	1118	kr
シンガポール	1907	sg
スイス	0308	ch
スウェーデン	1905	se
スペイン	0519	es
タイ	2008	th
台湾	2023	tw
中国	0314	cn
チリ	0312	cl
デンマーク	0411	dk
ドイツ	0405	de
日本	1016	jp
ニュージーランド	1426	nz
ノルウェー	1415	no
パキスタン	1611	pk
フィリピン	1608	ph
フィンランド	0609	fi
ブラジル	0218	br
フランス	0618	fr
ベルギー	0205	be
ポルトガル	1620	pt
香港	0811	hk
マレーシア	1325	my
メキシコ	1324	mx
ロシア	1821	ru

[一般]の設定をする

初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください。

初期設定の種類を変更する

[初期設定モード]を**[ベーシック]**に設定すると、基本的な設定項目だけ表示されます。また、選択している項目の簡単な説明(ⓘ)が表示されます。この取扱説明書では、エキスパートで設定する項目にはエキスパートがついています。

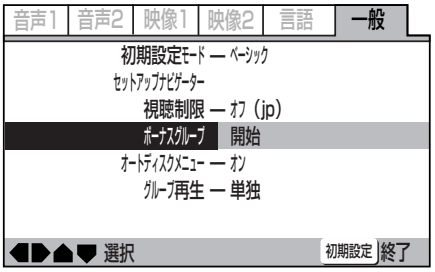


エキスパート：
より細やかな設定項目を表示します(**出荷時の設定**)。
ベーシック：
基本的な設定項目を表示します。選択している項目の簡単な説明(ⓘ)が表示されます。

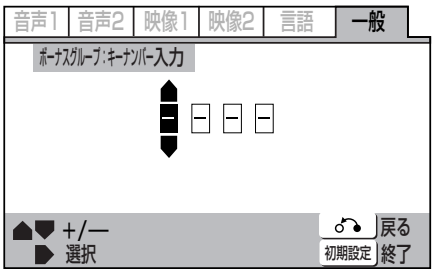
ボーナスグループの設定をする エキスパート

DVD AUDIO

DVDオーディオの中には、「ボーナスグループ」とよばれるグループを持つものがあります。このボーナスグループを再生しようとすると、4桁のキーナンバーの入力を求める画面が表示されますが、この設定であらかじめキーナンバーを入力しておくことができます。この設定は再生中に選択することができません。



キーナンバー入力画面



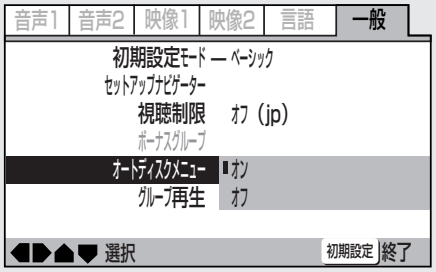
お知らせ

ディスクが取り出されるか、または電源が切られると、入力されたキーナンバーの記憶は消去されます。ボーナスグループを再生するときはもう一度キーナンバーを入力してください。

メニュー画面を自動的に表示する(オートディスクメニュー) エキスパート

DVD

ディスクを入れたあと、自動的にメニュー画面を表示させたいときに設定します。



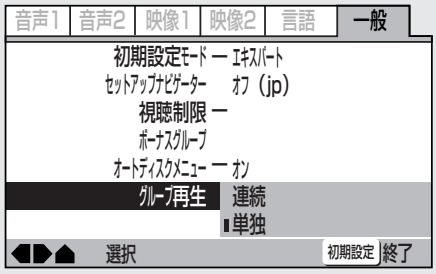
オン：
メニュー画面を自動的に表示します(**出荷時の設定**)。
オフ：
メニュー画面を自動的に表示しません。

お知らせ

ディスクによっては**[オートディスクメニュー]**の設定で**[オン]**を選択していても自動的に再生を始めるものがあります。

グループ単位で再生する（グループ再生）エキスパート

DVD AUDIO



連続：
すべてのグループを続けて再生します。
単独：
選択したグループのみ再生します(**出荷時の設定**)。

お知らせ

- ディスクのメニュー画面からも再生したいグループだけを選択することができます。
- **[単独]**を選択しているとき、ディスクのメニュー画面からすべてのグループを再生する項目を選択しても、1 つのグループのみを再生することがあります。
- **[グループ再生]**の設定で**[単独]**を選択しているとき、**スキャン(◄◄/►►)ボタン**、または**前(I◄◄)/ 次(►►I)ボタン**を使って、他のグループをまたいで早戻し/早送り、または頭出しすることはできません。グループサーチでグループを選択してください(**P.33**)。
- **[連続]**を選択していても、ディスクのメニュー画面から再生を始めたときは、すべてのグループを再生することができません。このようなときは、ディスクを停止してから再生を始めてください。

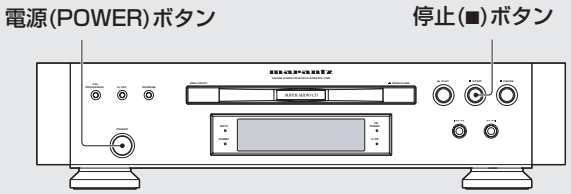
映像出力をオン／オフする

本体のVIDEO ON/OFFボタンにより映像出力回路、S1/S2映像出力回路、コンポーネント映像出力回路、D1/D2映像出力回路、DVI出力回路をその電源からシャットダウンして映像信号を出力しないようにし、オーディオ回路への干渉を防ぎCD、スーパーオーディオCD、DVDオーディオの音声信号を高音質で再生します。

映像出力がオフのとき本体表示窓のVIDEO OFFが点灯します。

すべての設定を出荷時に戻す

すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。



1 本機を本体の電源(POWER)ボタンで電源OFFの状態にする

2 停止(■)ボタンを押しながら、本体の電源(POWER)ボタンを押す。表示窓に「RESET OK」と表示されます

すべての設定内容が出荷時の状態に戻ります。

ご注意
この操作を行うと、プログラムメモリー(**P.39**)、ラストメモリー(**P.42**)、コンディションメモリー(**P.43**)、およびビデオメモリー(**P.63**)など記憶していたすべてのメモリーも同時に消去されます。操作を行う前に十分にご注意ください。

その他

使用上の注意

■ 再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

■ 本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに本体の**電源(POWER)ボタン**を押し、表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■ 次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所(台所など)

■ 上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

■ 熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

■ ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ラックのガラスドアを閉めたままリモコンの**オープン/クローズ(⏏)ボタン**を押して、ディスクテーブルを開けないでください。ディスクテーブルの動きが妨げられ、故障の原因になります。

■ 本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

結露について

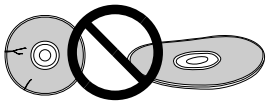
冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

ディスクの取り扱いかた

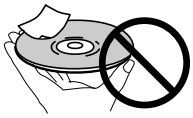
■ 取り扱いかた

両手で持つ場合　　片手で持つ場合

- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。



- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。



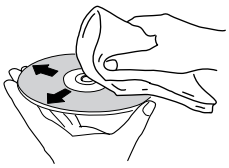
- ディスクを2枚重ねて再生しないでください。

■ 保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください(円周に沿って拭かないでください)。



- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などはご使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

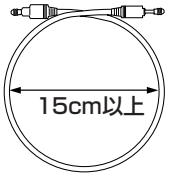
■ 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れることがあります。このような場合は『***保証とアフターサービス***』(**P.83**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

光デジタルケーブル(別売り)取り扱い上のご注意



- 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
- 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- 長さは3m以下のものを使用してください。
- プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その他

困ったとき！？

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	ページ
電源が入らない。	電源コードをコンセントに正しく接続してください。	**17, 18**
ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	• ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください。 • ディスクをクリーニングしてください。 • リージョン No. が一致しているか確認してください。	**27** **77** **9, 82**
画面が映らない。	• 接続が正しいか確認してください。 • テレビ、または AV アンプなどの設定を、DVD 再生の設定にしてください。 • **ビデオオンオフボタン**が押され、表示窓に**VIDEO OFF**が点灯していないか確認してください。	**21, 22** **75**
再生できない。	• ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください。 • 本機の内部の結露を除去してください。 • ディスクの表裏を正しくセットしてください。	**77** **27** **76** **27**
DVD-RWが再生できない。	画面に「**COPY PROTECT PROGRAM ,UNPLAYABLE**」と表示されていないか確認してください。この場合は、一回だけ録画可能な映像素材を録画した部分であり、本機では再生できません。	
DVD- オーディオを再生すると途中で停止してしまう。	違法に複製されたディスクの可能性があります。	
設定内容が消える。	電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードは必ず本体の**電源(POWER)ボタン**を押して、表示窓の表示が消えてから、抜いてください。	
画面が止まり、操作ボタンを受け付けない。	**停止(■)ボタン**を押してから、もう一度再生してください。	
マークが画面に出る。	ディスクがその操作を禁止しています。	**9**
マークが画面に出る。	プレーヤーがその操作を禁止しています。	**9**
セットアップ中にマークが画面に表示される。	スーパーオーディオ CD や CD、ビデオ CD、MP3 ファイルを記録したディスクが入っているとき、DVD でしか働かない項目を設定しようとすると表示されます。	**50**
リモコンで操作できない。	• 本体後面のリモートコントロールスイッチを“INT.”に設定してください。 • リモコンの使用範囲で操作してください。 • リモコンの電池を新しいものと交換してください。 • リモコンのコードが本体とリモコンで合っているか確認してください。	**16** **11** **11** **15, 26**
初期設定画面に設定項目が出てこない。	初期設定モードの設定で**[ベーシック]**を選択しているときは**[エキスパート]**に変更してください。	**74**

症状	原因 / 対策	ページ
スピーカーから音が出ない、音が歪む。	• 音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • デジタル接続しているときは**[デジタル出力]**の設定を**[オン]**にしてください。 • **[音声 1]**の設定により、音が出ない場合があります。 • ディスクをクリーニングしてください。 • 一時停止、またはスロー再生になっていたら再生にしてください。 • テレビ、またはAVアンプなどの音量が最小になっているときはボリュームを上げてください。 • 接続プラグの差し込み方が不十分、または外れていないか確認してください。 • 接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。	**19, 20** **52** **51, 52**
スピーカーからマルチチャンネル音声が出力されない。	• **[音声 2]**の**[音声出力]**の設定を**[5.1 チャンネル]**にしてください。 • **[音声 2]**の**[スピーカー設定]**を行ってください。 • ディスクのメニュー画面、またはリモコンの**音声ボタン**でディスクの音声をマルチチャンネルに切り換えてください。	**54** **55, 56** **28, 30**
デジタル音声が出力できない。	• **[デジタル出力]**の設定を**[オン]**にしてください。 • DVD オーディオの中にはデジタル音声を出力できないディスクがあります。 • スーパーオーディオ CD ではデジタル音声を出力できません。	**52** **19**
マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。	DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません(ドルビーデジタル、またはDTS 音声はデジタル出力できます)。	**19**
192/176.4kHz 音声がデジタル出力できない。	DVD オーディオの 192/176.4kHz 音声はデジタル出力できません。	**19, 51**
96/88.2kHz 音声でデジタル出力できない。	• 初期設定画面の**[音声 1]**の**[リニアPCM出力]**の設定が**[ダウンサンプルオン]**になっていないか確認してください。 • 著作権保護がされているディスクでは96/88.2kHz音声のデジタル出力が禁止されています。	**51**
DTS 音声が出ない。	• 本機とDTS音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは、**[DTS 出力]**の設定を**[DTS ► PCM]**にしてください。**[DTS]**を選択しているとノイズが発生することがあります。 • DTS 音声対応アンプ、またはデコーダーとデジタル接続しているときは、アンプの設定、およびデジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	**51**
画面が縦または横に伸びている。	• **[テレビ画面]**の設定でアスペクト比を合わせてください。 • 本機とテレビをS1/S2映像端子で接続しているとき、テレビ側の信号処理により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このときは**[S映像出力]**の設定を**[S1]**にしてください。	**59** **62**
DVD やスーパーオーディオ CD、CD で音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いによるものです。	
DVD 再生中に画像が乱れる、または暗い。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあります。そのようなディスクを再生した場合、一部画像に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD 映像をVTR に録画したり、VTR を通して再生すると再生画面が乱れる。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTR を通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	

その他

症状	原因 / 対策	ページ
テレビなどが誤動作する。	ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。	
MP3 ファイルを記録したディスクを再生することができない。	MP3 ファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。 画面に**「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」**と表示されていないか確認してください。この場合、以下のような原因が考えられます。 • MPEG1 オーディオレイヤー3のサンプリング周波数44.1kHz、または48kHzの固定ビットレートで記録されていない。	
ディスクに記録されているトラック(MP3ファイル)を選択することができない。	• 本機では「.mp3」、または「.MP3」以外の拡張子がついているファイルを認識することはできません。拡張子を「.mp3」、または「.MP3」に変更してください。 • 本機では 251 以上のフォルダー、またはトラックを認識することはできません。 • 本機はマルチセッションに対応していません。再生するディスクがマルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。	
フレームサーチができない。 フレーム番号が表示できない。	• 初期設定画面で**[フレームサーチ]**を**[オン]**にしてください。 • フレームサーチは DVD でのみ行うことができます。 • フレーム番号は DVD でのみ表示させることができます。 • フレーム番号は DVD の一時停止、またはコマ送り再生時に表示されます。	
指定したフレームにサーチできない。 コマ送り再生時、フレームが抜けてしまう。	24コマフィルムのプログレッシブ映像が記録されているディスクの場合、24コマを0～29 フレームの30 フレームにあてはめるため本機では、5 フレームに 1 度の割り合いで指定したフレーム番号が抜けます。抜けているフレーム番号にサーチを行うと、次のフレーム番号にサーチされます。また、コマ送り再生中も指定したフレーム番号が抜けます。これは上記と同様に表示はフレーム番号が抜けますが動作上コマ落ちしているわけではありません。これは故障ではありません。	
DVI-D の映像が映らない。	• 接続が正しいか確認してください。 • お使いの機器の DVI-D 入力が HDCP 対応か確認してください。 •お使いの機器のDVI-D入力が本機の出力フォーマットに対応しているか確認してください。 •本体の**PAL PROGRESSIVEボタン**が押されているときは、DVIは出力されません。	**20** **20** **20** **12, 20**
PALプログレッシブの映像が映らない。	• 本体の**PAL PROGRESSIVE ボタン**が押されているか確認してください。 • 接続が正しいか確認してください。 • お使いの機器が PAL プログレッシブ対応か確認してください。	**12, 59** **21** **21, 59**

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、本体の**電源（POWER)ボタン**を押して OFF にし、再び押して ON にすることで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4:3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース（飛び越し走査）
映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて1画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに「i」を付けて(525iなど)表記してあります。

拡張子
OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

コンポーネント映像出力
Y/CB/CRの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

スーパーオーディオCD
CDの規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。スーパーオーディオCDには1層ディスク、2層ディスクとハイブリッドディスクの3種類があります。ハイブリッドディスクは、スーパーオーディオCDとCDの両方の構造を持ちあわせています。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル（dB）単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

ドルビーデジタル
ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です（アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります）。

ビデオレコーディングフォーマット記録
映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。(*即時書き込み=パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
DVDレコーダーではこれをVRモード記録といいます。VRモードには、「標準モード」とよばれる標準な画質で録画するモード(録画時間：2時間)と、「マニュアルモード」とよばれる画質、および録画時間を自由に設定して録画するモード(録画時間：1～6時間)があります。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の1画面を2回に分けずに1画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。本機の取扱説明書では、解像度の数字の後ろに「p」を付けて(525pなど)表記してあります。

ボーナスグループ
DVDオーディオでは、4桁の番号(キーナンバー)を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。また、前もって本機の初期設定画面でキーナンバーを設定しておくこともできます。

その他

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の１つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、１枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大８言語（８ストリーム）まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、１枚のディスクに２つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No.
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

リニア PCM
Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。リニアPCMとは圧縮していないPCM信号のことです。
DVDの音声記録方式の１つです。CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

D 端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号（Y/CB/CR）と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を１つのコネクタで接続する端子です。

DTS
Digital Theater Systemsの略です。DTSはドルビーデジタルと異なるサラウンドシステムの１つです。
本機はDTSデコーダーを搭載していますので、5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプにつなぐことで、すぐにDTSディスクを楽しむことができます。

DVD オーディオ / ビデオの静止画
DVDには、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります。DVD オーディオの静止画には２種類あります。
スライドショーは、ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。
ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。また、ブラウザブル静止画では、その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。
なお、DVD ビデオの静止画はスライドショーのみです。

DVD ビデオフォーマット記録
、またはマークの付いている市販のDVD ビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
DVD レコーダーではこれをビデオモード記録といいます。
ビデオモードには、「V1」とよばれる高画質で録画するモード(録画時間：１時間)と、「V2」とよばれる長時間で録画するモード(録画時間：２時間)があります。

DVI
Digital Visual Interfaceの略です。
DDWGが策定したデジタルディスプレイインターフェース規格です。
ビデオ信号をデジタルで伝送することができます。

F-Disc（エフディスク）
8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。
お問い合わせ先：（株）フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

GUI
Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

HDCP
High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。DVI 用の映像向け暗号化処理方式です。映像コンテンツの違法コピーに対する保護を目的としており、暗号化された信号を受信するには、HDCP対応のDVI入力付ディスプレイが必要になります。

MP3
MP3とは、MPEG1 オーディオレイヤー３というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」， または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3 ファイルと呼びます。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

S1 映像出力
S1 とは映像のアスペクト比（4:3、16:9）の識別信号の入ったＳ映像信号です。

S2 映像出力
S1に加えアスペクト比4:3レターボックス信号の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

5.1ch
フロント左/右、センター、サラウンド左/右の５チャンネルに低音域専用の0.1 チャンネルを加えたマルチチャンネル音声のことです。ドルビーデジタル、DTS、またはDVDオーディオといったサラウンドシステムで採用されています。

保証とアフターサービス

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談
お買い上げの販売店または、取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。

修理を依頼されるとき
P.78-80に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。

連絡していただきたい内容
- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名　DVD プレーヤー
- 型番　DV-12S2
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容　「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」

保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

その他

仕様

形式DVDビデオ、DVDオーディオ、スーパーオーディオCD、CD、ビデオCD、DVD-RW、MP3ファイル
信号形式..... JEITA標準、NTSCカラー方式／PAL方式*
電源 .....AC 100 V、 50/60 Hz
消費電力..... 26 W
本体質量..... 12.1 kg
外形寸法..... 458(幅)×110(高さ)×393(奥行) mm
許容動作温度 ..... +5℃～+35℃
許容動作湿度 ..... 5 %～85 %(結露のないこと)

S1/S2映像出力
Y出力レベル ..... 1 Vp-p(75 Ω)
C出力レベル ..... 286 mVp-p(75 Ω)
出力端子 ..... S端子

映像出力(2系統)
出力レベル ..... 1 Vp-p(75 Ω)
出力端子 ..... RCA端子

コンポーネント映像出力(Y、CB/PB、CR/PR)
Y出力レベル ..... 1 Vp-p(75 Ω)
CB/PB、CR/PR出力レベル..... 0.7 Vp-p(75 Ω)
出力端子 ..... RCA端子

D1/D2端子(Y、CB/PB、CR/PR)
Y出力レベル ..... 1 Vp-p(75 Ω)
CB/PB、CR/PR出力レベル..... 0.7 Vp-p(75 Ω)
出力端子 ..... D端子

DVI-D端子(HDCP対応デジタルRGB)
出力端子 .....DVID 24pin
TMDS準拠(シングルリンクのみ)

音声出力(2CH)(2系統)
音声出力レベル ..... 200 mVrms(1 kHz、−20 dB)
チャンネル数 2
出力端子 ..... RCA端子

音声出力(マルチチャンネル：フロントL/R、サラウンドL/R、センター、サブウーファー)
音声出力レベル ..... 200 mVrms(1kHz、−20 dB)
出力端子 ..... RCA端子

音声出力特性
周波数特性
..... 4 Hz～88 kHz(DVDオーディオ、192 kHz)
S/N比..... 125 dB
(DVDオーディオ,1kHz,JEITA)
ダイナミックレンジ..... 110 dB
(DVDオーディオ,1kHz,JEITA)
全高調波歪率 ..... 0.0009 %
(DVDオーディオ,1kHz,JEITA)
ワウ・フラッター.....測定限界以下
(±0.001%W.PEAK,JEITA)

デジタル出力
光デジタル出力 .....光デジタル端子
同軸デジタル出力..... RCA端子

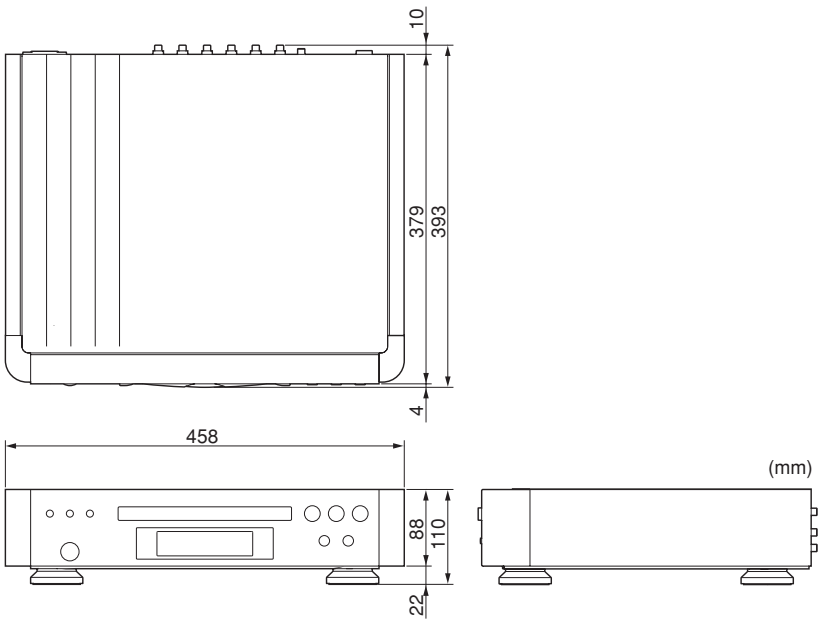
その他の端子
コントロール入力/出力 ..... RCA端子

付属品
音声／映像ケーブル..... 1
リモート接続ケーブル 1
電源コード 1
リモートコントロールユニット 1
単4形乾電池(R03P) 2
取扱説明書、保証書

● 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ご注意
PAL 方式で記録されている DVD ディスクをお楽しみになる場合は、PAL 方式に対応したテレビ、モニター、プロジェクターなどが必要です。
PAL方式で記録されているビデオCDディスクはNTSC方式に対応したテレビなどでご覧いただけます。
PAL 方式で記録されている DVD ディスク、ビデオ CD ディスクはその記録状態により再生できないことがあります。

外形図



初期設定画面の項目別さくいん

初期設定画面では、さまざまな設定を行うことができます。項目名や選択肢からではどんな設定を行うのか分からないとき、本書で説明しているページを、このさくいんで知ることができます。

音声1 | 音声2 | 映像1 | 映像2 | 言語 | 一般

オーディオDRC	■オフ オン	P.50
Dolby Digital出力	■Dolby Digital Dolby Digital▶PCM	P.51
DTS出力	DTS ■DTS▶PCM	P.51
リニア PCM出力	■ダウンサンプルオン ダウンサンプルオフ	P.51
MPEG出力	MPEG ■MPEG▶PCM	P.52
デジタル出力	■オン オフ	P.52
SACD再生	■2chエリア マルチchエリア CDエリア	P.52

音声1 | **音声2** | 映像1 | 映像2 | 言語 | 一般

Virtual Surround	■オフ TruSurround	P.53
音声出力	■2チャンネル 5.1チャンネル	P.54
スピーカー設定	開始	P.55
ゲイン設定	■固定 可変	P.56
CDデジタルダイレクト	オン ■オフ	P.58

音声1 | 音声2 | **映像1** | 映像2 | 言語 | 一般

テレビ画面	4:3(レターボックス) 4:3(パンスキャン) ■16:9(ワイド) 16:9(シュリンク)	P.59
コンポーネント出力	プログレッシブ ■インターレース	P.59
S映像出力	S1 ■S2	P.62
フレームサーチ	オン ■オフ	P.62
スクリーンセーバー	オン ■オフ	P.62

音声1 | 音声2 | 映像1 | **映像2** | 言語 | 一般

背景	■グレイ 黒	P.66
画質調整	開始	P.63
ポーズモード	フィールド フレーム ■オート	P.66
画面表示	■オン オフ	P.66
アングルインジケーター	■オン オフ	P.66

音声1 | 音声2 | 映像1 | 映像2 | **言語** | 一般

画面表示言語	■日本語 English	P.67
音声言語	■日本語 英語 他	P.67
字幕言語	■日本語 英語 他	P.67
言語設定オート	■オン オフ	P.68
DVD言語	■字幕言語に連動 日本語 英語 他	P.70
字幕表示	■オン オフ アシスト字幕	P.70
字幕オフ時	音声連動 ■選択字幕	P.70

音声1 | 音声2 | 映像1 | 映像2 | 言語 | **一般**

初期設定モード	■エキスパート ベーシック	P.74
セットアップナビゲーター	開始	P.23
視聴制限	暗証番号 レベル 国コード	P.71
ボーナスグループ	開始	P.74
オートディスクメニュー	■オン オフ	P.74
グループ再生	連続 ■単独	P.75

お知らせ

- ■は出荷時の設定を表わします。
- 網掛け の設定は初期設定モードが**[エキスパート]**のときに表示される項目です。

* ファンクションメモリーできない設定を表します(**P.44**)。

さくいん

あ行

アスペクト比 **59, 81**
アナログコピープロテクト **17, 21**
アングル切換 **45**
暗証番号 **71**
色あい **64**
色の濃さ **64**
インターレース **59, 81**
映像出力 **22**
エキスパート **74**
エフディスク **8, 39, 82**
オーディオ DRC **50**
オートディスクメニュー **74**
オリジナル **29**
音声言語 **30, 67**

か行

拡張子 **9, 81**
画質調整 **6, 63-65**
画面表示言語 **24, 67**
96kHz PCM **25**
禁止マーク **9**
国コード **73**
グループ **10, 33**
黒セットアップ **64**
クロマディレイ **64**
黒レベル **64**
ゲイン設定 **56**
言語コード表 **69**
5.1 チャンネル **24, 54, 83**
コマ送り **35**
コンディションメモリー **43**
コントロール入力 / 出力 **16**
コンポーネント映像出力 **18, 21, 81**

さ行

再生 **27**
サーチ **33**
サブウーファー **24, 55-57**
サラウンドスピーカー **24, 55-57**
視聴制限 **71**
字幕言語 **30, 67**
白レベル **64**
シャープネス High **64**
シャープネス Mid **64**
シュリンク(16:9) **59**
初期設定 **74**
スキップ **32**
スキャン **32**
スクリーンセーバー **62**
スーパーオーディオ CD **8, 52, 81**
スピーカー設定 **55**
スモール **55**
スライドショー **82**
スロー再生 **35**
静止画 **31, 37**
接続 ..... **17~22**
セットアップナビゲーター **23**
センタースピーカー **24, 55-57**

た行

タイトル **10**
ダイナミックレンジ **51, 81**
タイムサーチ **33**
ダイレクトサーチ **34**
ダウンミックス **19, 54**
デジタル出力 **19, 52**
テストトーン **57**
チャプター **10**
ディスクの情報 **46-48**
デコーダー **19**
転送レート **46, 47**
トラックサーチ **33**
ドルビーデジタル **6, 25, 51, 81**

な行

2チャンネル **24, 54**

は行

背景 **66**
早送り **32**
早戻し **32**
パンスキャン **59-61**
光デジタル出力 **19, 81**
ビデオ CD **10**
ビデオレコーディングフォーマット **81**
ピュアシネマ **65**
表示窓 **12**
標準(4:3) **24, 59-61**
ファンクションメモリー **44**
フィールド **66**
フォルダー **10, 34, 40**
プレイバックコントロール **29, 81**
プレイリスト **29**
フレーム **33, 62**
フレームサーチ **33**
プログラム再生 **37-40**
プログラムメモリー **39**
プログレッシブ **59, 61, 81**
プログレモーション **64**
ベーシック **74**
ポーズモード **66**
ボーナスグループ **74**

ま行

マルチアングル **45, 66**
マルチ音声言語 **67**
マルチ字幕言語 **67**
マルチセッション **9, 82**

ら行

ラージ **55**
ラストメモリー **42**
ランダム再生 **41**
リージョン No. **8, 82**
リジューム **31**
リターンボタン **14**
リニア PCM **51**
リピート再生 **36**
レターボックス **59, 60**

わ行

ワイド(16:9) **24, 59-61**

アルファベット

AV アンプ **18, 19**
BNR **64**
CD **10**
CD デジタルダイレクト **58**
CNR **64**
D1/D2 端子(D 端子) **21, 82**
DTS **25, 51, 82**
DVD-RW **8, 10, 27**
DVD オーディオ **10**
DVD ビデオ **10**
DVD ビデオフォーマット **82**
DVI **20, 82**
F-Disc **8, 39, 82**
GUI **82**
HDCP **20, 82**
ISO9660 フォーマット **9**
MNR **64**
MP3 ..... **9, 10, 34, 40, 82**
MP3 ナビゲーター **34**
MPEG **25, 52, 83**
MPEG オーディオレイヤー 3 ..... **9**
PAL プログレッシブ **7, 12, 21, 59**
PBC **29, 81**
PCM **25, 52, 82**
S2/S1(S)映像出力 **16, 22, 62, 83**
Y、CB/PB、CR/PR **16, 21**
Virtual Surround **6, 53**

marantz®

日本マランツお客様ご相談センター

〒113-0034　東京都文京区湯島3-16-11

☎ (03)　3719-3481

ご相談受付時間

9：30 ー 12：00　13：00 ー 17：00

（土　日　祝日、当社休日を除く）

○　修理に関しましては下記サービスセンター、又は別紙営業所一覧の各営業所で承っております。

首都圏サービスセンター　〒228-8505　神奈川県相模原市相模大野7-35-1　☎(042)　748-0762

大阪サービスセンター　〒542-0081　大阪府大阪市中央区南船場2-1-10船場モンブランビル5F　☎(06)　6337-6699

日本マランツ株式会社

本社　〒228-8505　神奈川県相模原市相模大野7-35-1

国内営業部　〒113-0034　東京都文京区湯島3-16-11

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.co.jp

Printed in Japan　この取扱説明書は、再生紙を使用しています。　03/09 PMC 16AK851110